

道東自動車道 占冠地区下部工工事

契約参考図書 (率計上項目及び概算数量、図面)

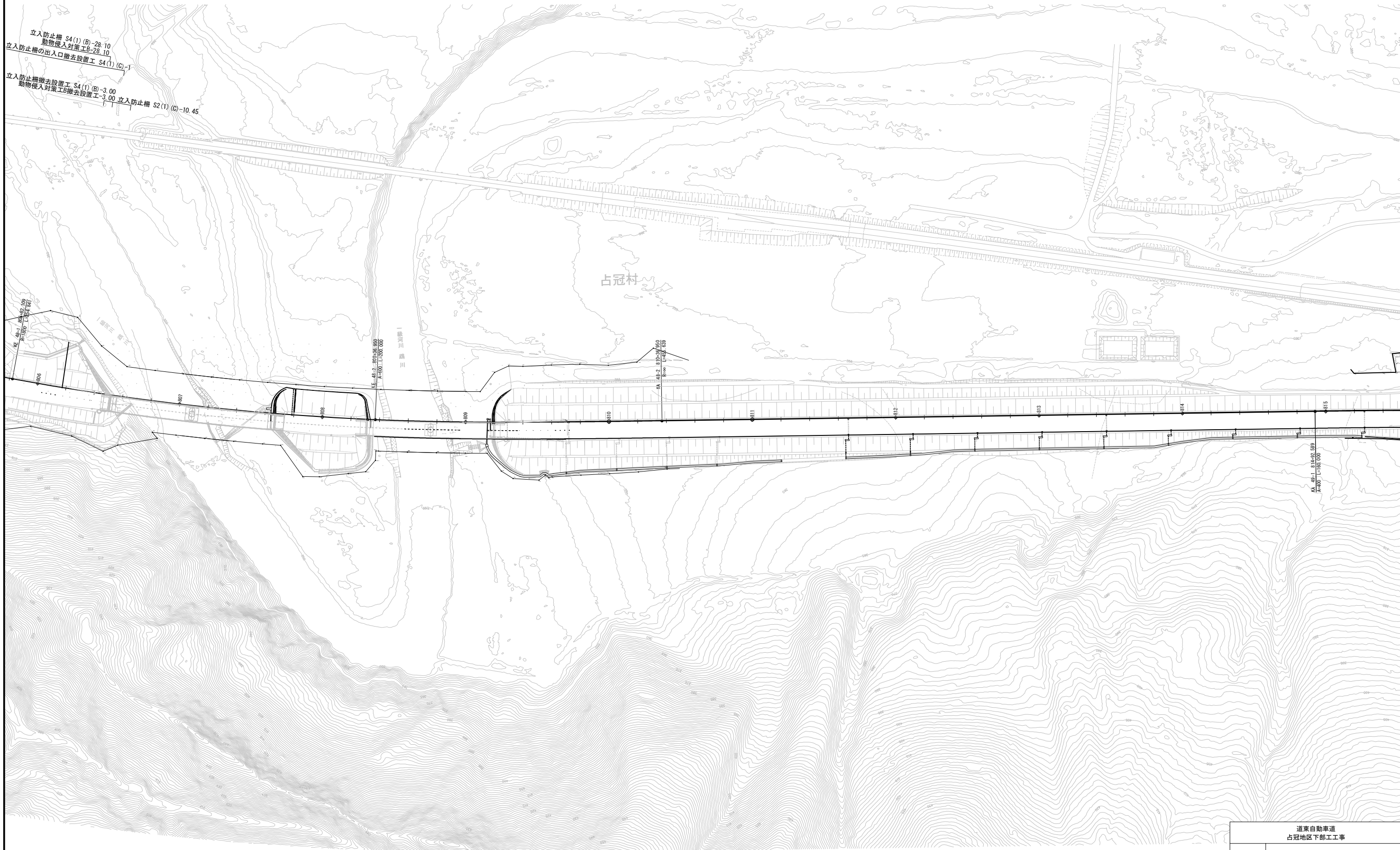
令和7年3月

東日本高速道路株式会社
北海道支社 帯広工事事務所

- ・ 契約参考図書は、率計上項目や概算数量を提示する資料であり、工事請負契約書第1条にいう設計図書ではない。（請負契約上拘束力はない）
- ・ 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受け付けない。

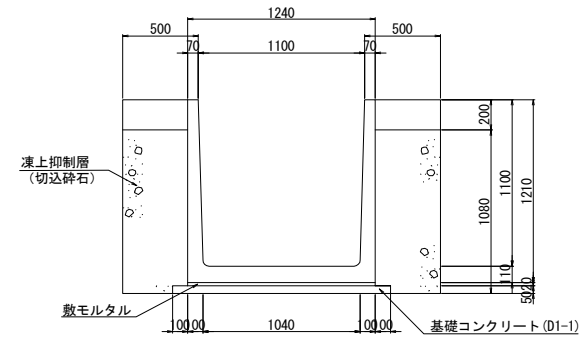
契約参考図書 図面目録

図面番号	図 面 名
１～２	平面図（１）～（２）
３～８	用排水溝詳細図（１）～（６）
９	油水分離ます構造一般図
１０	油水分離ます配筋図
１１～１４	立入防止柵詳細図（１）～（４）
１５	立入防止柵出入り口詳細図
１６	動物侵入対策工Ｂ詳細図
１７～１９	撤去工平面図（１）～（３）
２０～３０	撤去工詳細図（１）～（１１）
３１～３３	撤去・復旧工平面図（１）～（３）
３４	撤去・復旧工詳細図（１）（シム川橋Ⅰ期線 護岸）
３５	撤去・復旧工詳細図（２）（本流鷗川第一橋Ⅰ期線 護床）
３６	撤去・復旧工詳細図（３）（本流鷗川第二橋Ⅰ期線 護床）
３７	撤去・復旧工詳細図（４）（本流鷗川第四橋Ⅰ期線 護岸・護床）
３８	撤去・復旧工詳細図（５）（シム川橋Ｐ４）
３９～４２	試掘工平面図（１）～（４）
４３	立木伐採工平面図



道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	平面図（2）		
縮 尺	1:2,500	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

Ds-PuL (A)-1. 10-1. 10

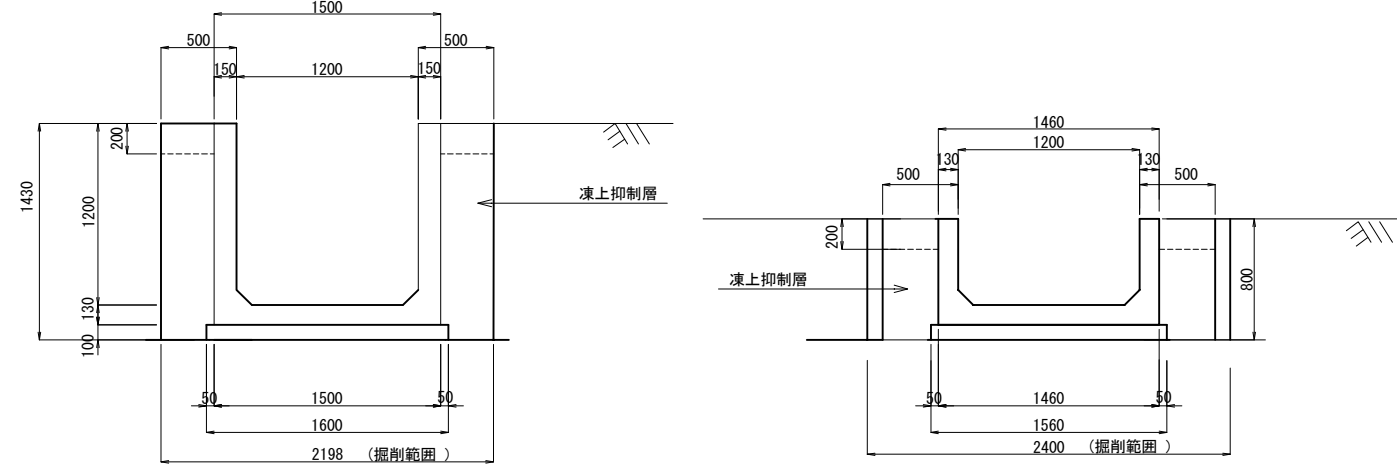


寸法表		a	b	c	d	h	t1	t2	A	H	摘要
種別	項目	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	
		1100	1100	1040	480	1070	110	100	1240	1200	

数量表								10m当り	
種別	項目	構造物掘削	埋戻し	残土	コンクリート	型わく	モルタル	凍上抑制層	摘要
		普通部	m3	m3	D1-1	D	1:3	切込砕石	
		m3			m3	m2	m3	m3	
Ds-PuL (A)-1. 10-1. 10		26.88	1.72	25.16	0.72	1.00	0.25	9.19	

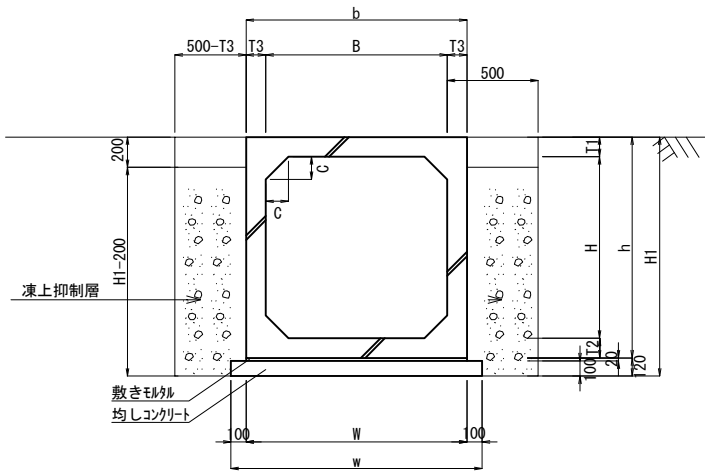
※切込砕石はC-80とする。

Ds-PuL (Po)-1. 20-1. 20~0. 00



数量表									1箇所当り
種 別	項 目	構造物掘削	残 土	埋戻し	コンクリート	型わく	敷モルタル	切込砕石	摘 要
		普通部			D1-1	D	1:3	非凍上性材	
		m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	
Ww-U (R0)-1.20~1.20-0.00		6.790	5.040	1.750	0.490	0.940	0.090	1.930	

DBx-B-H



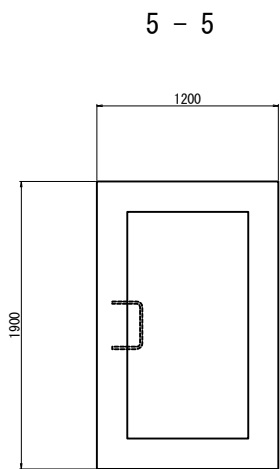
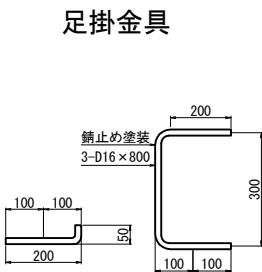
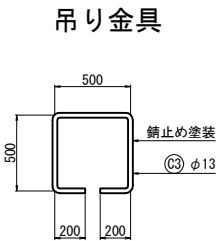
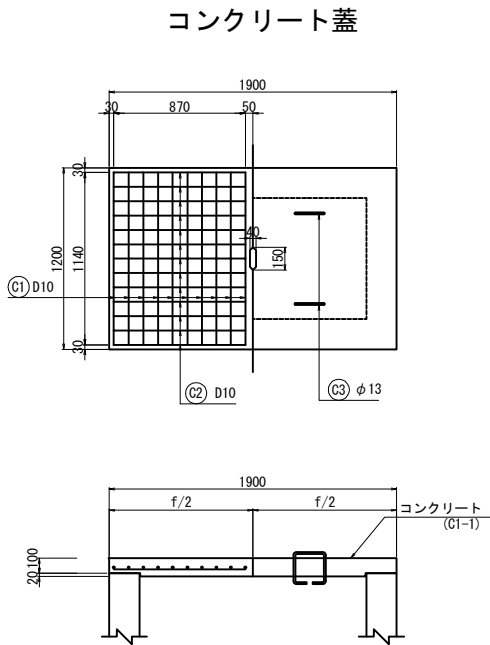
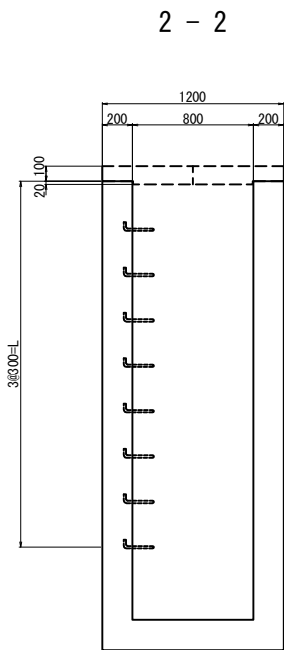
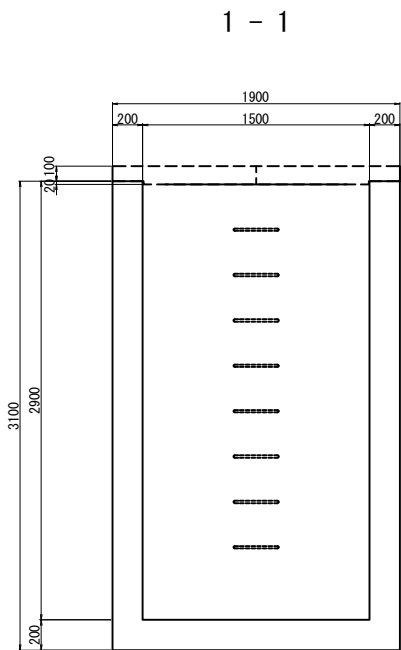
寸法表		B	H	W	T1	T2	T3	b	h	w	H1	C	摘要
種別	項目	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	
		1100	1100	1360	130	130	130	1360	1360	1560	1480	150	

数量表		10m当り							
種 別	項 目	構造物掘削	残 土	埋戻し	コンクリート	型わく	敷モルタル	切込砕石	摘 要
	普 通 部				D1-1	D	1:3	非凍上性材	
	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	
PBx-1.10-1.10		32.560	30.880	1.680	1.560	2.000	0.312	10.560	
PBx-1.20-1.20		37.920	36.040	1.880	1.660	2.000	0.332	12.780	

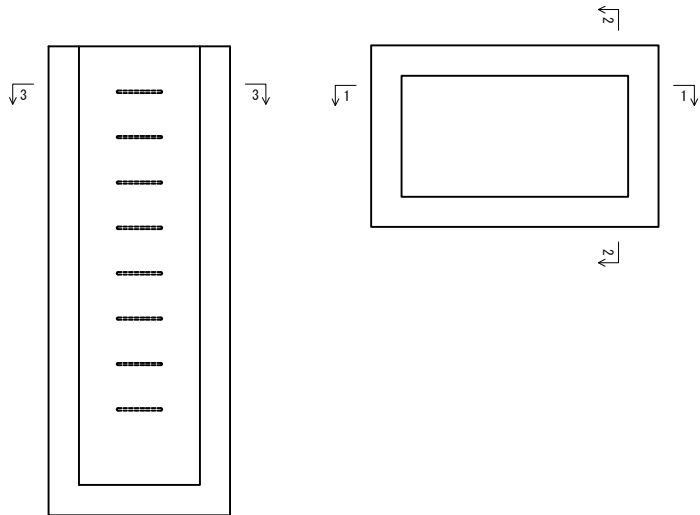
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	用排水工詳細図（１）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

用排水工詳細図（2）

Dc^-0.80-1.50-2.90
S=1:50



案内図



数量表											1箇所当り		
種 別	項 目	構造物掘削	埋戻し	残土	コンクリート		型わく	鉄筋 A					摘 要
		普通部			B1-3	C1-1	D	D10	D13		Φ13	D16	
		m3	m3	m3	m3	m3	m2	kg	kg		kg	kg	
Dc~-0.80-1.50-2.90	121.71	114.64	7.07	3.06	0.25	18.58	26	基本数量	161	3	10		
								控除数量	10				
								合計	151				

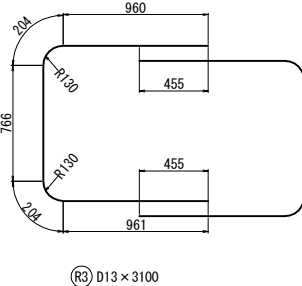
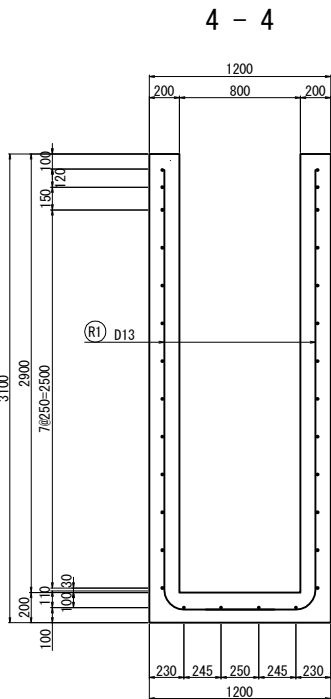
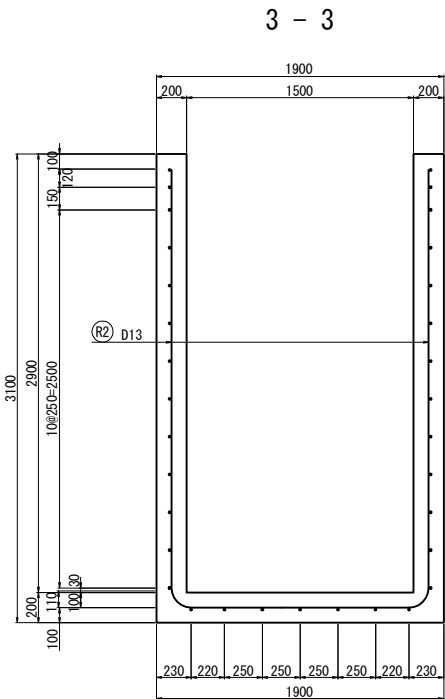
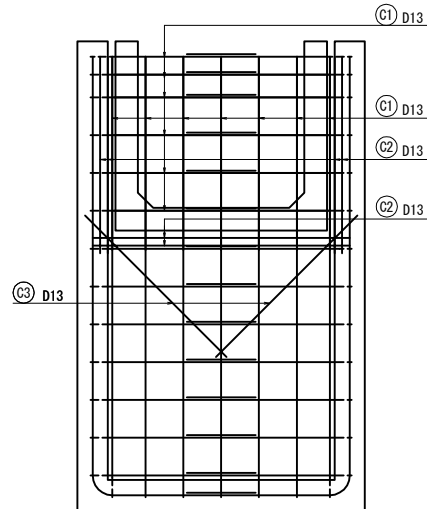
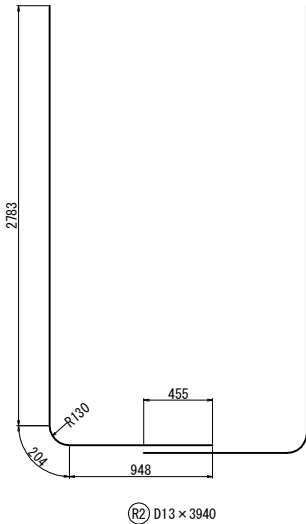
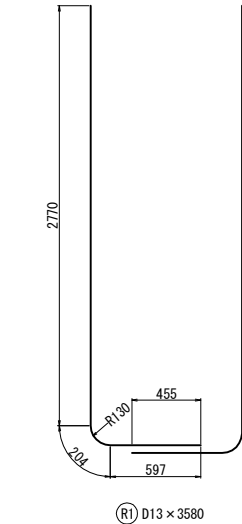
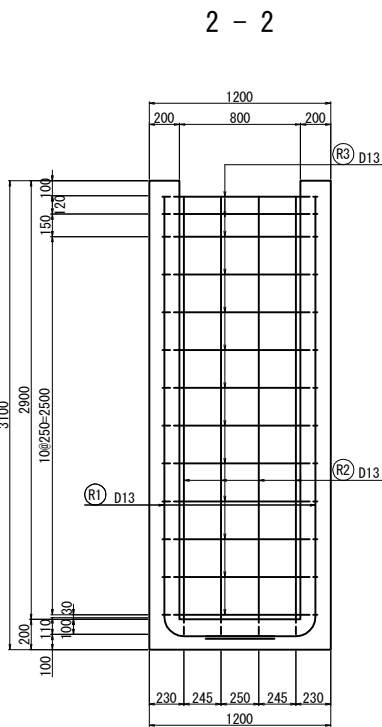
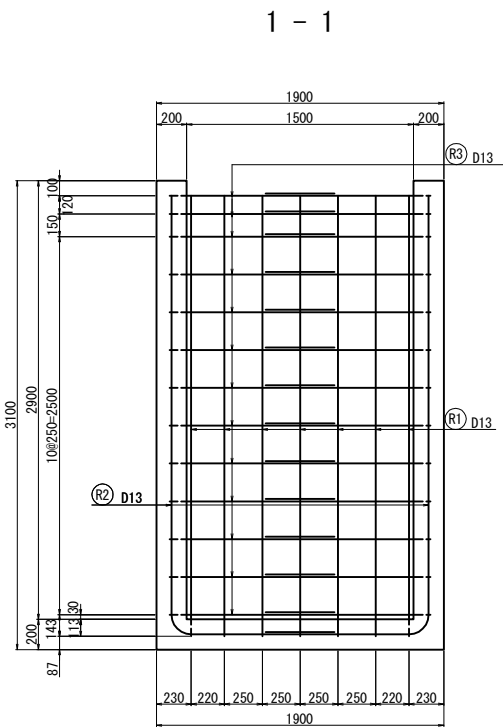
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	用排水工詳細図（2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

用排水工詳細図（3）

Dc^-0.80-1.50-2.90
S=1:50

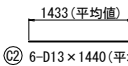
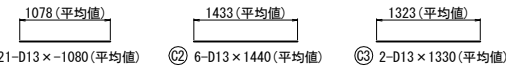
配筋加工図

控除数量①
(Ww-U(R0)-1.10-1.10)



鉄筋表

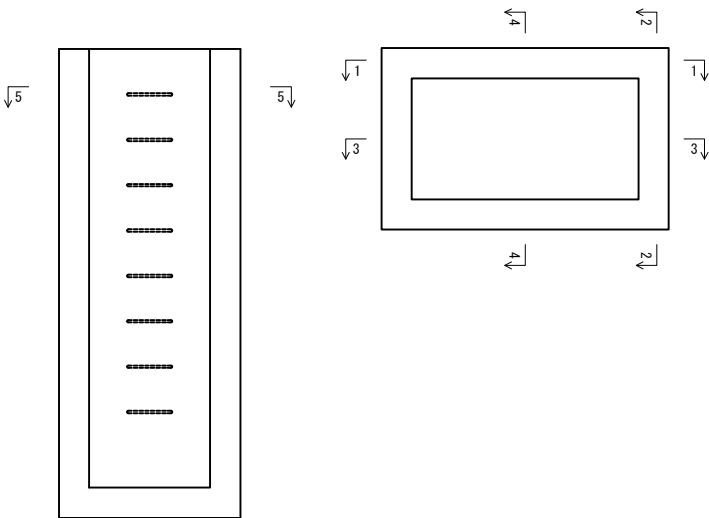
種別	項目							摘要
	記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	
Dc^-0.80-1.50-2.90	R1	D13	3580	14	0.995	3.56	50	L
	R2	D13	3940	8	0.995	3.92	31	L
	R3	D13	3100	26	0.995	3.08	80	C
合計							161 kg	



鉄筋表

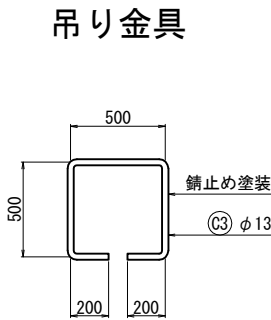
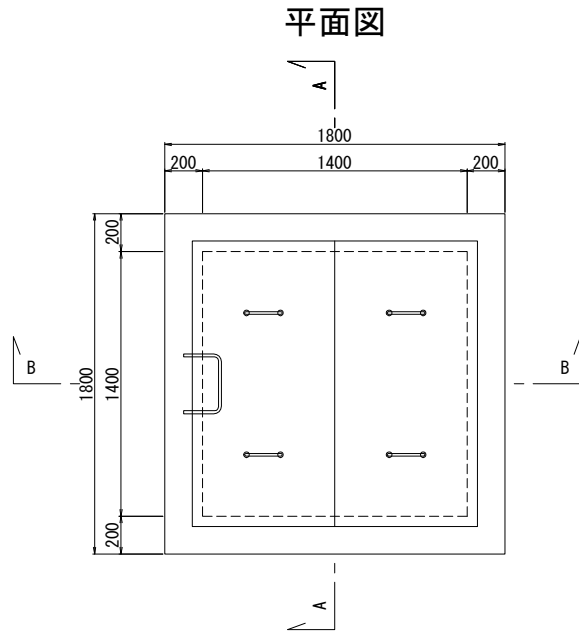
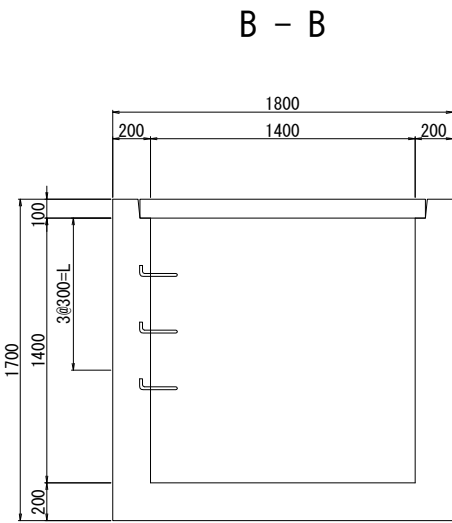
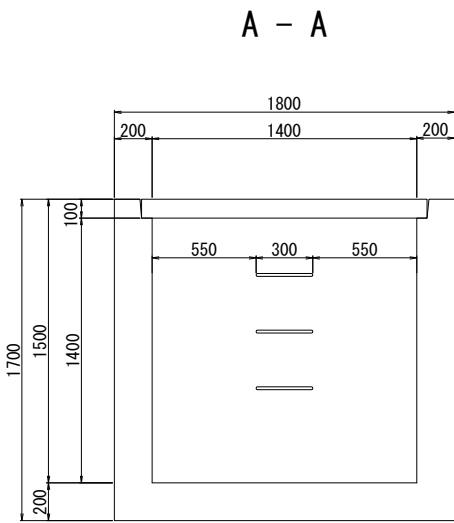
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C1	D13	~1080	21	0.995	-1.07	-22	—
C2	D13	1440	6	0.995	1.43	9	—
C3	D13	1330	2	0.995	1.32	3	—
合計							-10 kg

案内図



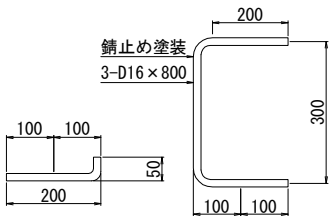
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	用排水工詳細図（3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

Dc^(D)-1. 40-1. 40-1. 40
S=1:40

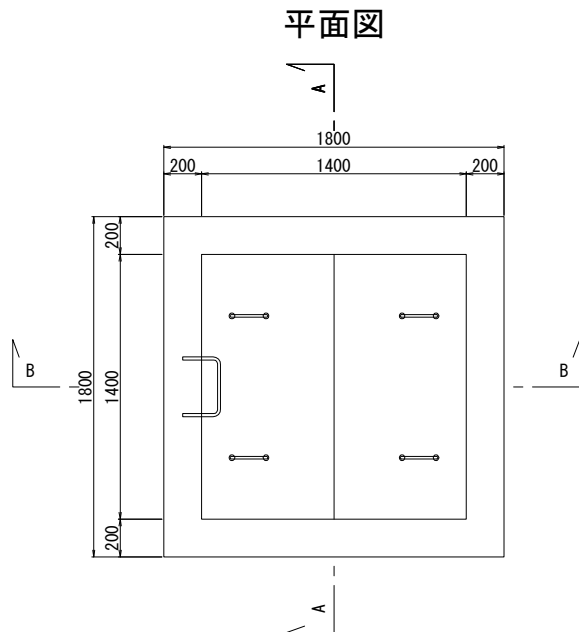
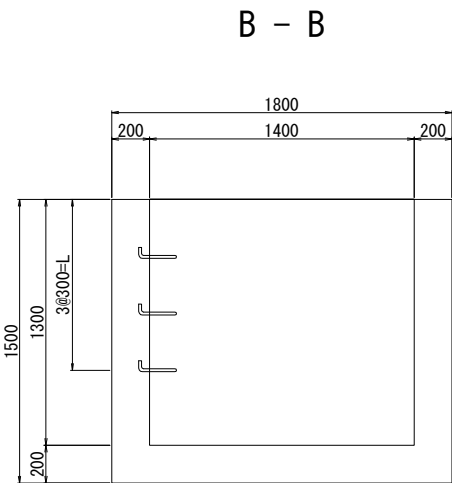
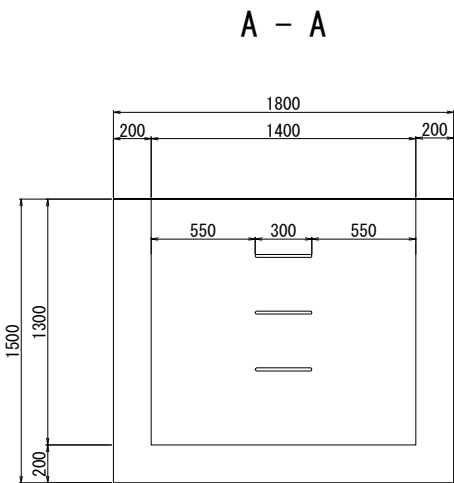


種 別 \ 項 目		構造物掘削	埋戻し	残土	コンクリート		型わく	鉄筋 A			鋼材		摘 要
		普通部 m3	m3	m3	B1-3 m3	C1-1 m3	D m2	D13 kg	D16 kg	φ13 kg	縹鋼板 kg	等辺山形鋼 kg	
Dc^(D)-1. 40-1. 40-1. 40		12. 54	7. 36	5. 18	1. 70	-	11. 96	基本数量 116	4	2	86. 8	8. 5	複数使用のため平均控除数量を算出
								控除数量 10					
								合計 126					

足掛金具



Dc^(Sp)-1. 40-1. 40-1. 30
S=1:40



種 別 \ 項 目		構造物掘削	埋戻し	残土	コンクリート		型わく	鉄筋 A			鋼材		摘 要
		普通部 m3	m3	m3	B1-3 m3	C1-1 m3	D m2	D13 kg	D16 kg	φ13 kg	縹鋼板 kg	等辺山形鋼 kg	
Dc^(SP)-1. 40-1. 40-1. 30		12. 54	7. 36	5. 18	1. 70	-	11. 96	基本数量 116	4	2	86. 8	8. 5	複数使用のため平均控除数量を算出
								控除数量 10					
								合計 126					

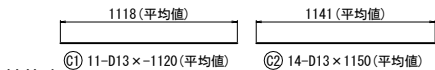
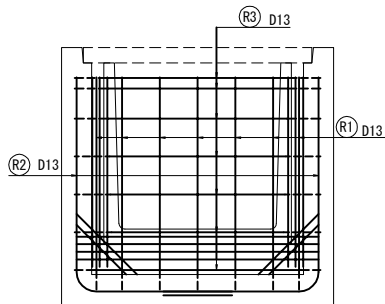
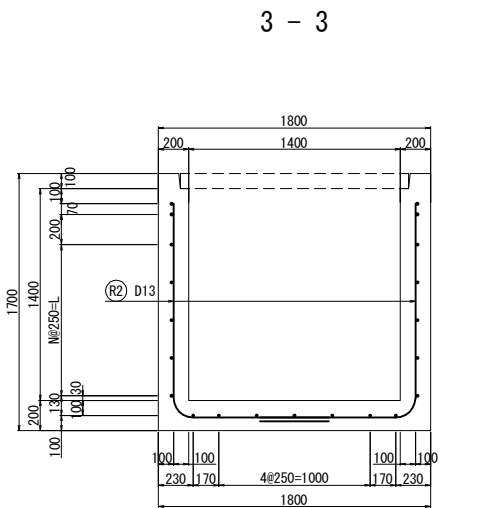
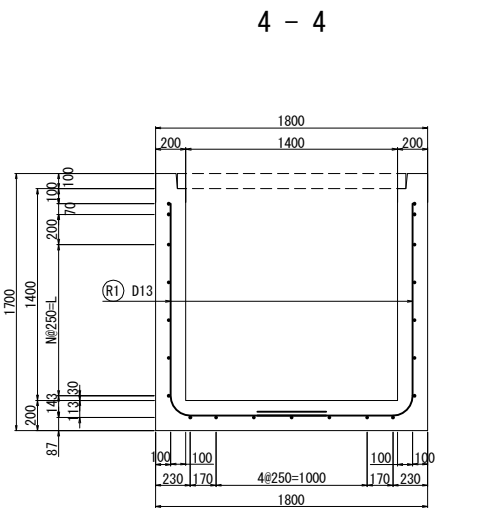
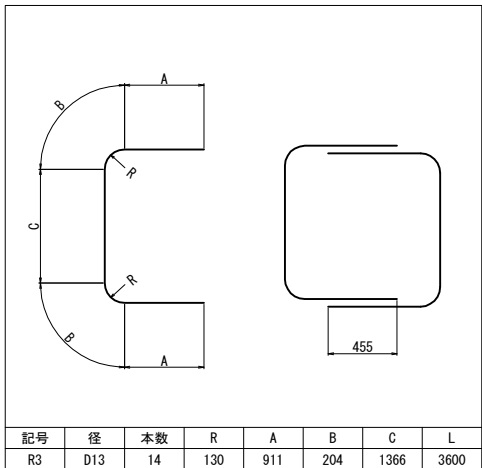
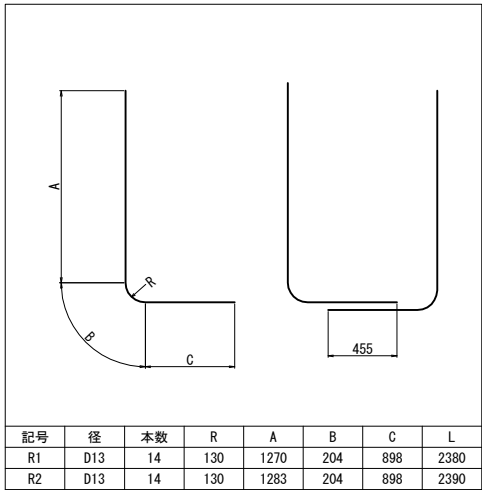
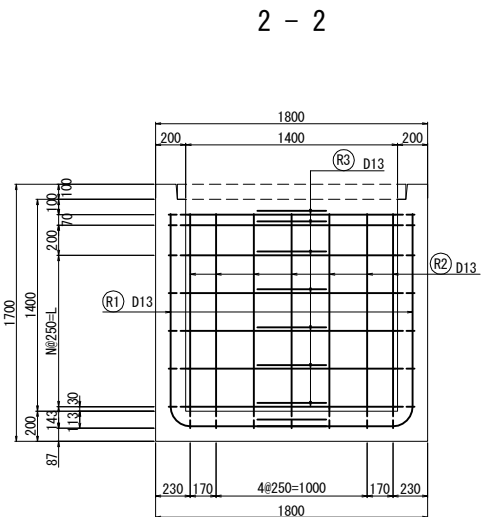
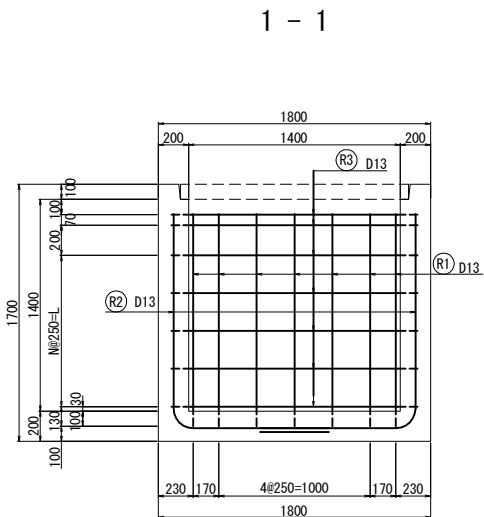
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	用排水工詳細図（４）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

用排水工詳細図（5）

Dc^(D)-1.40-1.40-1.40
配筋加工図

S=1:50

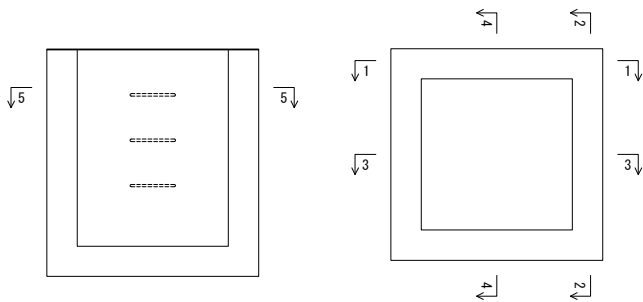
控除数量
Ds-PuL-1.10-1.10



記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C1	D13	-1120	11	0.995	-1.11	-12	---
C2	D13	1150	14	0.995	1.14	16	---
合計							4 kg

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R1	D13	2380	14	0.995	2.37	33	L
R2	D13	2390	14	0.995	2.38	33	L
R3	D13	3600	14	0.995	3.58	50	C
合計							116 kg

案内図



道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	用排水工詳細図（5）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

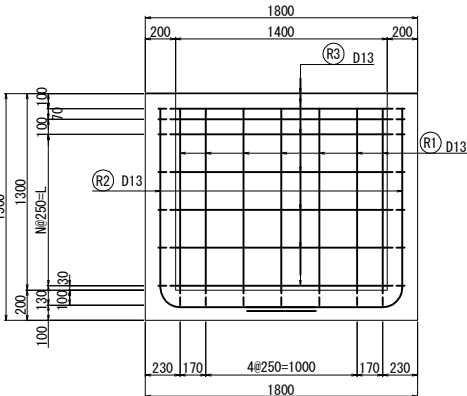
用排水工詳細図 (6)

$$Dc^{\wedge} (Sp) - 1.40 - 1.40 - 1.30$$

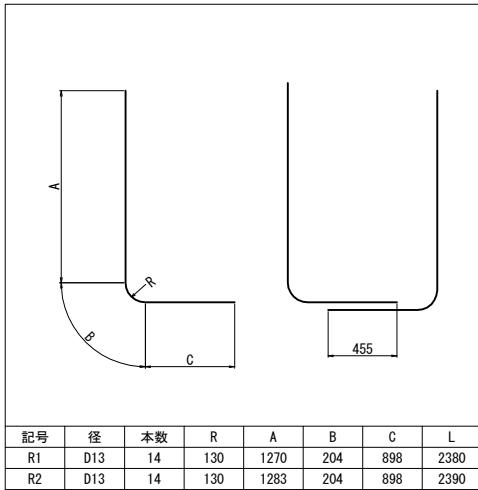
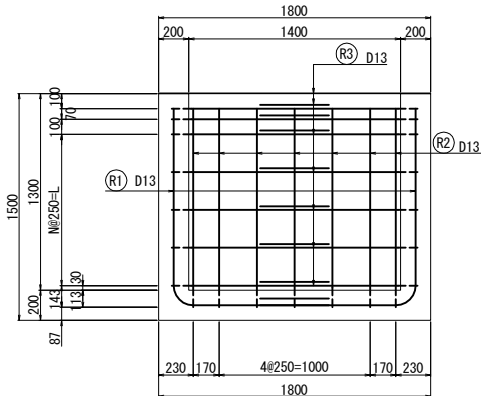
配筋加工図

S=1 : 50

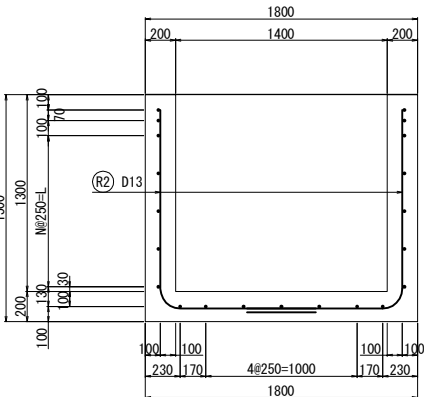
1 - 1



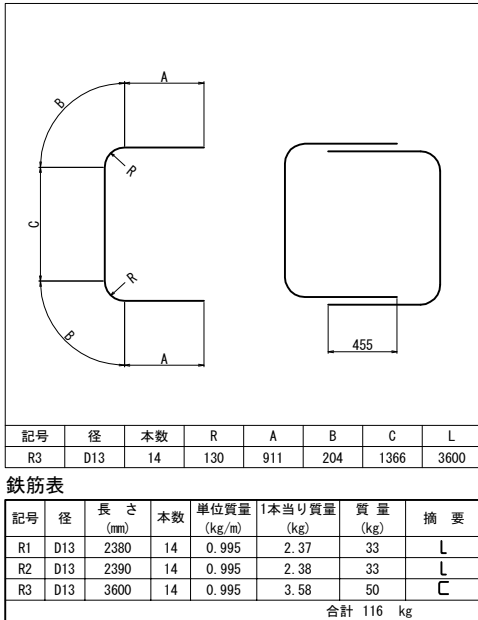
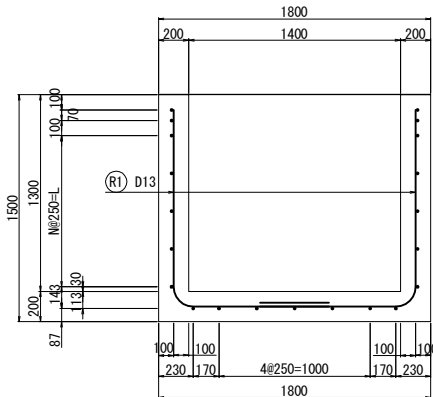
2 - 2



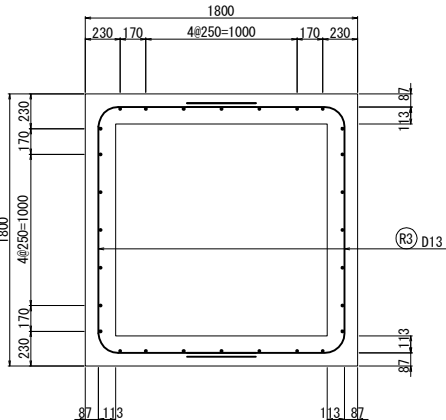
3 - 3



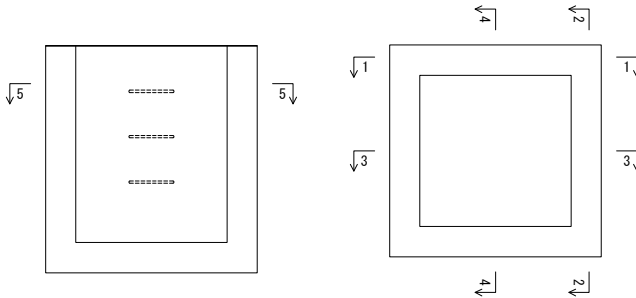
4 - 4



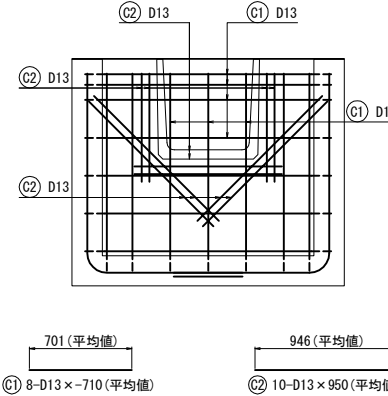
5 - 5



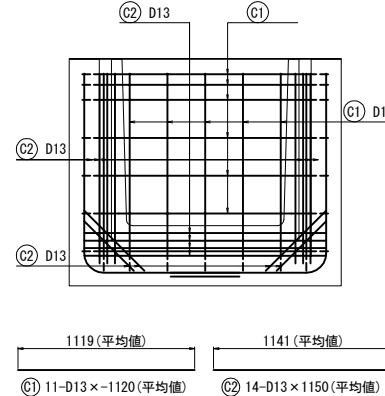
案内図



控除数量
Ds-PuL-0.60-0.6



控除数量
Ds-PuL-1.10-1.1



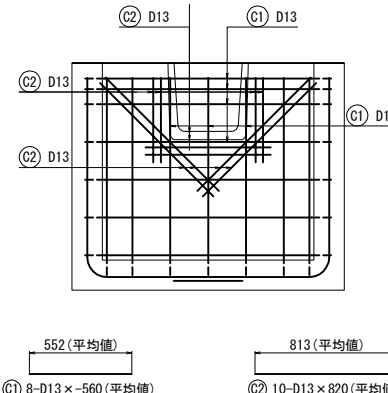
鉄筋コンクリート造

[illegible]

鉄筋コンクリート造

[illegible]

控除数量
Ds-PuL-0.45-0.4

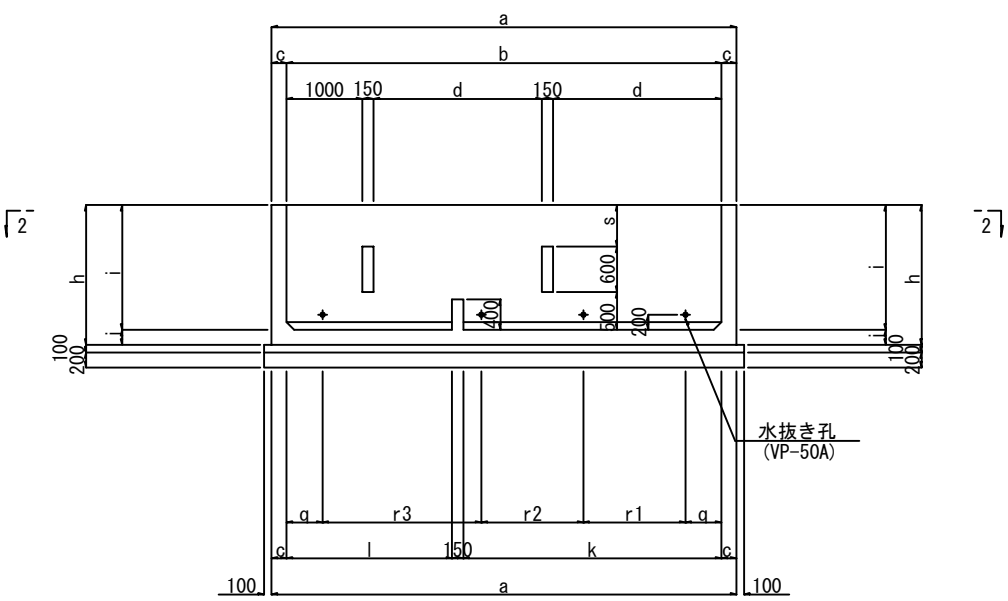


鉄筋等

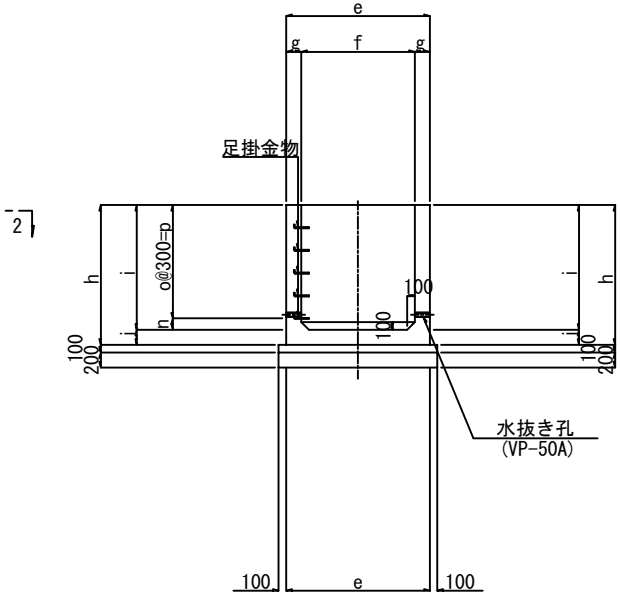
[illegible]

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	用排水工詳細図（６）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

縦断図(1-1)

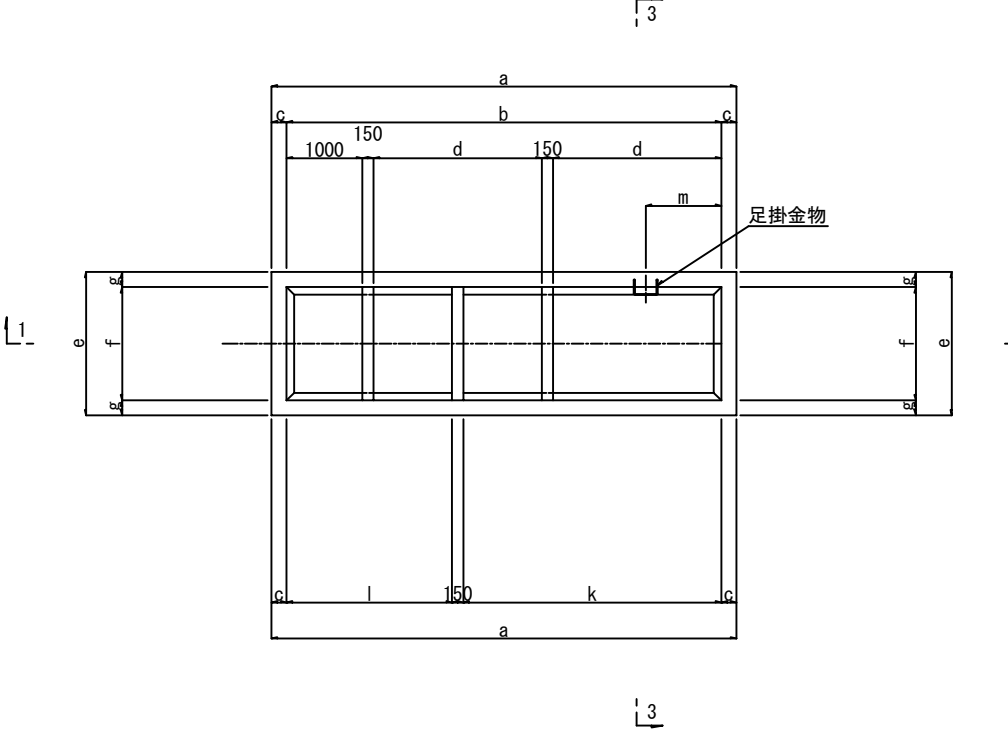


断面図(3-3)

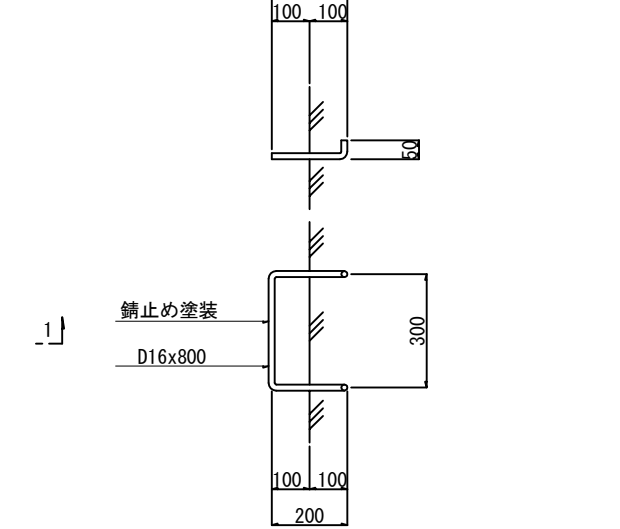


項目	規格	単位	STA. 789+00 (R)	備考
構造物掘削	普通部	m3	168.0	
裏込め材	A-2	m3	11.5	非凍上材
埋め戻し	A-2	m3	81.2	
基礎材	切込碎石 t=20cm	m3	5.8	
コンクリート	B1-3	m3	14.2	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	D1-1	m3	3.0	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
型枠	D (本土工)	m2	96.7	
	D (均しコンクリート)	m2	2.2	
鉄筋	A	D13	305	SD345
		D16	595	SD345
		合計	900	SD345
足場工	H<10m	空m3	76.1	
支保工		空m3	0.5	
ステップ	足掛金物 D16 x 800	本	6	SD345 錆止塗装
水抜きパイプ	VP-50A	m	1.6	

平面図(2-2)



足掛金物 S=1:10



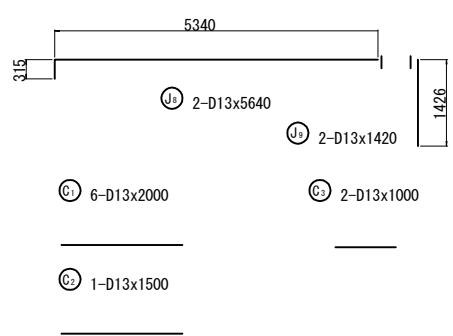
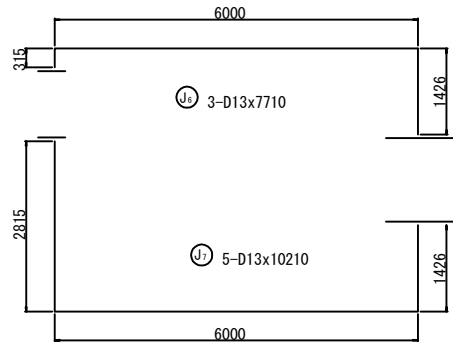
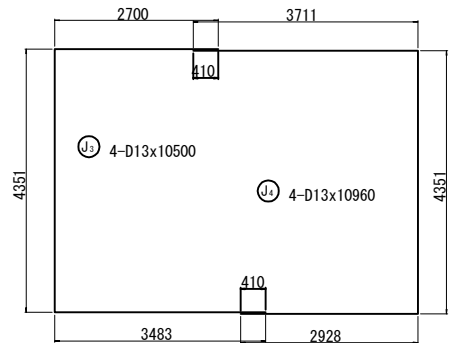
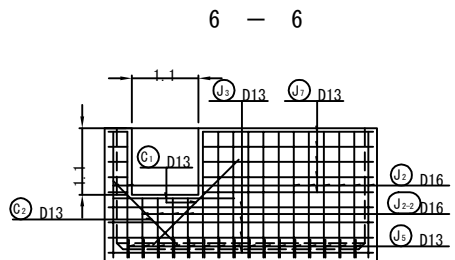
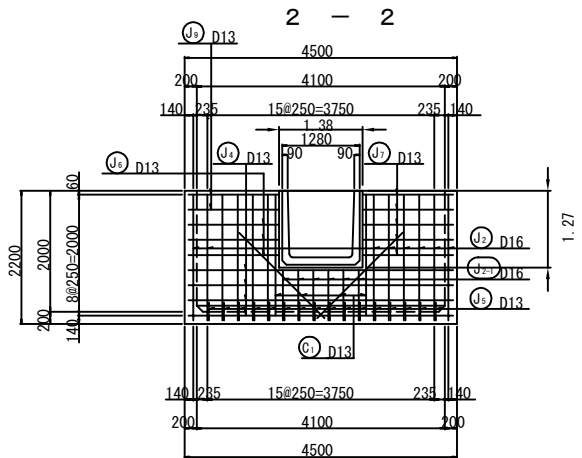
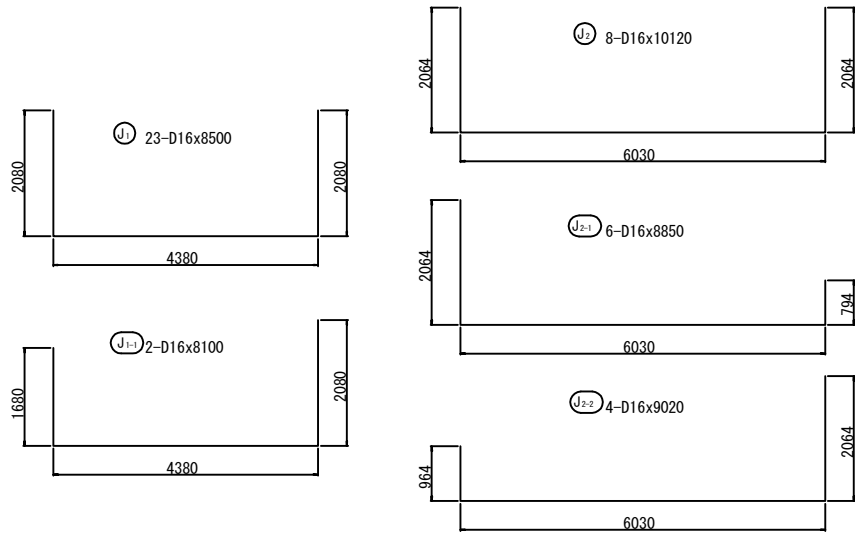
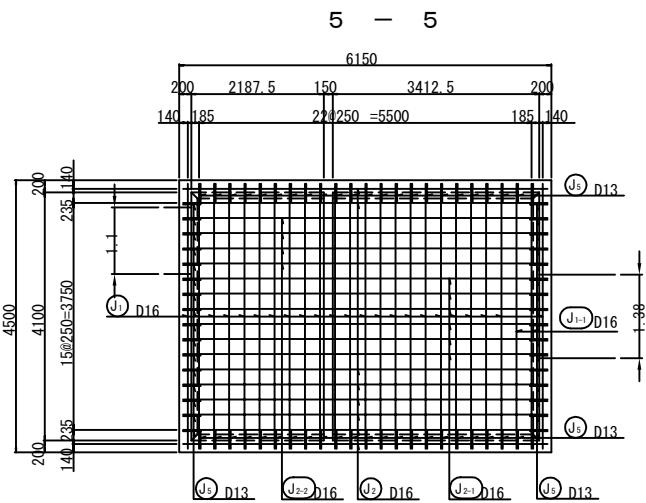
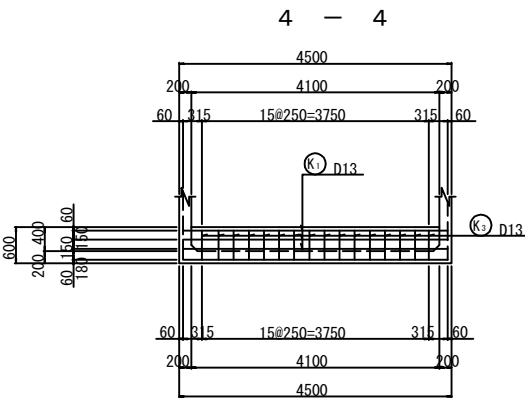
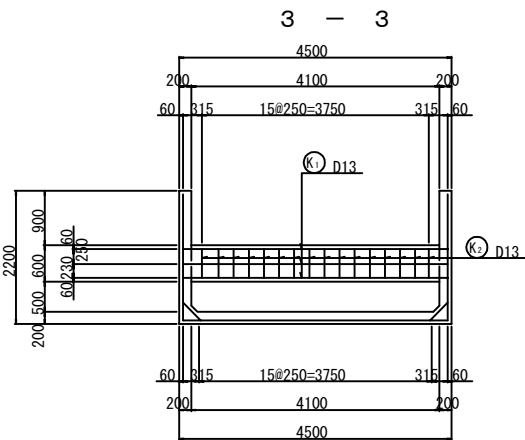
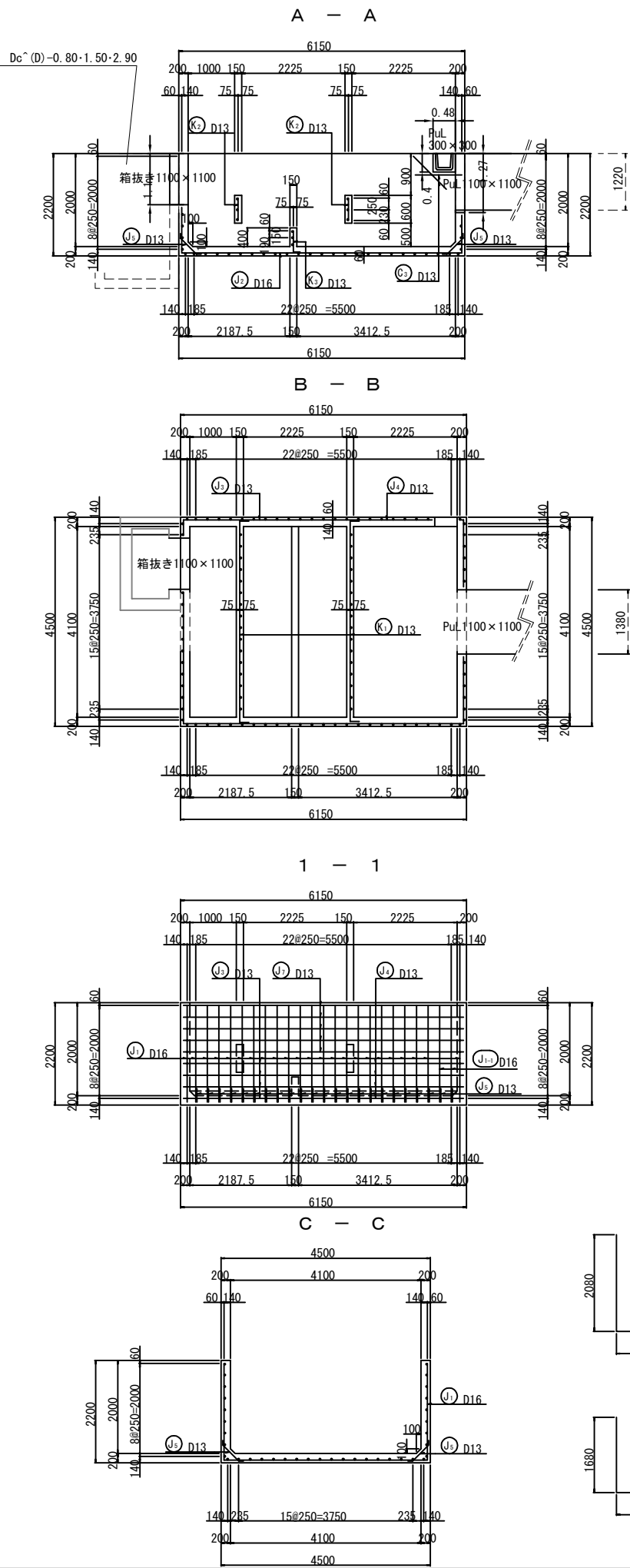
寸法記号	STA. 789+00 (R)
a	6150
b	5750
c	200
d	2225
e	4500
f	4100
g	200
h	2200
i	2000
j	200
k	3412.5
l	2187.5
m	1000
n	200
o	6
p	1800
q	500
r1	1375
r2	1375
r3	2000
s	900

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	油水分離ます構造一般図		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

油水分離ます配筋図

S= 1:125

側面図

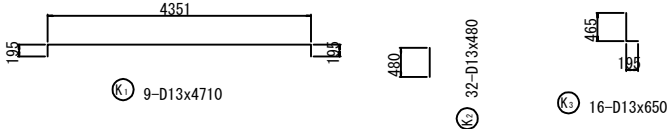


鉄筋表

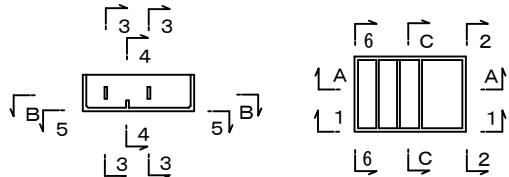
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
J ₁	D16	8500	23	1.56	13.3	305	
J ₁₋₁	"	8100	2	"	12.6	25	
J ₂	"	10120	8	"	15.8	126	
J ₂₋₁	"	8850	6	"	13.8	83	
J ₂₋₂	"	9020	4	"	14.1	56	
J ₃	D13	10500	4	0.995	10.4	42	
J ₄	"	10960	4	"	10.9	44	
J ₅	"	620	78	"	0.6	48	
J ₆	"	7710	3	"	7.7	23	
J ₇	"	10210	5	"	10.2	51	
J ₈	"	5640	2	"	5.6	11	
J ₉	"	1420	2	"	1.4	3	
C ₁	D13	2000	6	"	2.0	12	
C ₂	"	1500	1	"	1.5	2	
C ₃	"	1000	2	"	1.0	2	
							833 kg
K ₁	D13	4710	9	0.995	4.69	42	
2	"	480	32	"	0.478	15	
3	"	650	16	"	0.647	10	
							67 kg
							D16 595 kg
							D13 305 kg
							合計 900 kg

鉄筋曲げ加工表

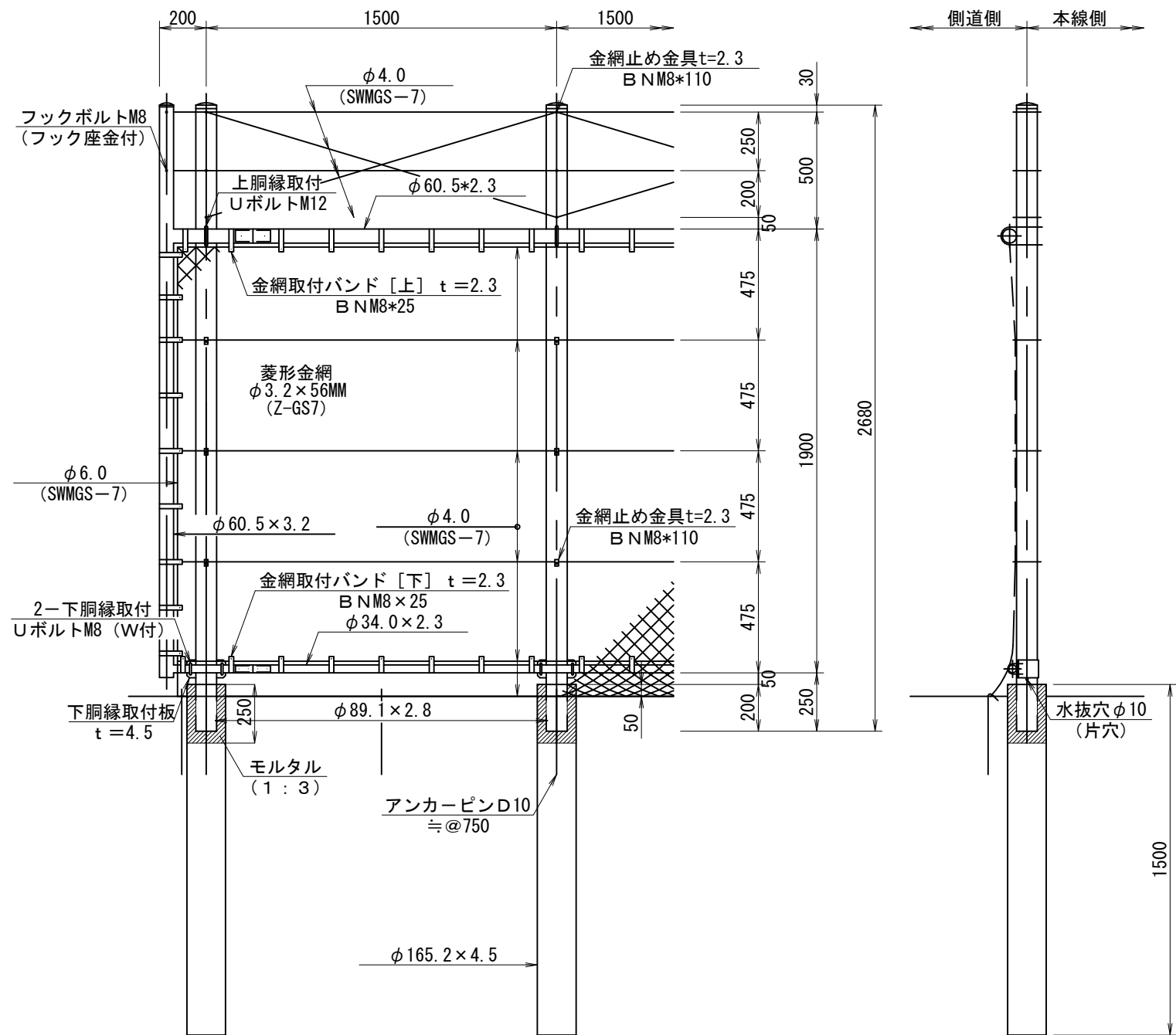
		主鉄筋			スターラップ		
径	R	$\theta \leq 90^\circ$ R=3a			$\theta = 90^\circ$ R=2.5a		
		a	Δl	Δl	a	Δl	Δl
D13	39	61	17	71.5	56	3	14
D16	48	75	21	88	69	4	17
D19	57	89	25	104.5	82	5	20
D22	66	104	28	121	95	5	
D25	75	118	32	137.5	108	6	
D29	87	137	37	159.5	125	7	
D32	96	151	41	176	138	8	
D35	105	165	45	192.5	151	8	
D38	114	179	49	209	164	9	



位置図



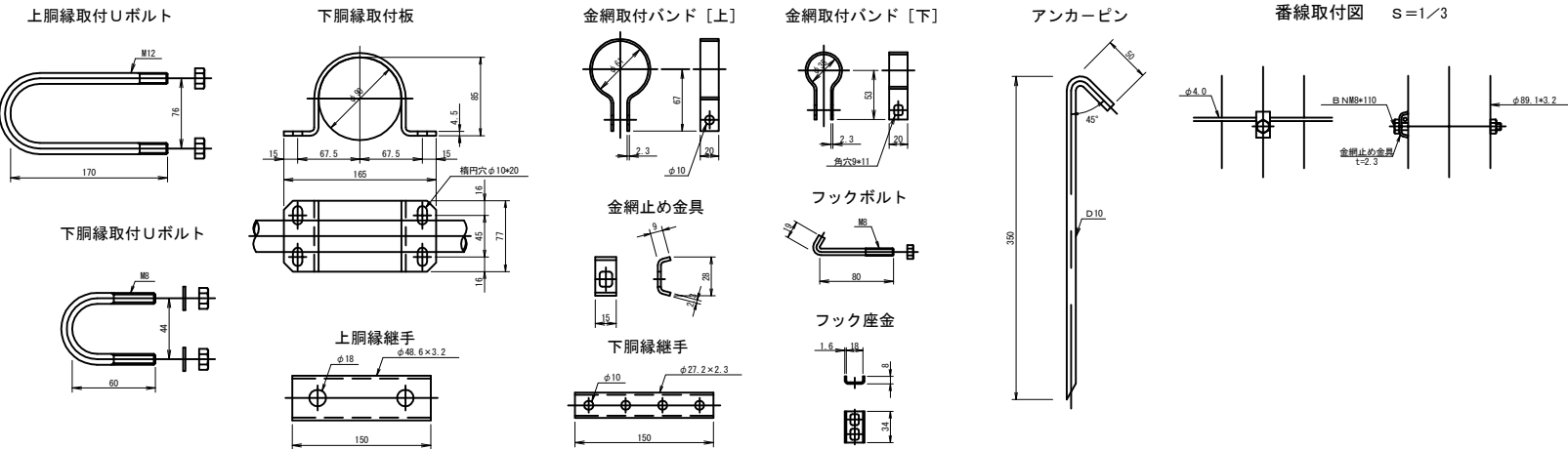
道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	油水分離ます配筋図		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



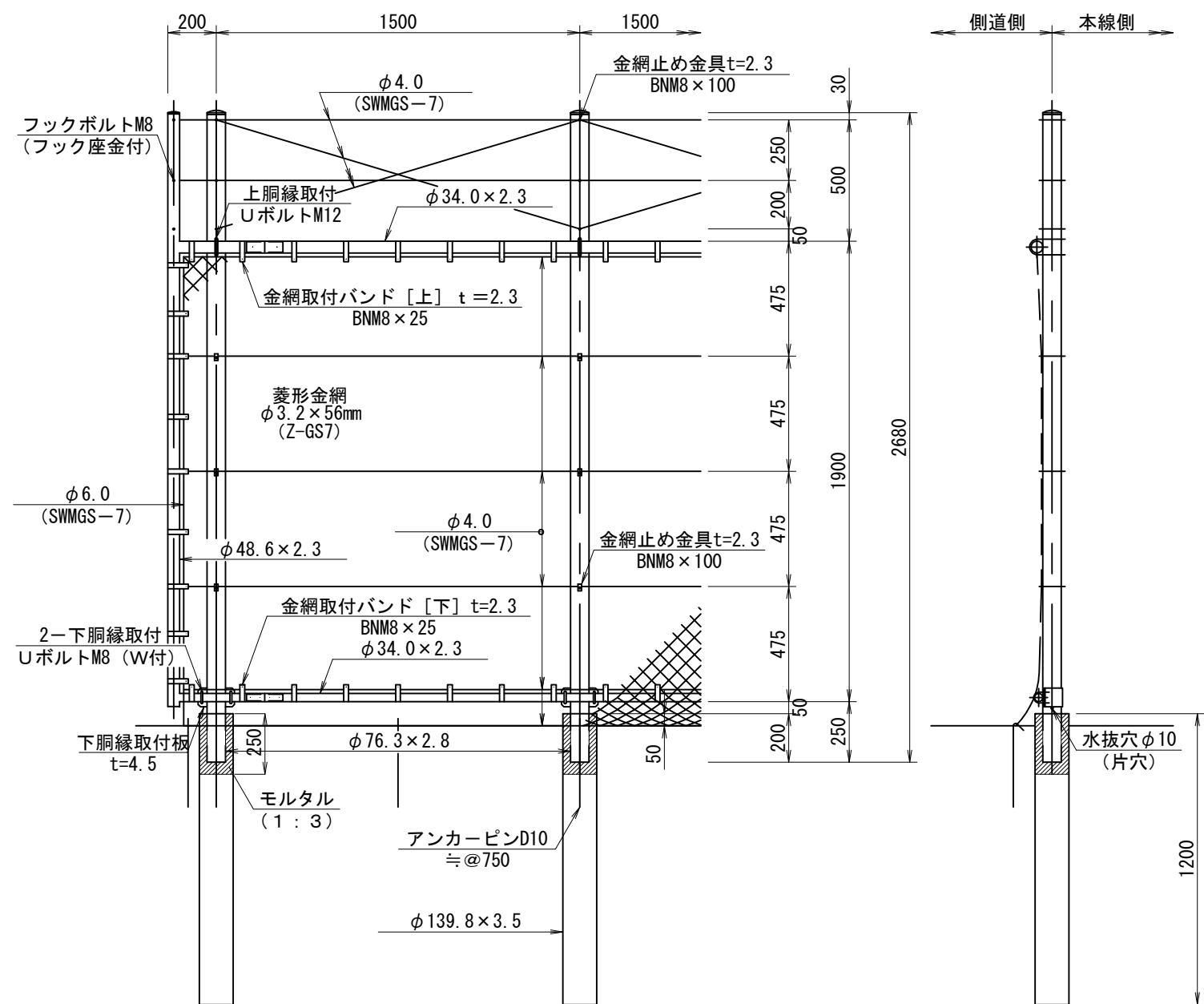
立入防止柵〔一般型積雪地用 S 2（１）（C）B〕 材料表				
名 称	規 格	材 質	外 装	備 考
中 間 支 柱	φ 89.1×2.8	STK400	HDZT56+塗装	A=8.836mZ Z=17.8mm
上 胴 縁	φ 60.5×2.3	〃	〃	A=5.765mZ Z=7.84mm
下 胴 縁	φ 34.0×2.3	〃	HDZT56	A=2.781mZ Z=1.70mm
上胴縁取付Uボルト	M12	ボルト4.6、ナット5	HDZT49	〃
下胴縁取付Uボルト	M8	ボルト4.8、ナット5	〃	W付
下胴縁取付板	t=4.5	SS400	HDZT49+塗装	〃
金網取付バンド〔上〕	t=2.3	〃	〃	〃
ボルト、ナット	M8×25	ボルト4.8、ナット5	〃	〃
金網取付バンド〔下〕	t=2.3	SS400	〃	〃
ボルト、ナット	M8×25	ボルト4.8、ナット5	〃	〃
金網止め金具	t=2.3	SS400	〃	〃
ボルト、ナット	M8×110	ボルト4.8、ナット5	〃	〃
菱 形 金 網	φ 3.2×56MM	Z-GS7	JISIに準拠+塗装	〃
横 力 骨 線	φ 4.0	SWMGS-7	JISIに依る+塗装	〃
縦 力 骨 線	φ 6.0	〃	〃	〃
番 線	φ 4.0	〃	〃	〃
上 胴 縁 継 手	φ 48.6×3.2	STK400	HDZT49	〃
ボルト、ナット	M16×85	ボルト4.8、ナット5	〃	〃
下 胴 縁 継 手	φ 27.2×2.3	STK400	〃	〃
ボルト、ナット	M8×50	ボルト4.8、ナット5	〃	〃
抽 柱	φ 60.5×3.2、φ 34.0×2.3	STK400	HDZT49+塗装	〃
支柱キャップ	t=2.3	SPHC	HDZT49	〃
袖柱キャップ	〃	〃	〃	〃
鋼 管 基 礎	φ 165.2×4.5	STK400	高耐候性めっき鋼板	〃
アンカーピン	D10	SD295	HDZT49	〃

注記
・胴縁継手位置はスパン中央を避けて、できるかぎり支柱付近とする。
・高耐候性めっき鋼板（亜鉛－アルミニウム6%－マグネシウム3%合金めっき鋼板：K27）は、HDZ55同等以上の耐候性を有します。

部品図 S=1/2・1/3



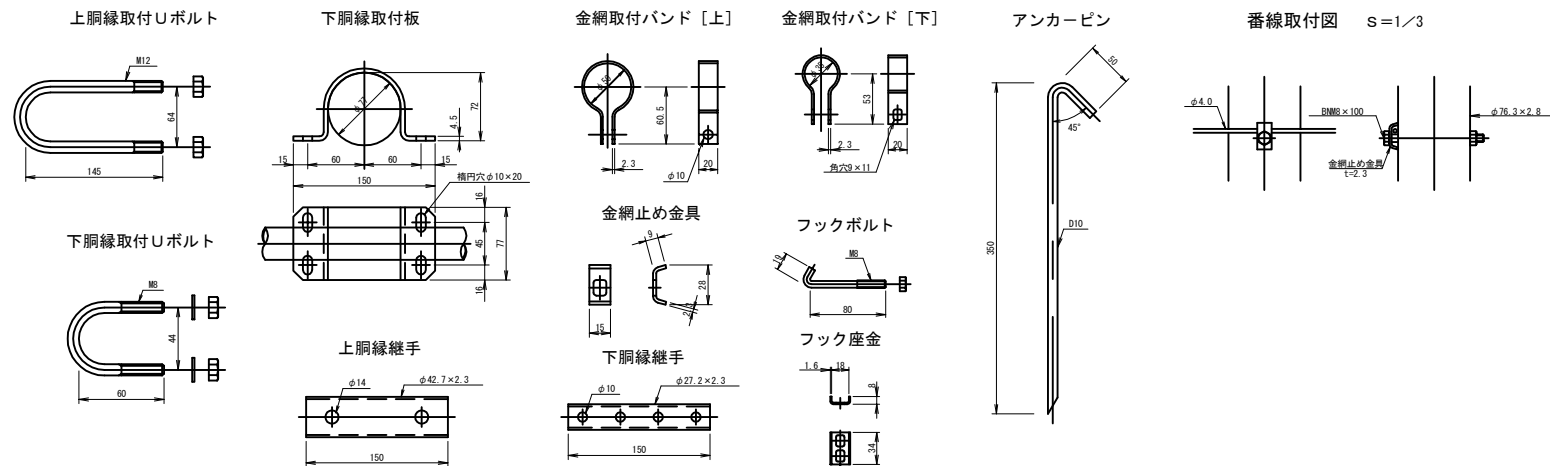
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	立入防止柵詳細図（１） 一般型積雪地用S 2（１）（C）B		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



立入防止柵〔一般型積雪地用 S3(1)(C)〕 材料表				
名称	規格	材質	外装	備考
中間支柱	φ76.3×2.8	STK400	HDZT56	A=4.45mm Z=1.12mm
上 胴 縁	φ34.0×2.3	〃	〃	A=2.34mm Z=2.37mm
下 胴 縁	φ34.0×2.3	〃	〃	A=2.37mm Z=1.12mm
上胴縁取付Uボルト	M12	ボルト4.6、ナット5	HDZT49	
下胴縁取付Uボルト	M8	ボルト4.8、ナット5	〃	W付
下胴縁取付板	t=4.5	SS400	〃	
金網取付バンド〔上〕	t=2.3	〃	〃	
ボルト、ナット	M8×25	ボルト4.8、ナット5	〃	
金網取付バンド〔下〕	t=2.3	SS400	〃	
ボルト、ナット	M8×25	ボルト4.8、ナット5	〃	
金網止め金具	t=2.3	SS400	〃	
ボルト、ナット	M8×100	ボルト4.8、ナット5	〃	
菱 形 金 網	φ3.2×56mm	Z-GS7	JISに準拠	
横 力 骨 線	φ4.0	SWMGS-7	JISに依る	
縦 力 骨 線	φ6.0	〃	〃	
番 線	φ4.0	〃	〃	
上 胴 縁 継 手	φ42.7×2.3	STK400	HDZT49	
ボルト、ナット	M12×70	ボルト4.8、ナット5	〃	
下 胴 縁 継 手	φ27.2×2.3	STK400	〃	
ボルト、ナット	M8×50	ボルト4.8、ナット5	〃	
袖 柱	φ48.6×2.3、φ34.0×2.3	STK400	HDZT56	
支柱キャップ	t=2.3	SPHC	HDZT49	
袖柱キャップ	〃	〃	〃	
鋼 管 基 礎	φ139.8×3.5	STK400	高耐候性めっき鋼板	
アンカーピン	D10	SD295	HDZT49	

注記
・ 胴縁継手位置はスパン中央を避けて、できるかぎり支柱付近とする。
・ 高耐候性めっき鋼板（亜鉛－アルミニウム6%－マグネシウム3%合金めっき鋼板：K27）は、HDZT77同等以上の耐候性を有します。

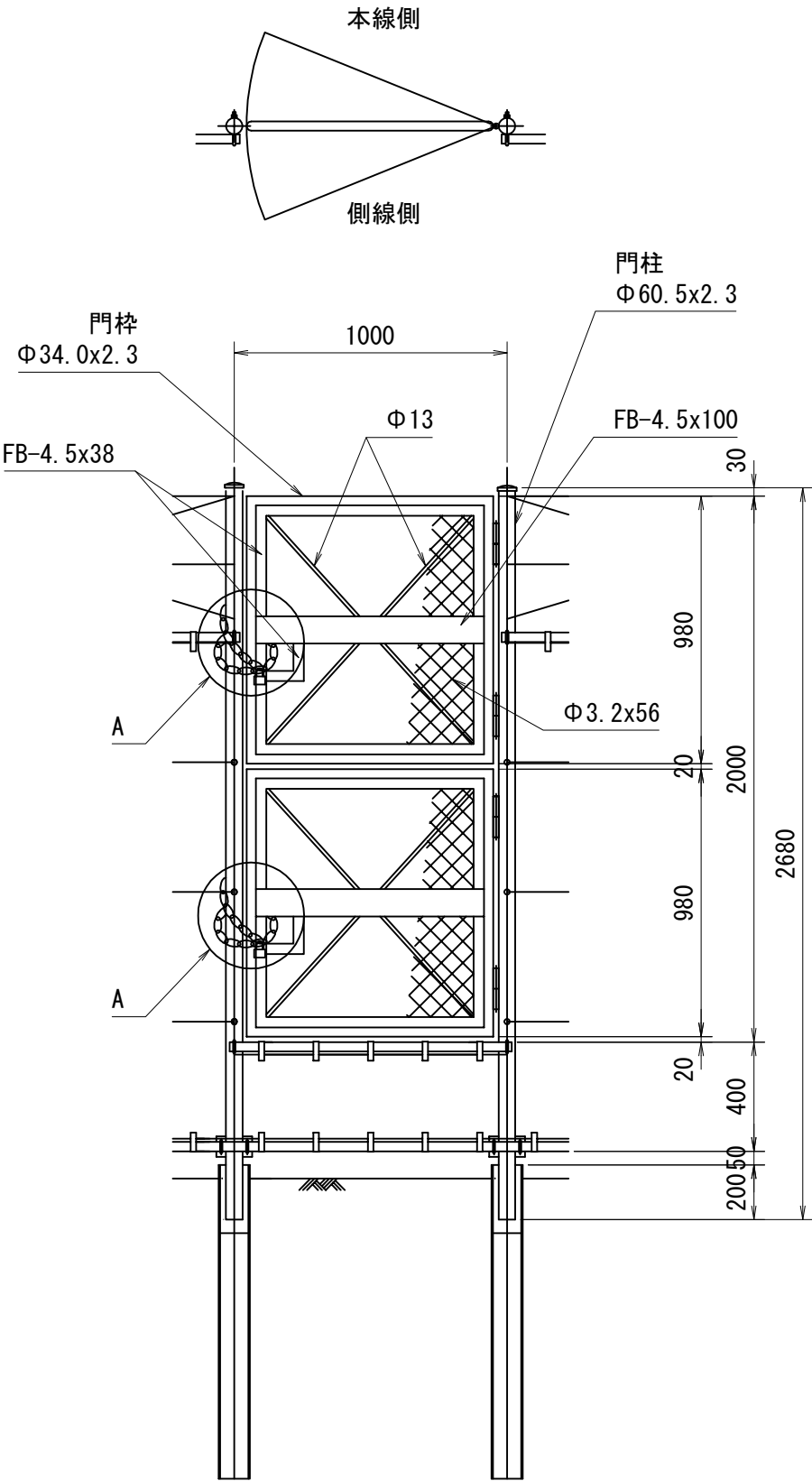
部品図 S=1/2・1/3



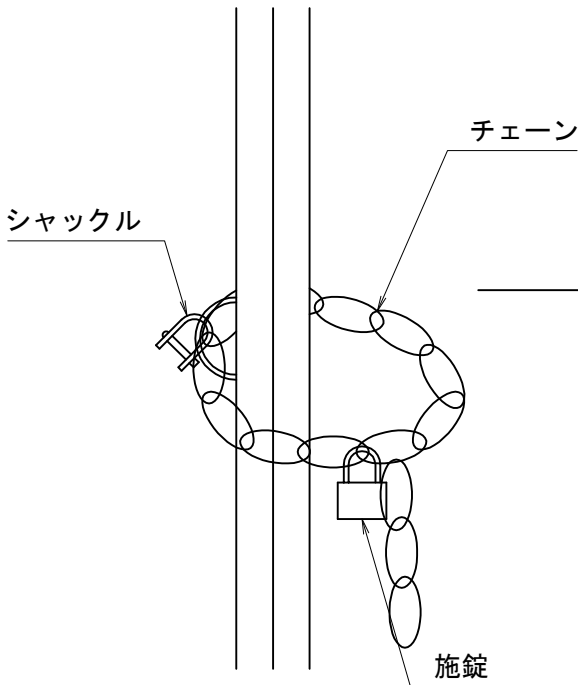
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	立入防止柵詳細図（2） 一般型積雪地用 S3(1)(C)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

一般型積雪地用S 4（1）（C）

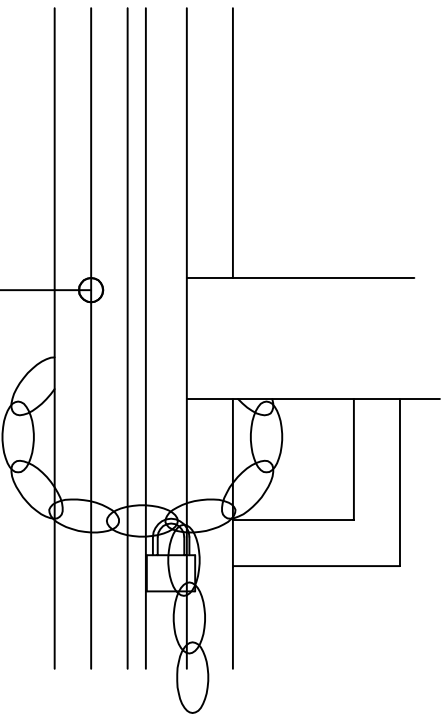
A部詳細



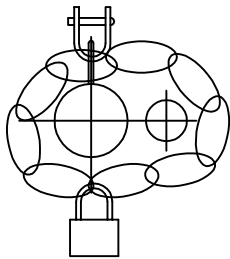
側面図



正面図

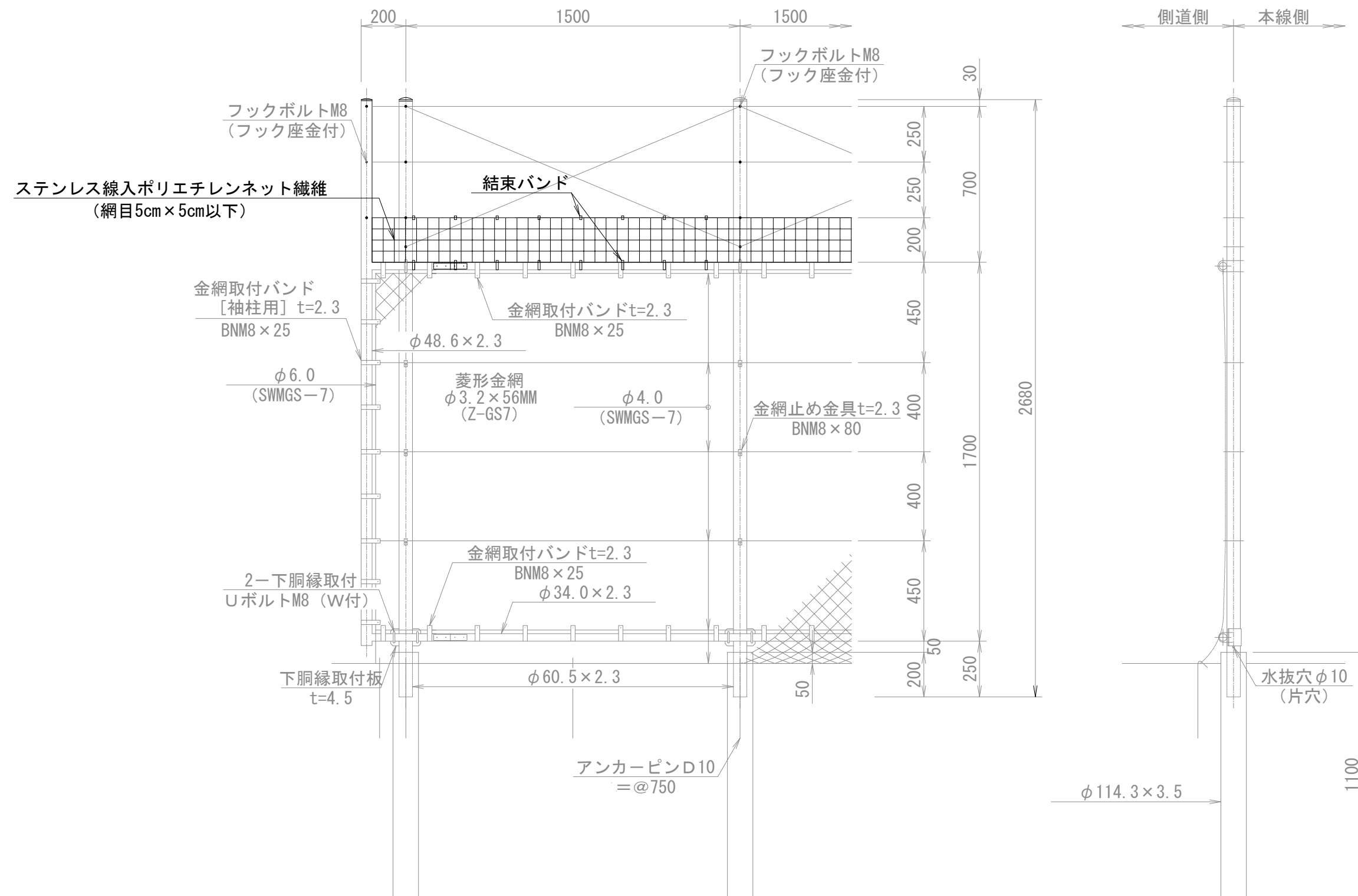


平面図

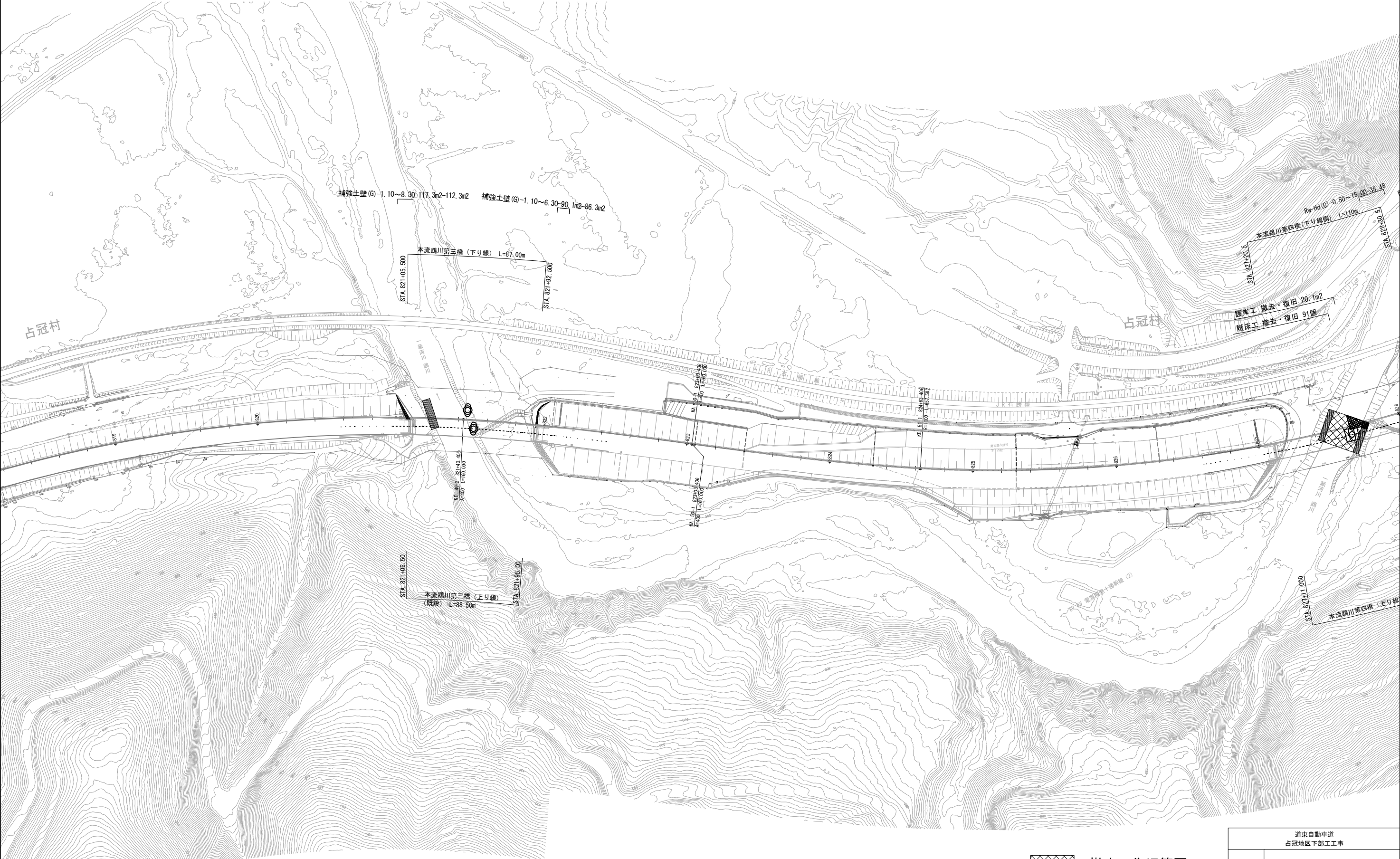


立入防止柵の出入口〔一般型積雪地用S 4（1）（C）〕 材料表					
名 称	形状寸法	単位	数量	材 質	表面処理
門柱	$\phi 60.5 \times 2.3 \times 2680$	本	2	JIS G3444 STK400	HDZT56
門扉枠	L-50 \times 50 \times 4 外	枚	1	JIS G3444 STK400	HDZT56
金網	$\phi 3.2 \times 56$	m	1	JIS G3552 Z-GS7	380g/m ²
Uボルトナット	M12 \times 50 \times 125	本	2	JIS B1180 強度4.6 4	HDZT49
Uボルトナット	M8 \times 44 \times 70	本	2	JIS B1180 強度4.6 4	HDZT49
Jボルトナット	M8 \times 20 \times 100	本	10	JIS B1180 強度4.6 4	HDZT49
鋼管杭	$\phi 114.3 \times 3.5 \times 1100$	本	2	JIS G3444 STK400	HDZT77
シャックル		個	1	SUS	
チェーン	$\phi 5.0$	本	1	SUS	

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	立入防止柵の出入口詳細図 一般型積雪地用S 4（1）（C）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



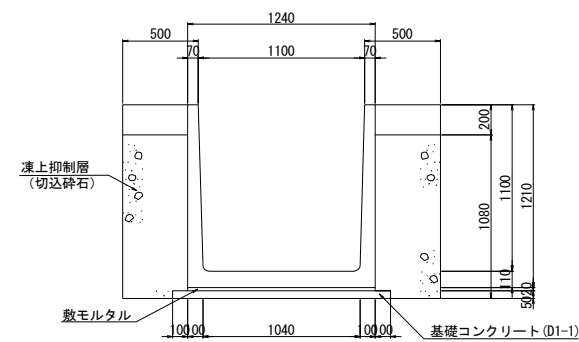
道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	動物進入対策工B詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



：撤去・復旧範囲

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去工平面図（3）		
縮 尺	1：2,500	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

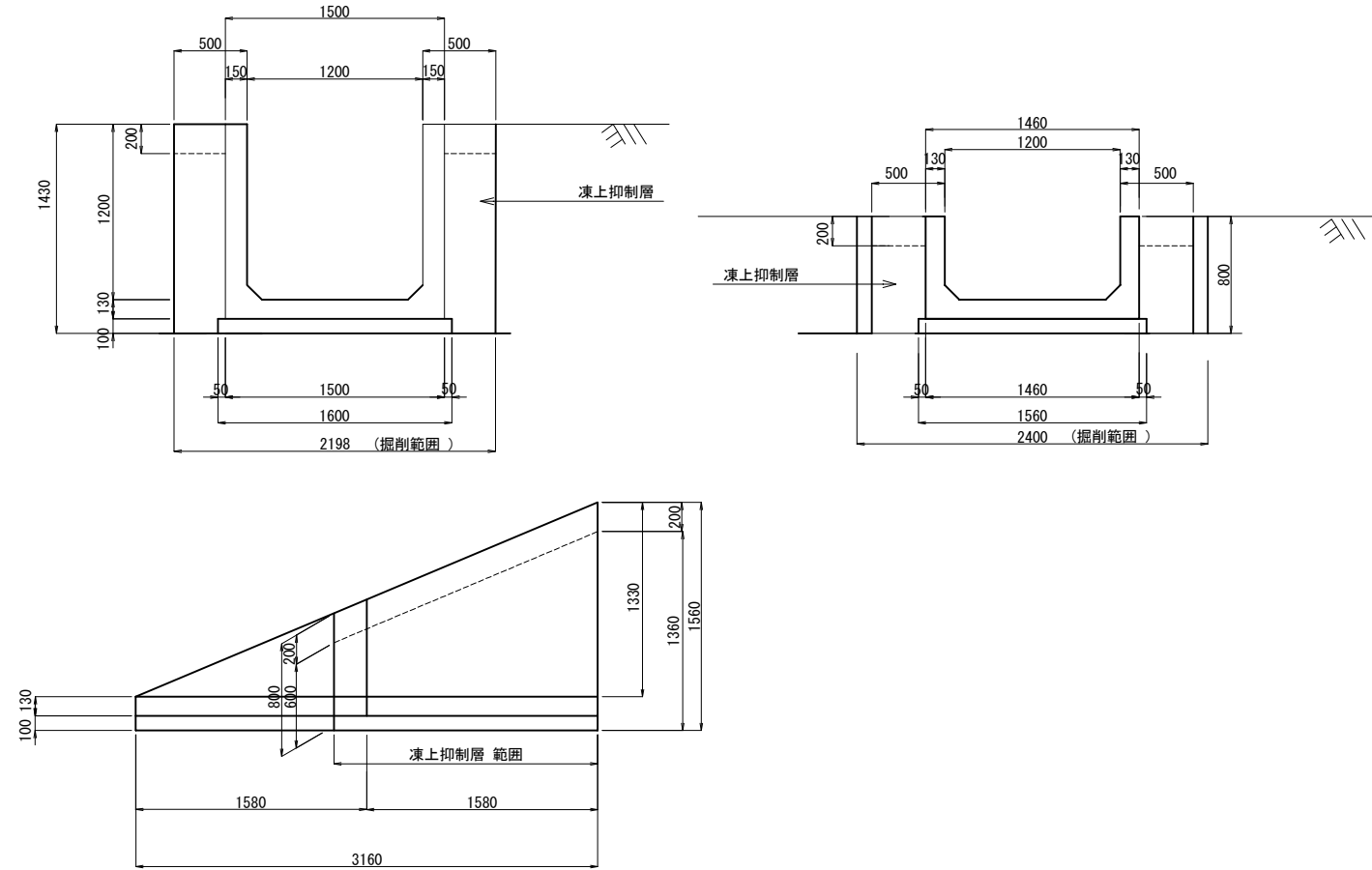
Ds-PuL (A)-1. 10-1. 10



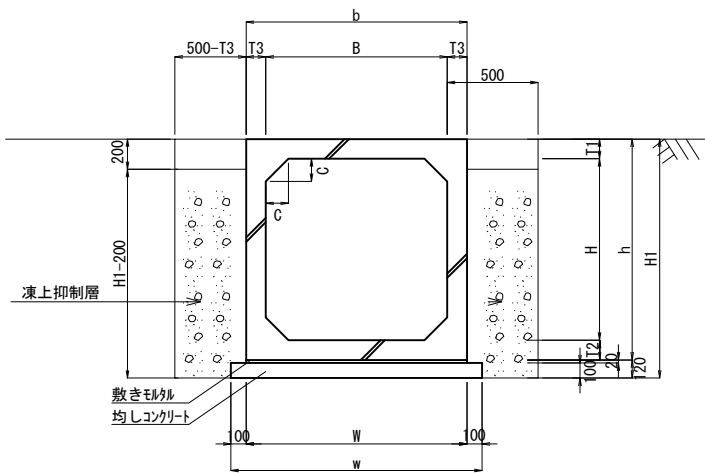
寸法表

種別	項目	a	b	c	d	h	t1	t2	A	H	摘要
		mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	
Ds-PuL (A)-1. 10-1. 10		1100	1100	1040	480	1070	110	100	1240	1200	

Ds-PuL (Po)-1. 20-1. 20~0. 00



DBx-B-H

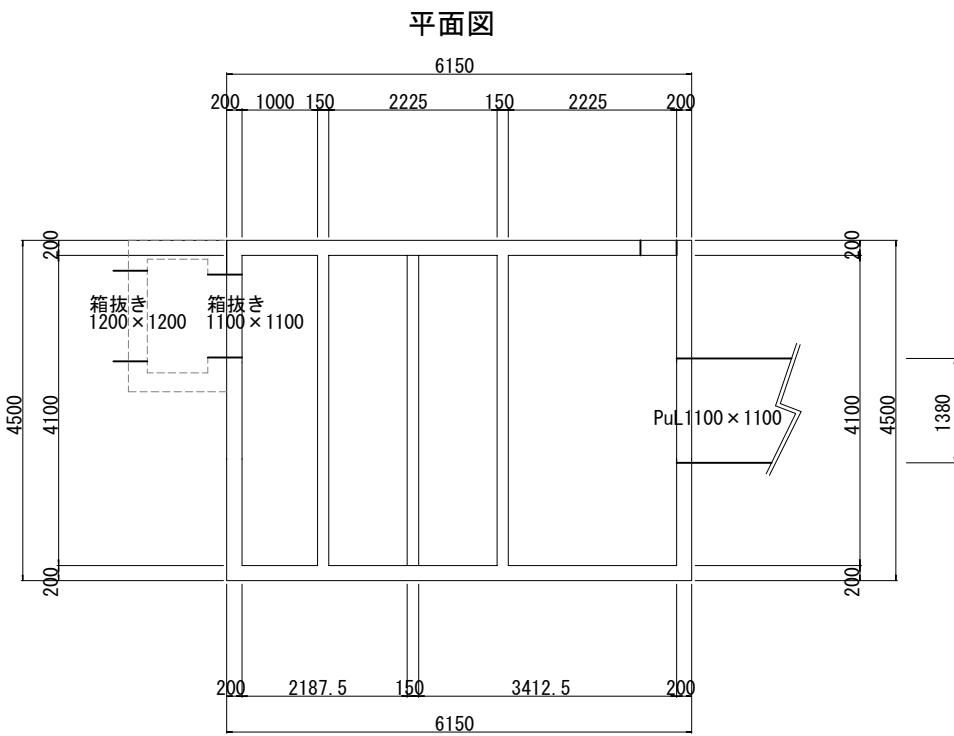
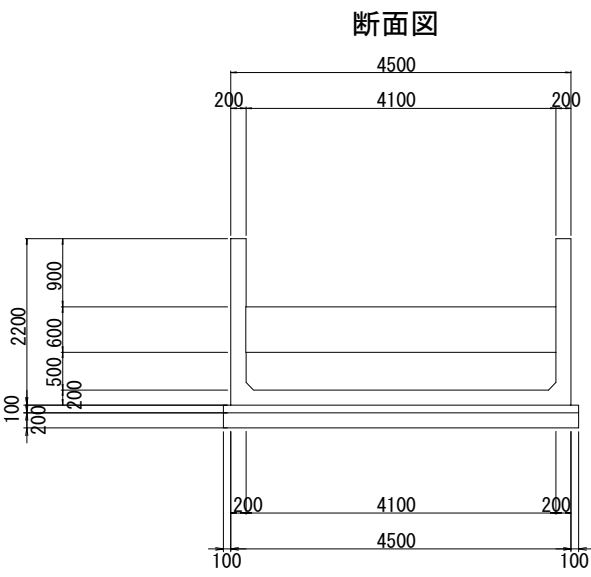
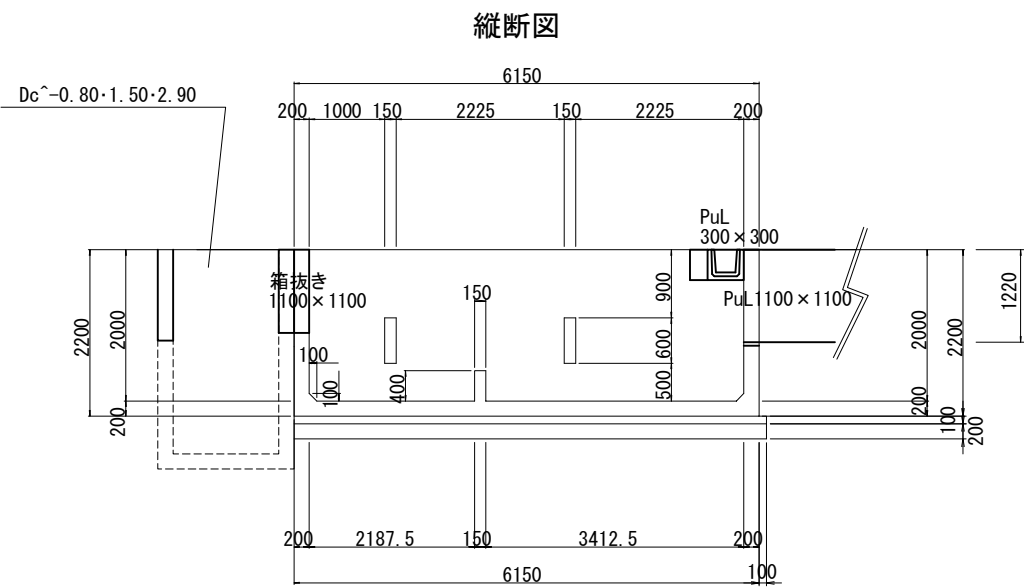


寸法表

種別	B	H	W	T1	T2	T3	b	h	w	H1	C	摘要
PBx-1. 10-1. 10	1100	1100	1360	130	130	130	1360	1360	1560	1480	150	
PBx-1. 20-1. 20	1200	1200	1460	130	130	130	1460	1460	1660	1580	150	

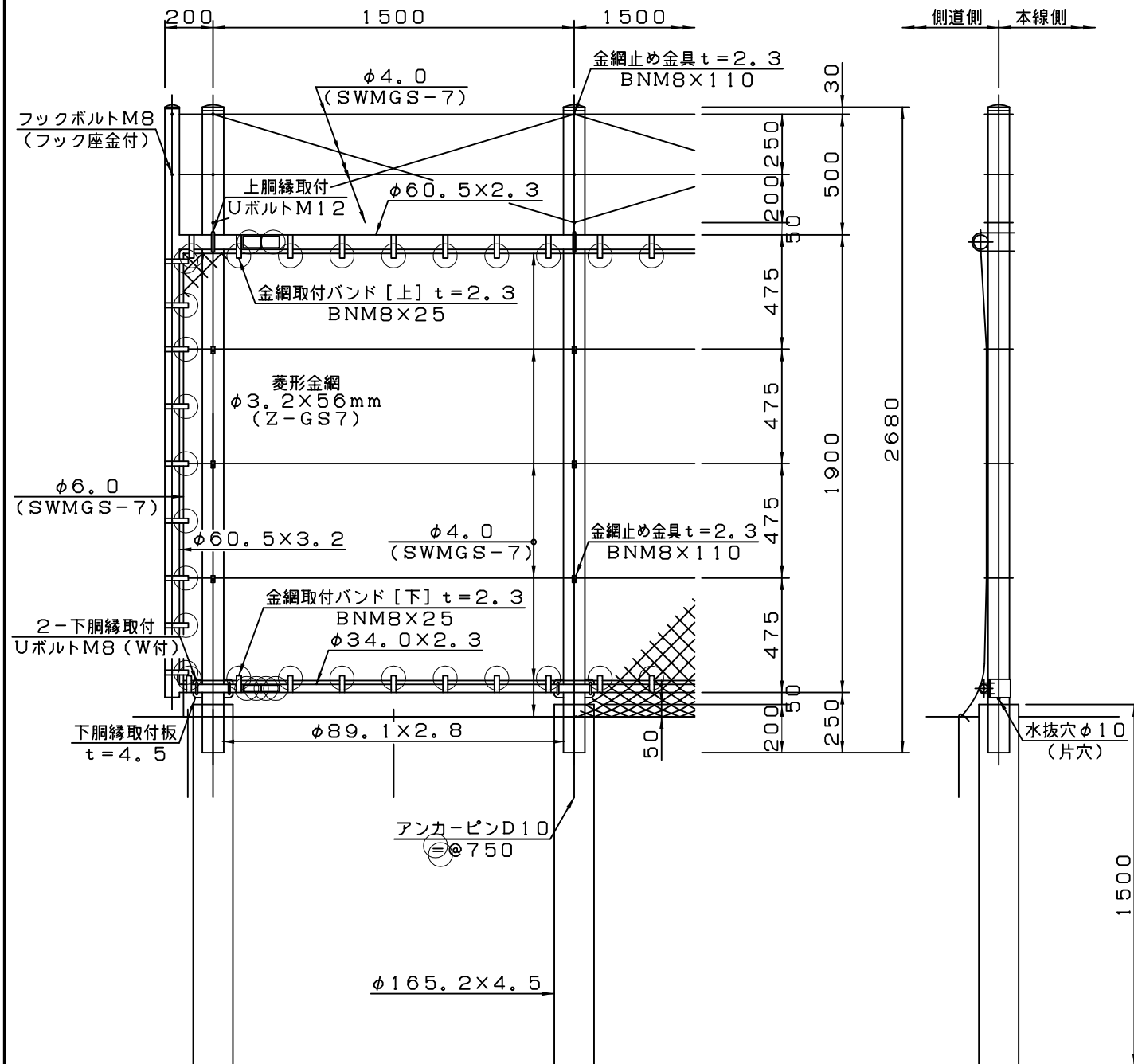
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去工詳細図（１）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

油水分離ます 5.75-4.10-2.00

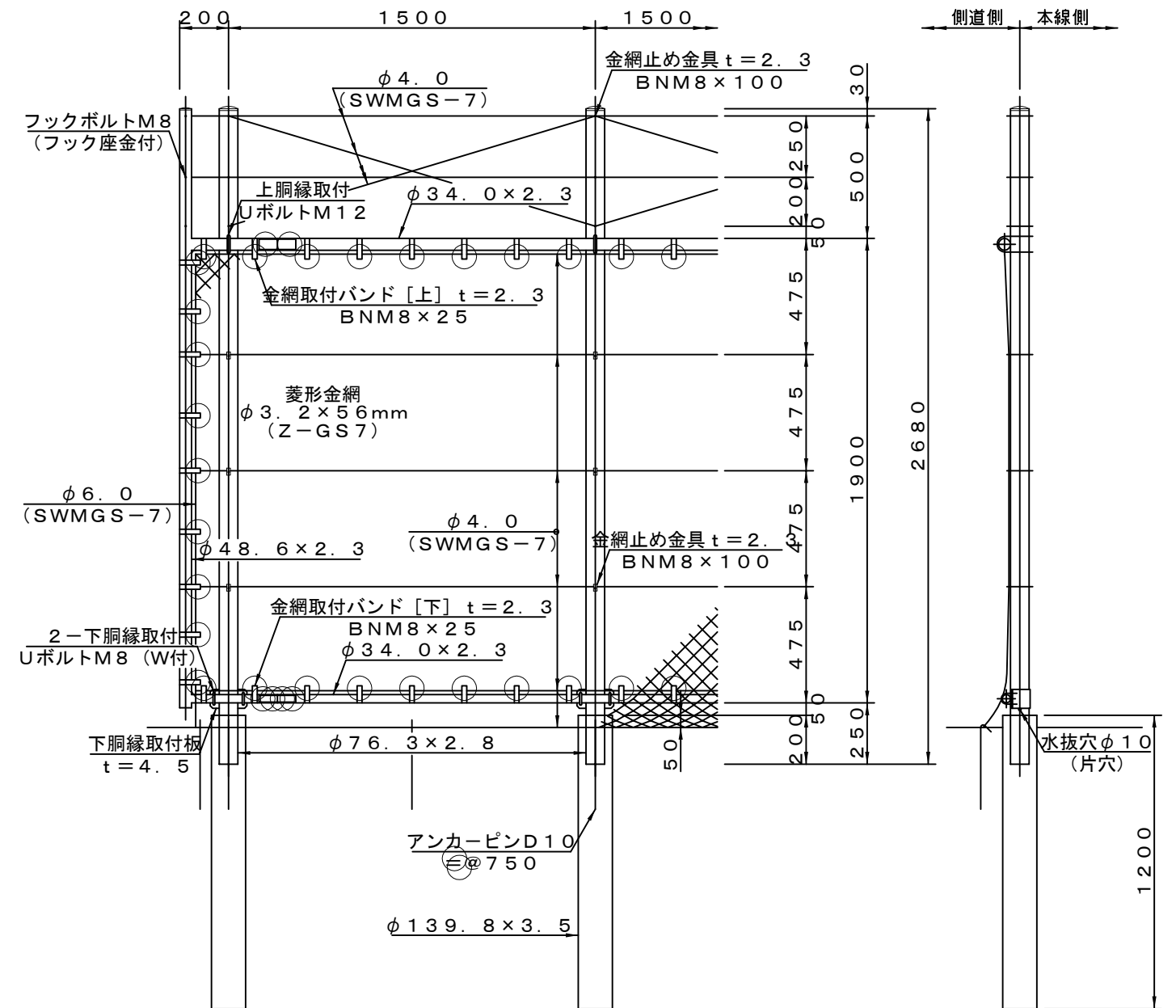


道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去工詳細図（3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

立入防止柵 S2 (1) (C)

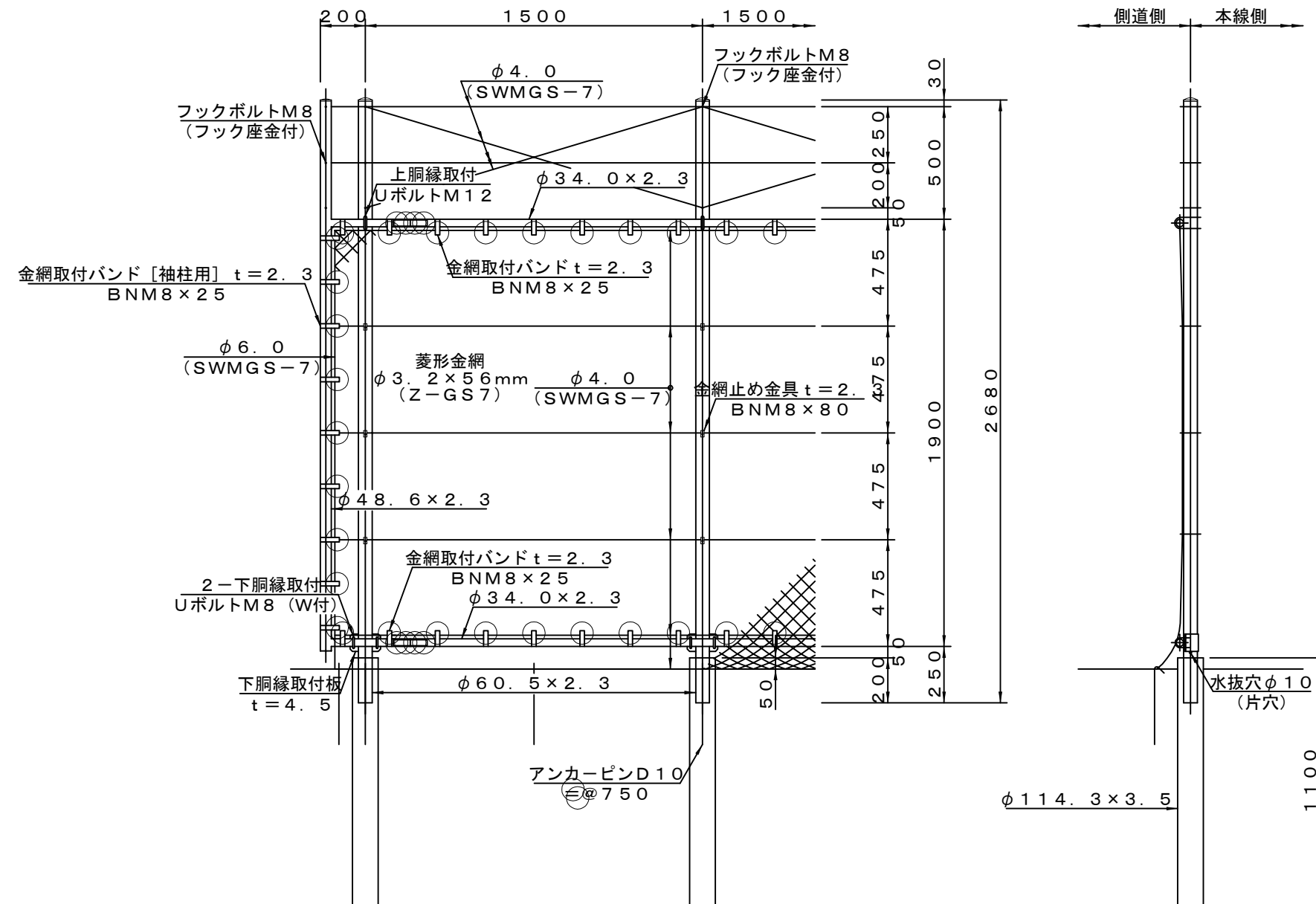


立入防止柵 S3 (1) (C)



道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去工詳細図（４）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

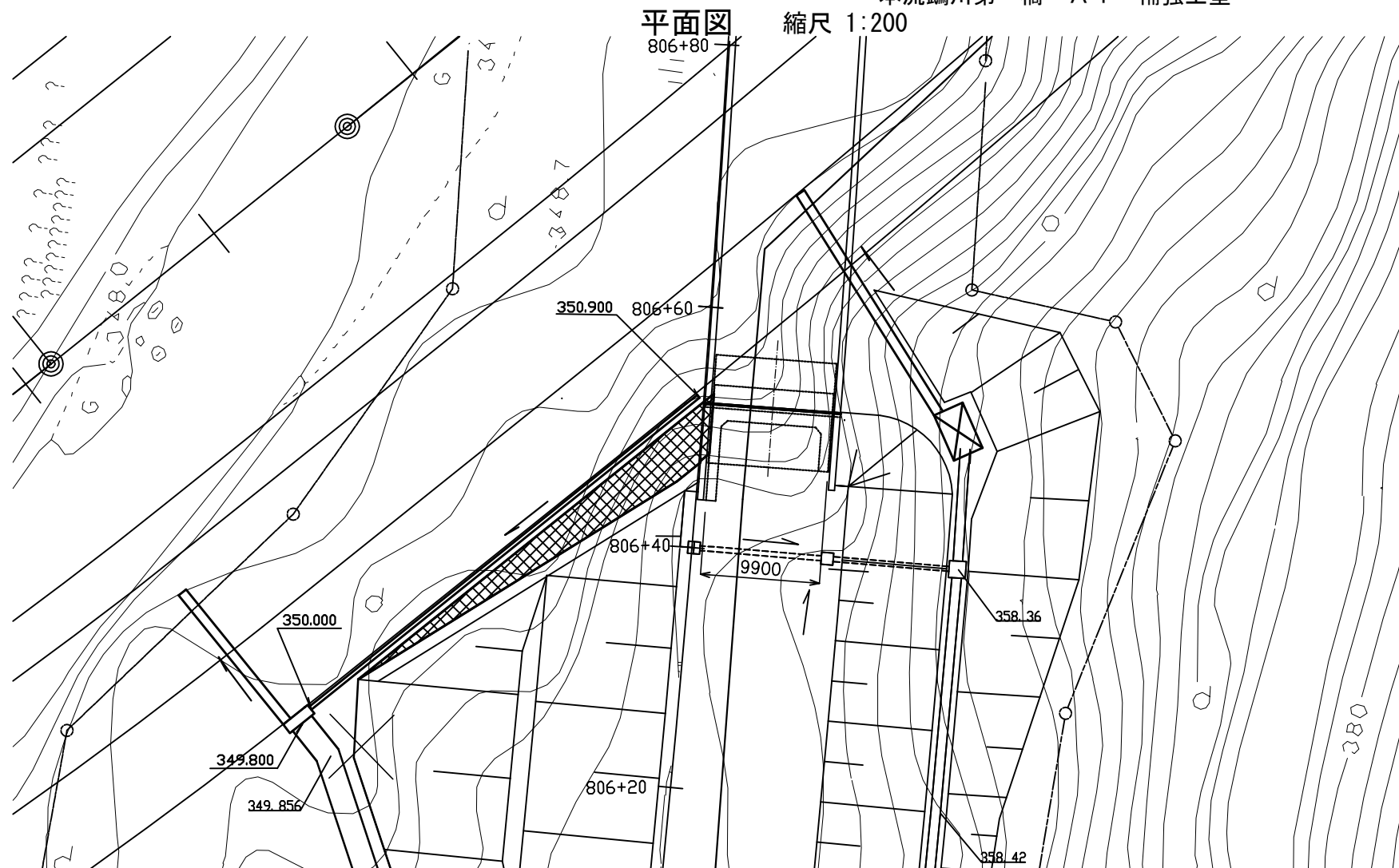
立入防止柵 S 4（１）（C）



道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去工詳細図（５）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

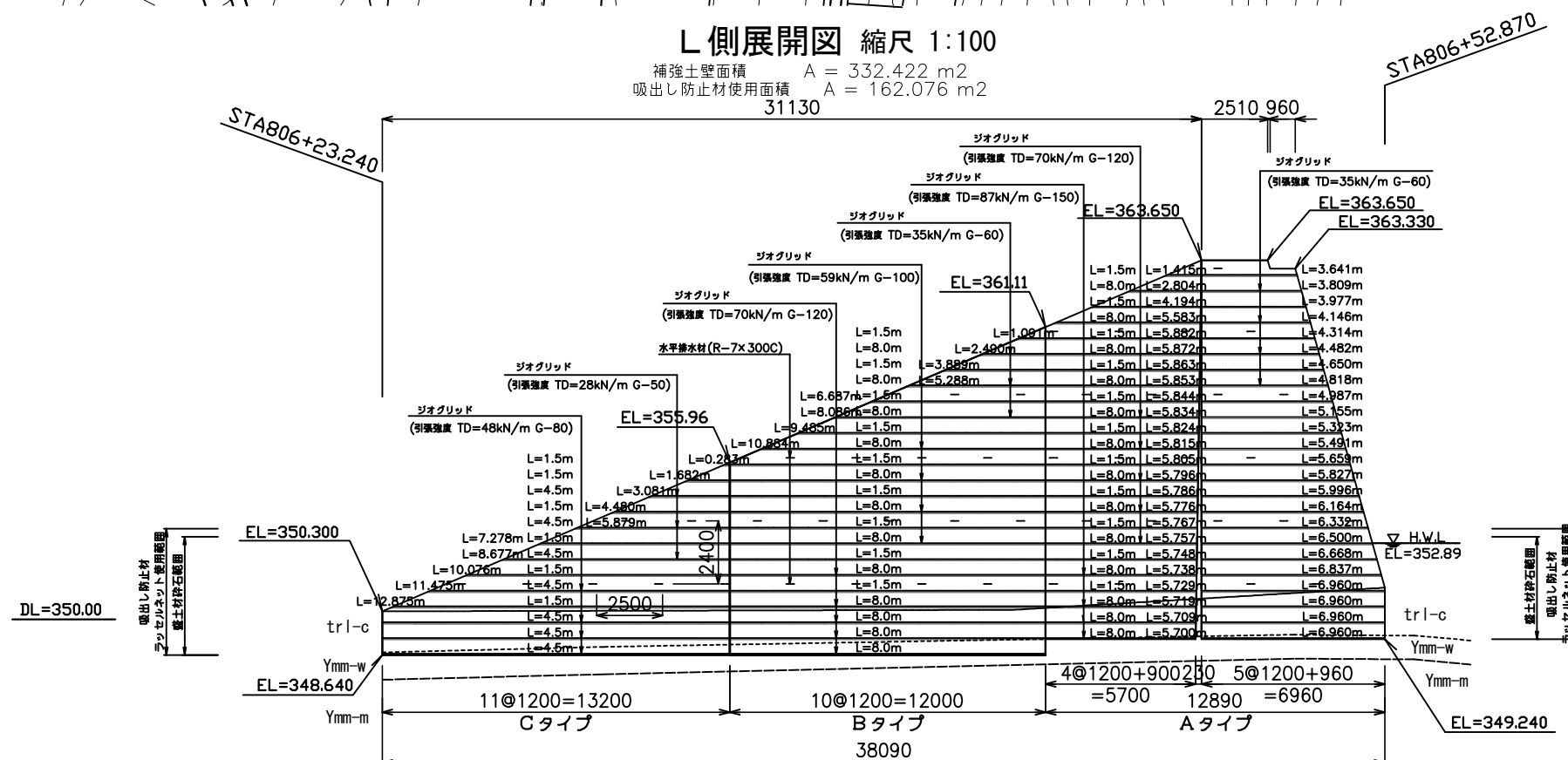
撤去工詳細図（6）

本流鵜川第一橋 A 1 補強土壁



L 側展開図 縮尺 1:100

補強土壁面積 A = 332.422 m²
吸出し防止材使用面積 A = 162.076 m²
31130



① 数量表 L 側				
凡例	項目	種別	単位	数量
	補強土工	斜比面積 (1.044)	m ²	347.05
	表面覆面材	H=600mm, (3分)	巻	477
	天端覆面材	H=300mm, (3分)	巻	0
	ジオグリッド (主補強材)	TD= 20kN/m G-35	m ²	0
		TD= 28kN/m G-50	m ²	80
		TD= 35kN/m G-60	m ²	427
		TD= 48kN/m G-80	m ²	230
		TD= 59kN/m G-100	m ²	376
		TD= 70kN/m G-120	m ²	946
		TD= 87kN/m G-150	m ²	403
	補助補強材	TA= 15kN/m 以上 UC-20	m ²	352
	水平排水材	t=7mm, W=300mm	m	336
	ラッセルネット	RN-R-103	m ²	541
	吸出し防止材	FBO-10 (t=10mm)	m ²	428
	撤去工	盛土部	m ²	1049.0
		基礎部	m ²	0

① 設計資料		
補強土壁高さ	Hmax=14.40 m (3分勾配)	
盛土材の性質	土の単位体積重量	$\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内部摩擦角	$\phi = 35.0^\circ$
	土の粘着力	$c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平露度	kH= 0.14	
雪荷重	SW= 6.000 kN/m ²	
ジオグリッドの 境界引張強度	G-35	TD=20.0kN/m
	G-50	TD=28.0kN/m
	G-60	TD=35.0kN/m
	G-80	TD=48.0kN/m
	G-100	TD=59.0kN/m
	G-120	TD=70.0kN/m
表面材	表面ユニット	UCL= h= 60cm
	天端ユニット	UCL= h= 30cm
面鉛メッキコーティング	q1 = 275.590 kN/m ²	
ジオグリッド必要支持力	q2 = kN/m ²	

* 工事開始前に盛土材の室内試験より確認する事
* 上記同様に補強土壁の地盤反力と床地盤の判定を

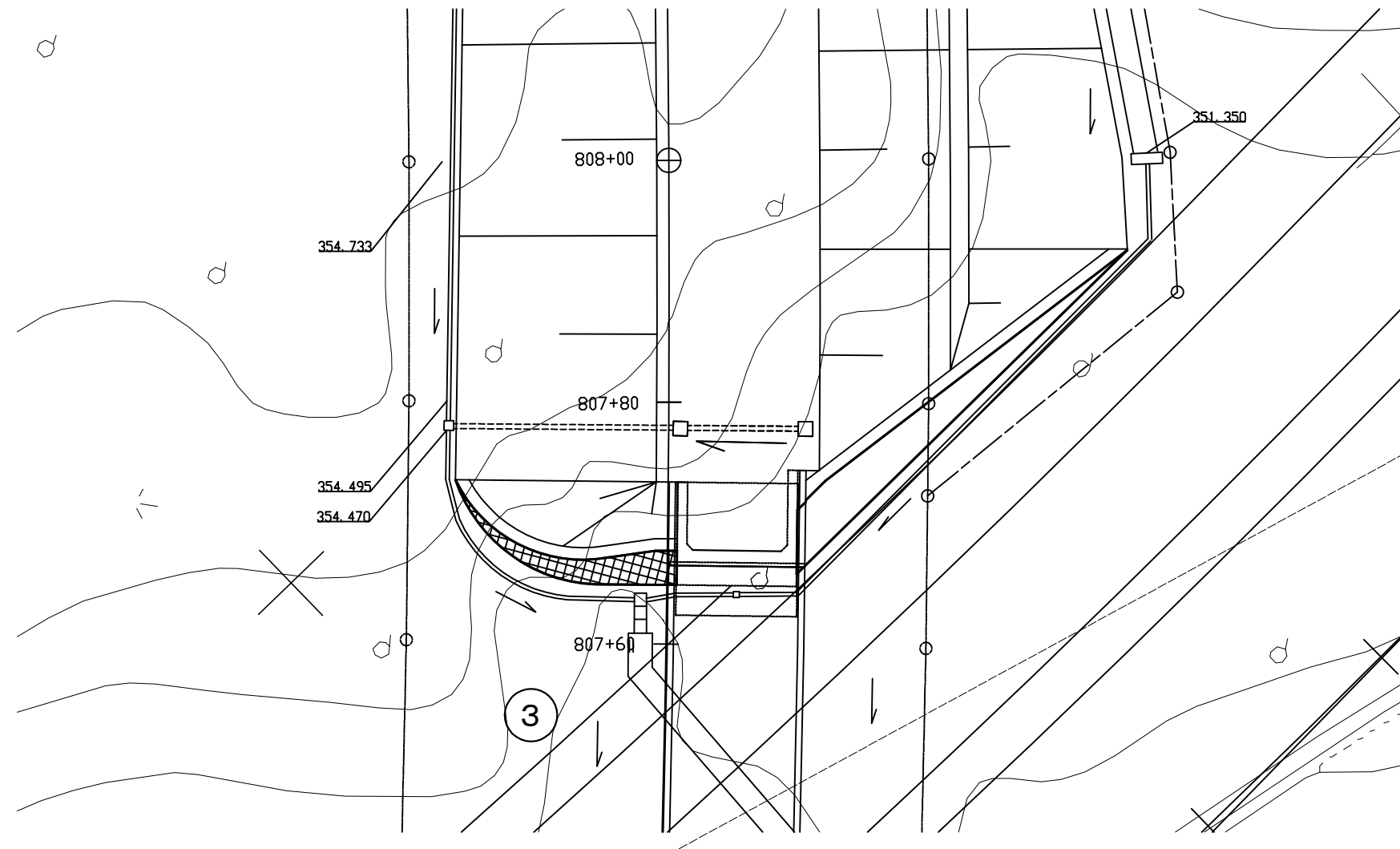
① 撤去工 盛土材	
	数量 (m ²)
Aタイプ	1 26.616
	2 22.350
Bタイプ	54.000
Cタイプ	50.000

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去工詳細図（6）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

撤去工詳細図 (7)

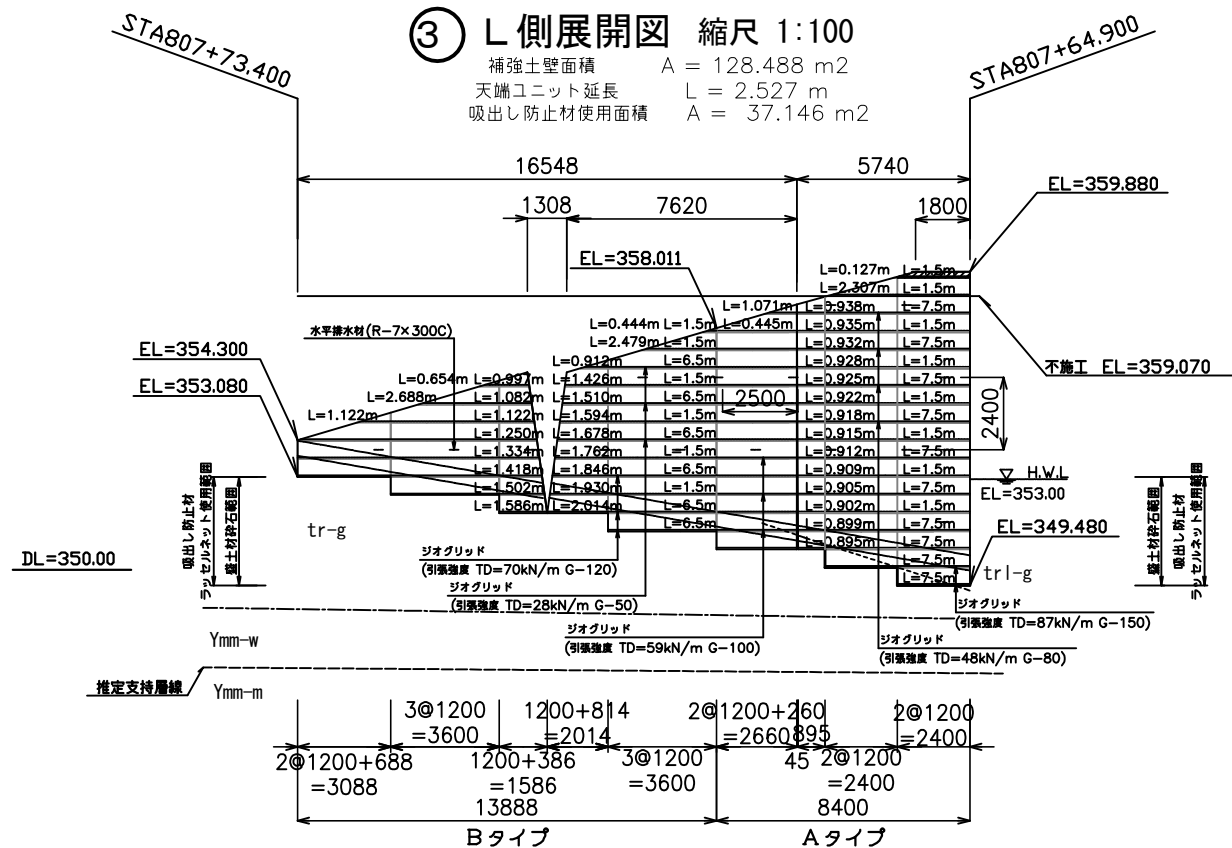
平面図 縮尺 1:200

本流鵠川第一橋 A 2 補強土壁



③ L側展開図 縮尺 1:100

補強土壁面積 $A = 128.488 \text{ m}^2$
天端ユニット延長 $L = 2.527 \text{ m}$
吸出し防止材使用面積 $A = 37.146 \text{ m}^2$



⑤ 設計資料	
補強土断面高さ	Hmax=10.40 m (3分勾配)
盛土材の性質 (H.W.L以上)	土の単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内摩擦係数 $\phi = 25.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
	土の単位体積重量 $\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内摩擦係数 $\phi = 35.0^\circ$
盛土材の性質 (H.W.L以下)	土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
	土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平露度	kH= 0.14
雪 荷 重	SW= 6.000 kN/m ²
ジョグリッドの 限界引張強度	G-35 TD=20.0kN/m
	G-50 TD=28.0kN/m
	G-60 TD=35.0kN/m
	G-80 TD=48.0kN/m
	G-100 TD=59.0kN/m
	G-120 TD=70.0kN/m
G-150 TD=87.0kN/m	
壁面材	地面ユニット UCL= h= 60cm
重鉛メッキコーティング	天端ユニット UCL= h= 30cm
ジョグリッド必要支持力	$q1 = 238.439 \text{ kN/m}^2$
	$q2 = \text{ kN/m}^2$

- * 工事開始前に盛土材の室内試験より確認する事
- * 上記四様に補強土壁の地盤反力と床地盤の判定を

③ 数量表 L 側				
凡 例	項 目	種 別	単位	数 量
	補強土工	斜出補強(1.044)	m ²	134.1
	地面壁雪材	H=600mm,(3分)	基	18
	天端雪材	H=300mm,(3分)	基	
	ジオグリッド (主補強材)	TD= 20KN/m G-35	m ²	
		TD= 28KN/m G-50	m ²	17
		TD= 35KN/m G-60	m ²	
		TD= 48KN/m G-80	m ²	24
		TD= 59KN/m G-100	m ²	25
		TD= 70KN/m G-120	m ²	18
		TD= 87KN/m G-150	m ²	5
	補助補強材	TA= 15KN/m 以上 UC-20	m	14
	水平排水材	t=7mm,W=300mm	m	12
	ラッセルネット	RN-R-103	m	12
	吸出し防止材	FB0-10(t=10mm)	m	19
	置換工	盛土砂	m ³	266.
		基層砂	m ³	

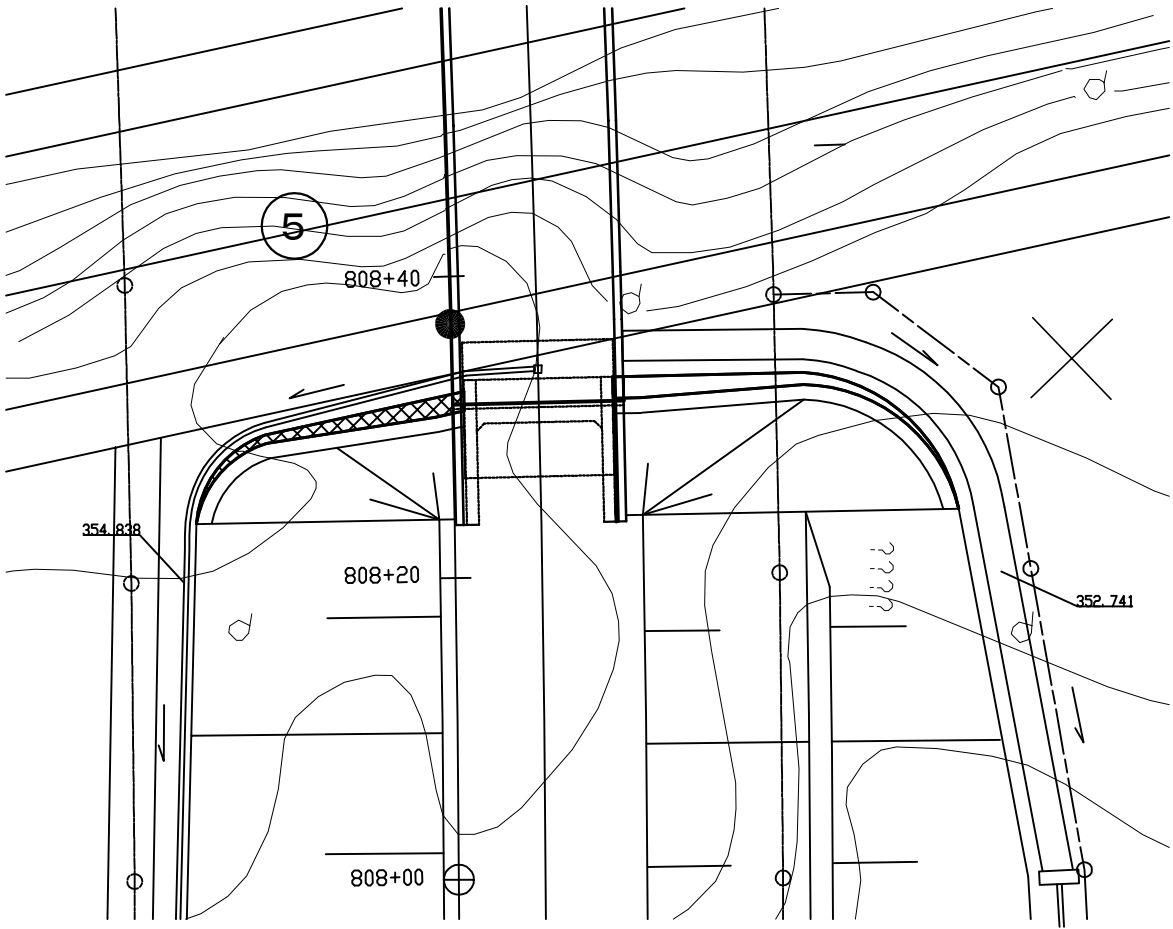
③ 置換工盛土材		
		数量 (m³)
Aタイプ	1	18.0
	2	6.39
Bタイプ	1	8.80
	2	3.97

道東自動車道 占冠地区下郷工事			
図面の種類	撤去工詳細図（７）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

撤去工詳細図（8）

本流鵜川第二橋 A1L側 補強土壁

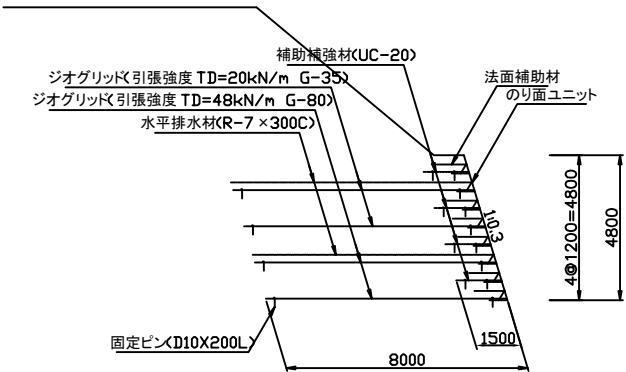
平面図 縮尺 1:200



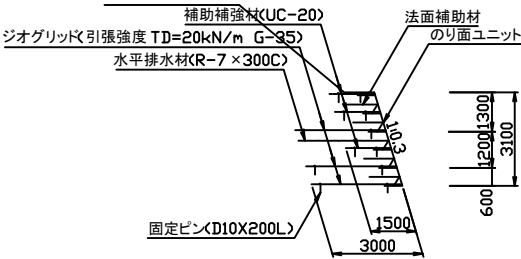
補強土壁工標準断面図

L側標準断面図 縮尺 1:100

Aタイプ

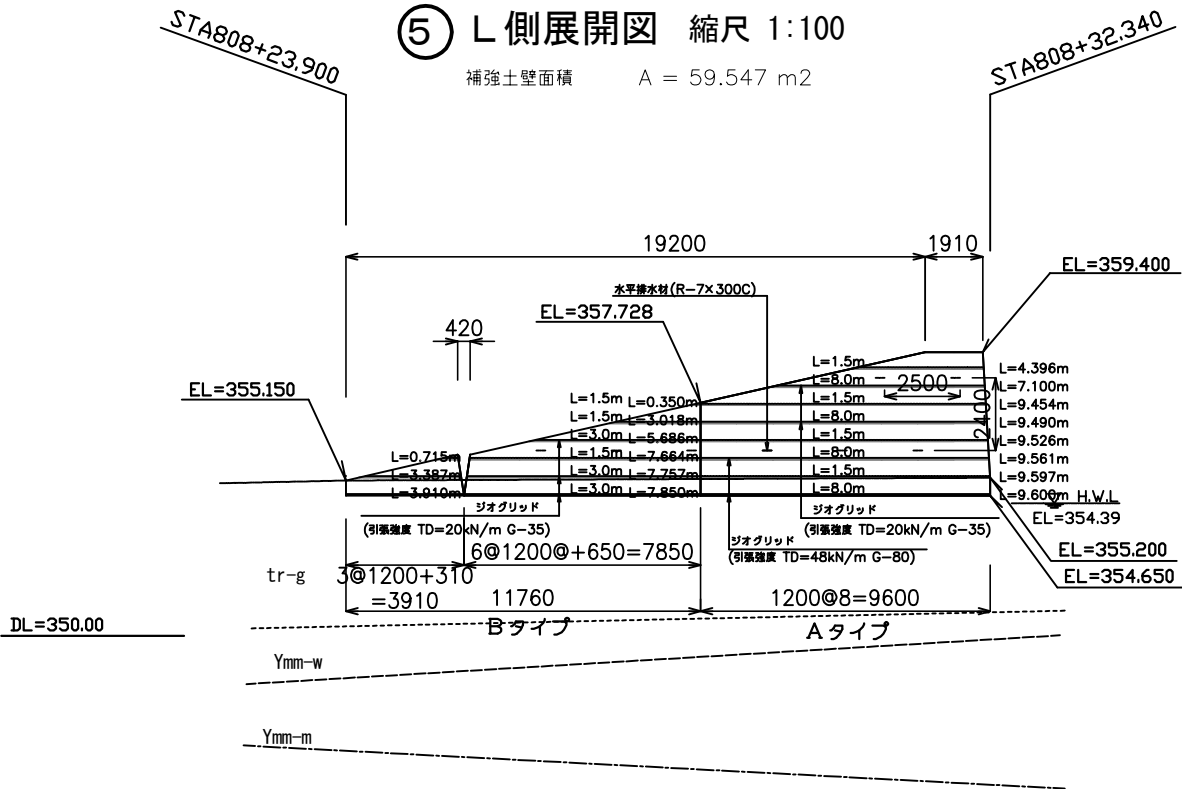


Bタイプ



⑤ L側展開図 縮尺 1:100

補強土壁面積 A = 59.547 m²



⑤ 設計資料	
補強土壁高さ	Hmax= 4.75 m (3分勾配)
壁土材の性質 (H.W.以上)	土の単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$ 土の内部摩擦角 $\phi = 25.0^\circ$ 土の粘着力 $c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
壁土材の性質 (H.W.以下)	土の単位体積重量 $\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$ 土の内部摩擦角 $\phi = 35.0^\circ$ 土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平強度	kH= 0.14
雪荷重	SW= 6.000 kN/m ²
ジオグリッドの 層別引張強度	G-35 TD=20.0kN/m
	G-50 TD=28.0kN/m
	G-60 TD=35.0kN/m
	G-80 TD=48.0kN/m
	G-100 TD=59.0kN/m
	G-120 TD=70.0kN/m
壁面材	法面ユニット UCL= h= 60cm
	天端ユニット UCL= h= 30cm
面鉛メッキコーティング	q1 = 157.259 kN/m ²
ジオグリッド必要支持力	q2 = kN/m ²

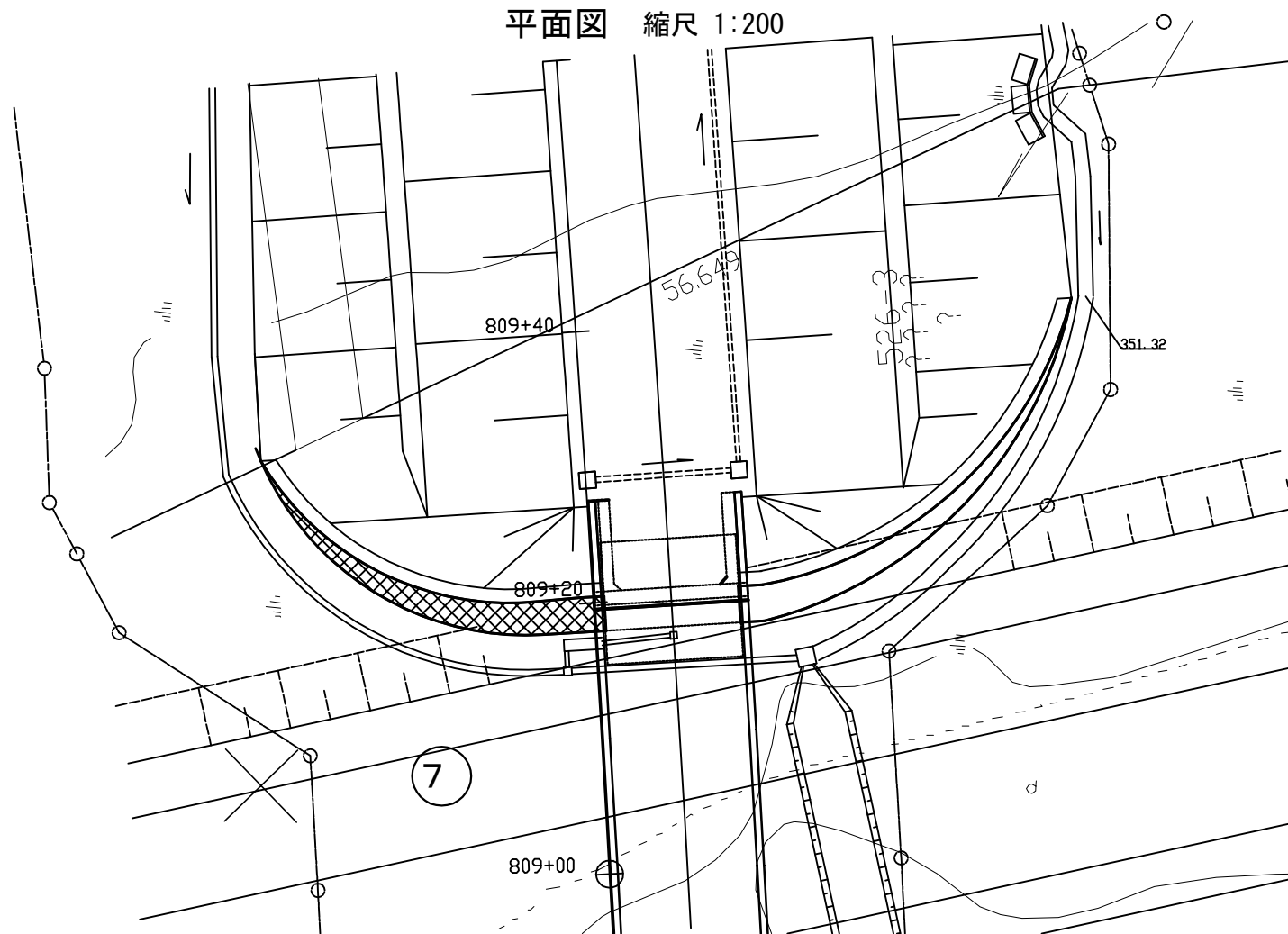
* 工事開始前に壁土材の室内試験より確認する事
* 上記両欄に補強土壁の地盤反力と床地盤の判定を

⑤ 数量表 L側			
凡例	項目	種別	数量
	補強土工	斜比面積(1.044)	m ² 62.17
	法面壁面材	H=600mm,(3分)	基 91
	天端壁面材	H=300mm,(3分)	基 0
	ジオグリッド (主補強材)	TD= 20kN/m G-35	m ² 219
		TD= 28kN/m G-50	m ² 0
		TD= 35kN/m G-60	m ² 0
		TD= 48kN/m G-80	m ² 154
		TD= 59kN/m G-100	m ² 0
		TD= 70kN/m G-120	m ² 0
	補助補強材	TA= 15kN/m 以上 UC-20	m ² 68
	水平排水材	t=7mm,W=300mm	m 49
	ラッセルネット	RN-R-103	m 0
	壁出し筋止材	FBO-10(t=10mm)	m ² 0
	撤去工	壁土部	m ² 0
		基礎部	m ² 0

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去工詳細図（8）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

撤去工詳細図（9）

本流鵠川第二橋 A2L側 補強土壁

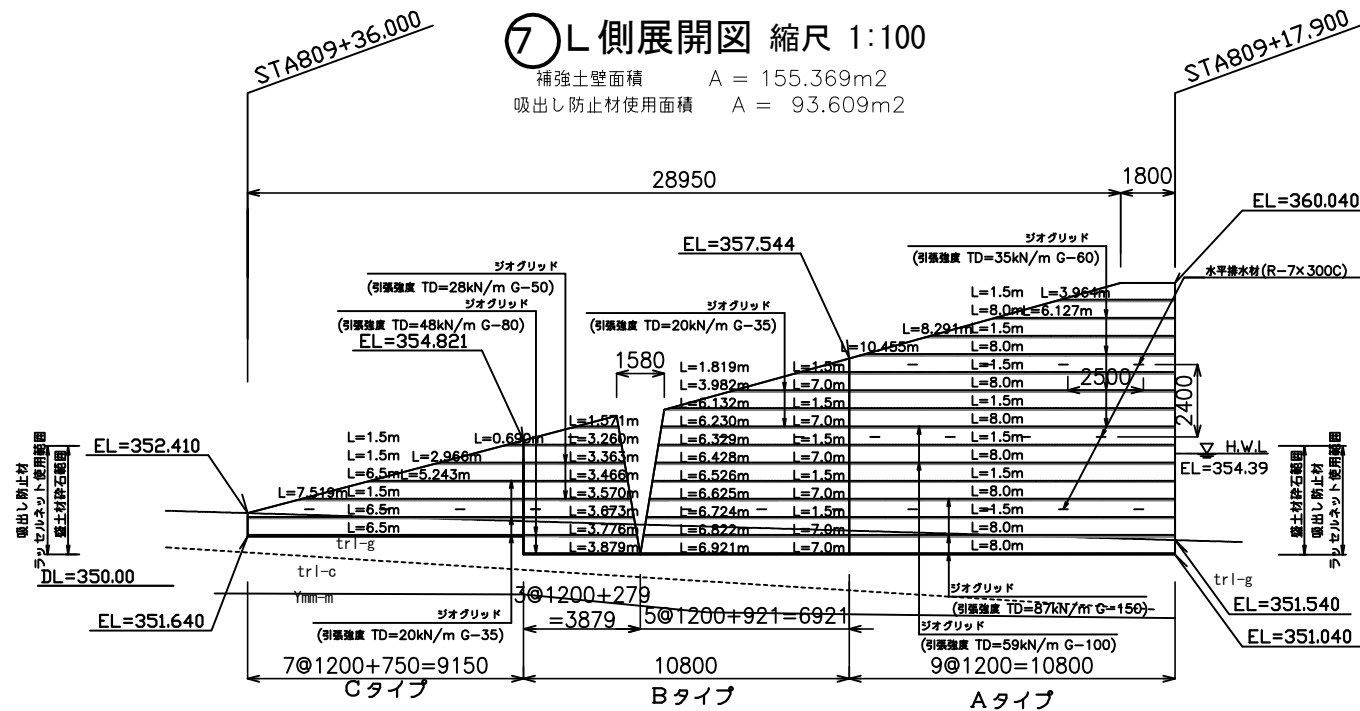


⑦ 数量表 L 側				
凡 例	項 目	種 別	単位	数 量
	補強土工	斜比率(1.044)	m ²	162.21
	法面壁面材	H=600mm,(3分)	巻	228
	天端壁面材	H=300mm,(3分)	巻	0
	ジオグリッド (主補強材)	TD= 20kN/m G-35	m ²	236
		TD= 28kN/m G-50	m ²	140
		TD= 35kN/m G-60	m ²	220
		TD= 48kN/m G-80	m ²	150
		TD= 59kN/m G-100	m ²	173
		TD= 70kN/m G-120	m ²	0
		TD= 87kN/m G-150	m ²	280
	補助補強材	TA= 15kN/m 以上 UC-20	m ²	174
	水平排水材	t=7mm,W=300mm	m	187
	ラッセルネット	RN-R-103	m	313
	吸出し防止材	FB0-10(t=10mm)	m ²	320
	撤換工	盛土部	m ²	685.1
		基礎部	m ²	658.1

⑦ 設計資料		
補強土壁高さ	Hmax= 9.00 m (3分勾配)	
盛土材の性質 (H.W.L以上)	土の単位体積重量	$\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内摩擦角	$\phi = 25.0^\circ$
	土の粘着力	$c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
盛土材の性質 (H.W.L以下)	土の単位体積重量	$\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内摩擦角	$\phi = 35.0^\circ$
	土の粘着力	$c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平露度	kH= 0.14	
雪 荷 重	SW= 6.000 kN/m ²	
ジオグリッドの 境界引張強度	G-35	TD=20.0kN/m
	G-50	TD=28.0kN/m
	G-60	TD=35.0kN/m
	G-80	TD=48.0kN/m
	G-100	TD=59.0kN/m
	G-120	TD=70.0kN/m
	G-150	TD=87.0kN/m
壁面材	法面ユニット	UCL= h= 60cm
面材メッキコーティング	天端ユニット	UCL= h= 30cm
ジオグリッド必要支持力	q1	= 216.863 kN/m ²
	q2	= kN/m ²

* 工事開始前に盛土材の室内試験より確認する事
* 上記図様に補強土壁の地盤反力と床地盤の判定を

⑦ 撤換工盛土材	
Aタイプ	数量 (m ²)
1	38.88
Bタイプ	23.85
2	12.85
Cタイプ	18.02

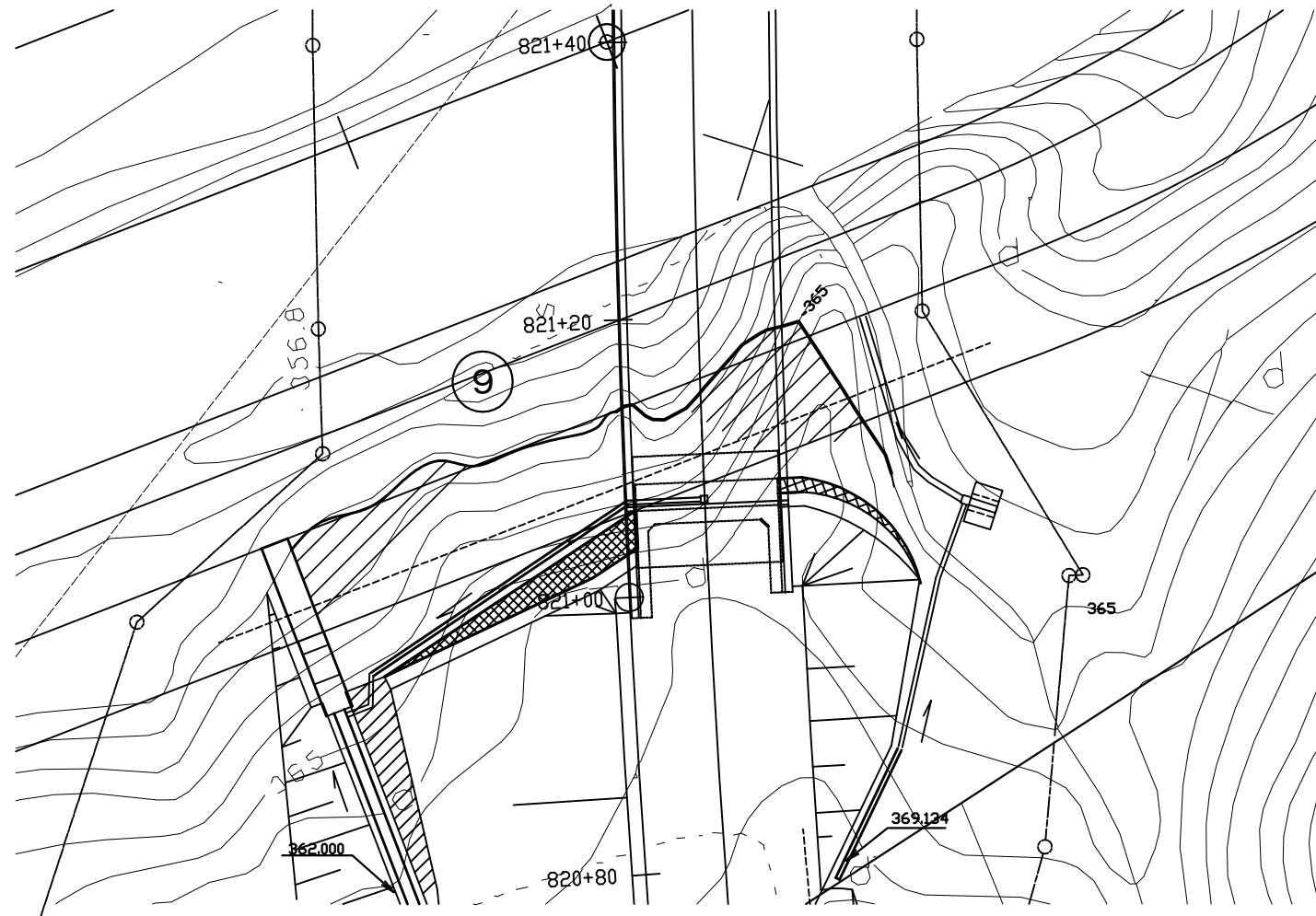


道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	撤去工詳細図（9）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

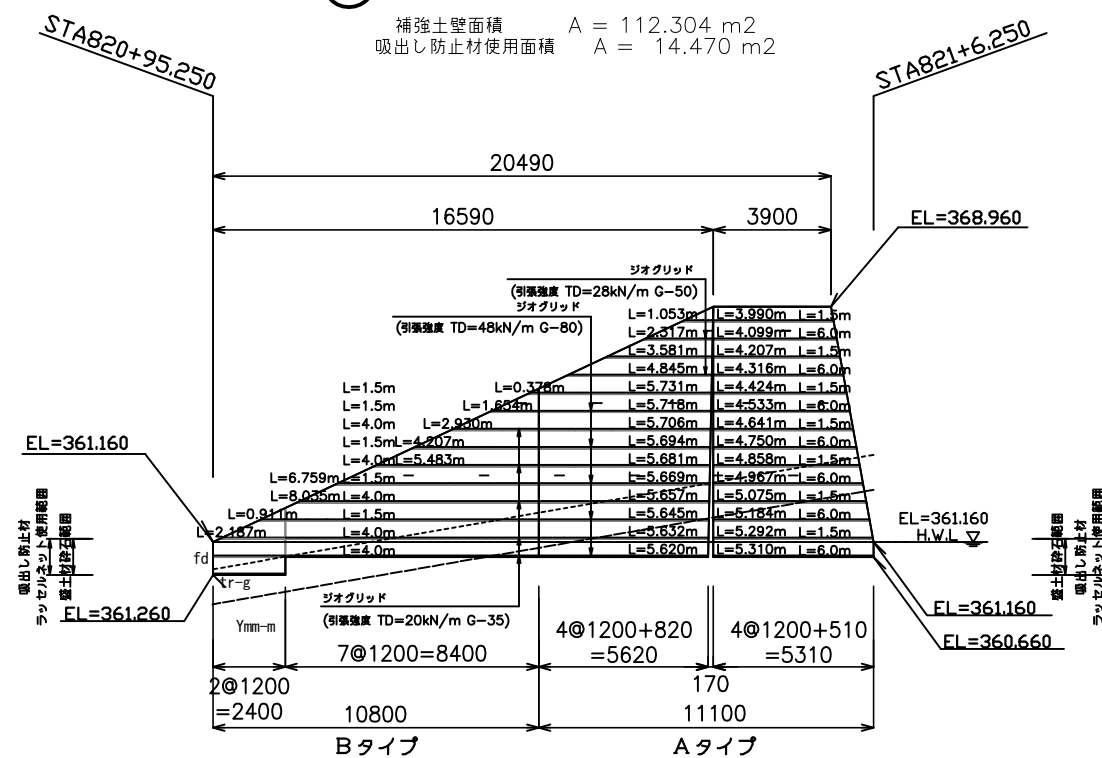
撤去工詳細図（10）

本流鵜川第三橋 A1L側 補強土壁

平面図 縮尺 1:200



⑨ 側面図 縮尺 1:100

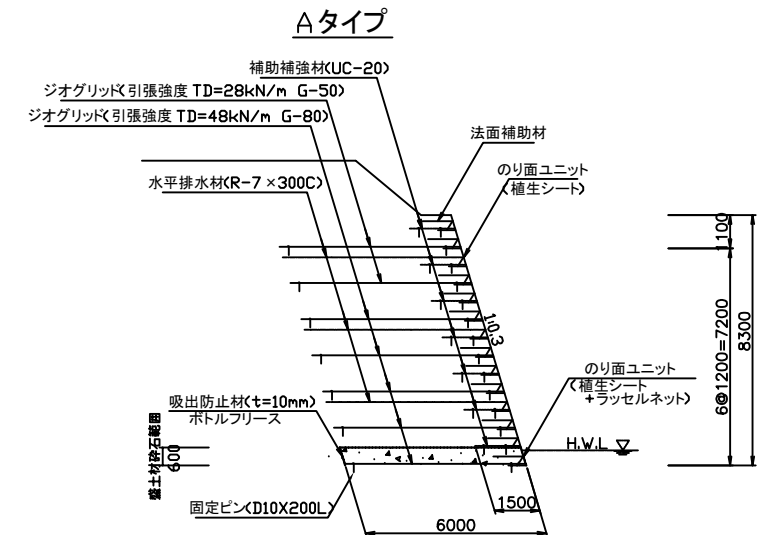


⑨ 設計資料	
補強土壁高さ	Hmax= 8.30 m (3分勾配)
壁土材の性質 (H.W.L以上)	土の単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内部摩擦角 $\phi = 25.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
壁土材の性質 (H.W.L以下)	土の単位体積重量 $\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内部摩擦角 $\phi = 35.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平置度	kH= 0.14
雪 荷 重	SW= 6.000 kN/m ²
ジオグリッドの 限界引張強度	G-35 TD=20.0kN/m
	G-50 TD=28.0kN/m
	G-60 TD=35.0kN/m
	G-80 TD=48.0kN/m
	G-100 TD=59.0kN/m
	G-120 TD=70.0kN/m
壁面材	法面ユニット UCL= h= 60cm
	天端ユニット UCL= h= 30cm
壁面材の必要支持力	q1 = 201.561 kN/m ² q2 = kN/m ²

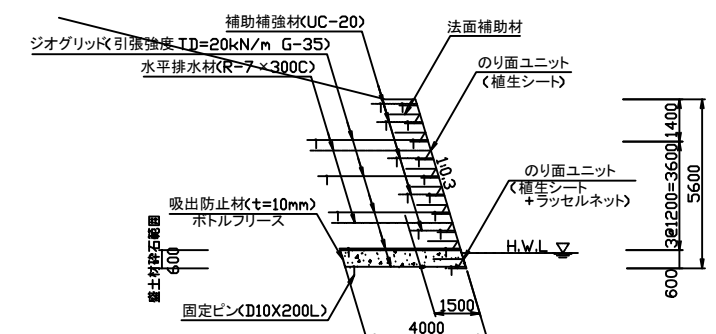
* 工事開始前に壁土材の室内試験より確認する事
* 上記両欄に補強土壁の地盤反力と床地盤の判定値













補強土壁工標準断面図

L側標準断面図 縮尺 1:100



Bタイプ



⑨ 数量表 L 側				
凡 例	項 目	種 別	単位	数 量
	補強土工	斜出面積(1.044)	m ²	117.25
	法面壁面材	H=600mm,(3分)	巻	165
	天端壁面材	H=300mm,(3分)	巻	0
	ジオグリッド (主補強材)	TD= 20KN/m G-35	m ²	152
		TD= 28KN/m G-50	m ²	94
		TD= 35KN/m G-60	m ²	0
		TD= 48KN/m G-80	m ²	319
		TD= 59KN/m G-100	m ²	0
		TD= 70KN/m G-120	m ²	0
		TD= 87KN/m G-150	m ²	0
	補助補強材	TA= 15KN/m 以上 UC-20	m ²	136
	水平排水材	t=7mm,W=300mm	m	72
	ラッセルネット	RN-R-103	m	49
	吸出し防止材	FBO-10(t=10mm)	m ²	125
	撤去工	壁土部	m ³	71.1
		基礎部	m ³	0

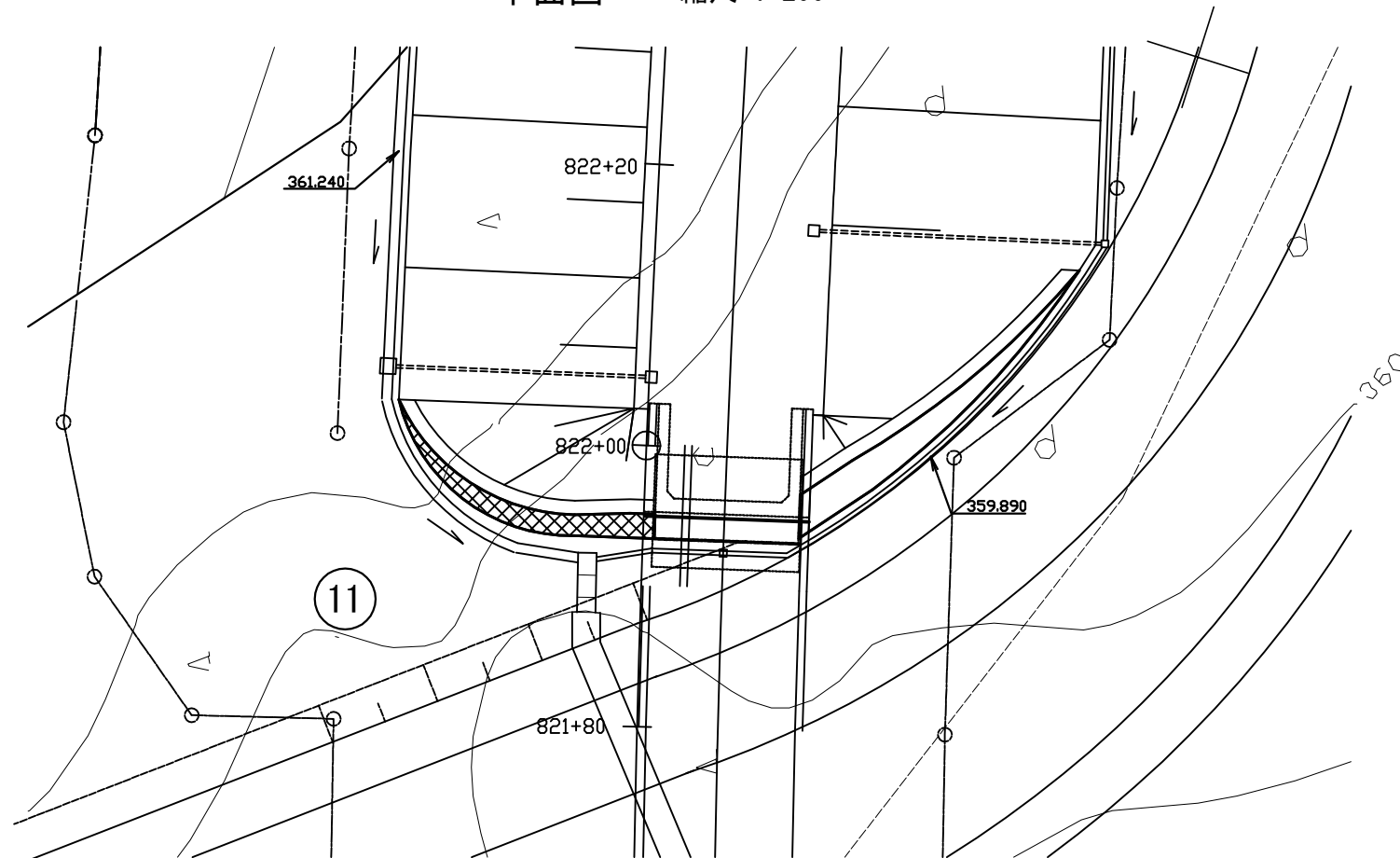
⑨ 置換工盛土材		
		数量 (m³)
Aタイプ	1	3.19
	2	3.38
Bタイプ		7.91

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去工詳細図（10）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

撤去工詳細図 (1 1)

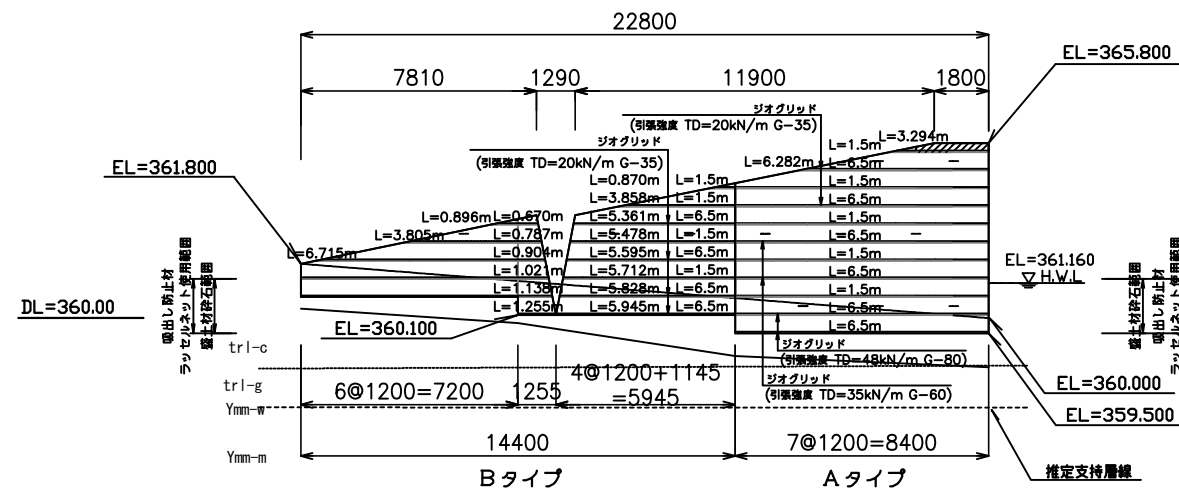
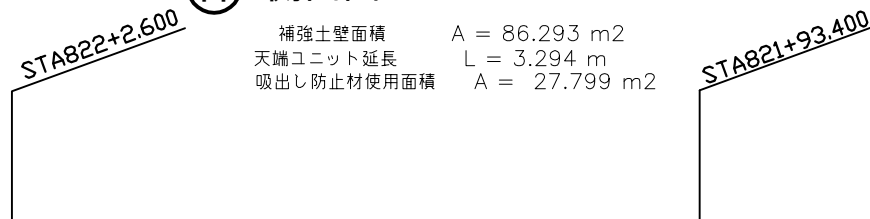
本流鵜川第三橋 A 2 L 側 補強土壁

平面図 縮尺 1:200



⑪ 側面図 縮尺 1:100

補強土壁面積 A = 86.293 m²
天端ユニット延長 L = 3.294 m
吸出し防止材使用面積 A = 27.799 m²

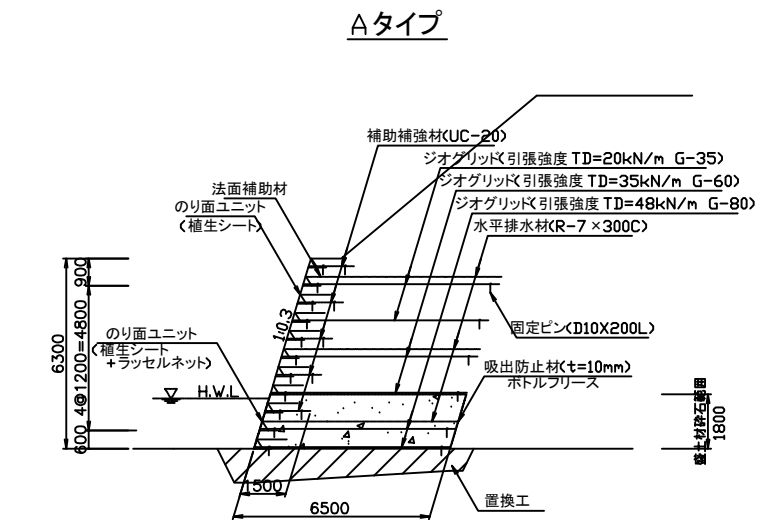


① 設計資料	
補強土壁高さ	Hmax= 6.30 m (3分毎)
補強土の性質 (H.W.L以上)	土の単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内摩擦角 $\phi = 25.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
補強土の性質 (H.W.L以下)	土の単位体積重量 $\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内摩擦角 $\phi = 35.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平強度	kH= 0.14
雪 荷 重	SW= 6.000 kN/m ²
ジオグリッドの 層別引張強度	G-35 TD=20.0kN/m
	G-50 TD=28.0kN/m
	G-60 TD=35.0kN/m
	G-80 TD=48.0kN/m
	G-100 TD=59.0kN/m
	G-120 TD=70.0kN/m
壁面材	法面ユニット UCL= h= 60cm
	天端ユニット UCL= h= 30cm
面割メッキコーティング	q1 = 172.302 kN/m ²
ジオグリッド必要支持力	q2 = kN/m ²

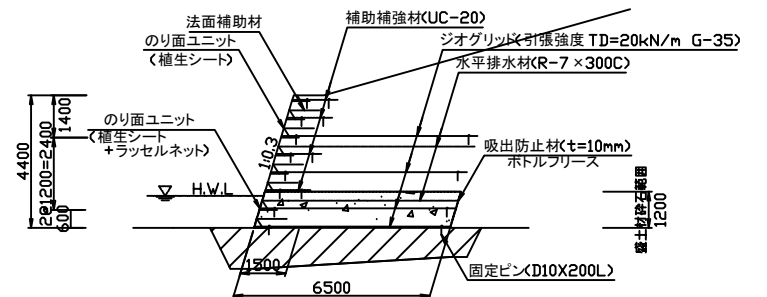
* 工事開始前に壁土材の室内試験より確認する事
* 上記図様に補強土壁の地震反力と床地盤の判定を

補強土工標準断面図

L 側標準断面図 縮尺 1:100



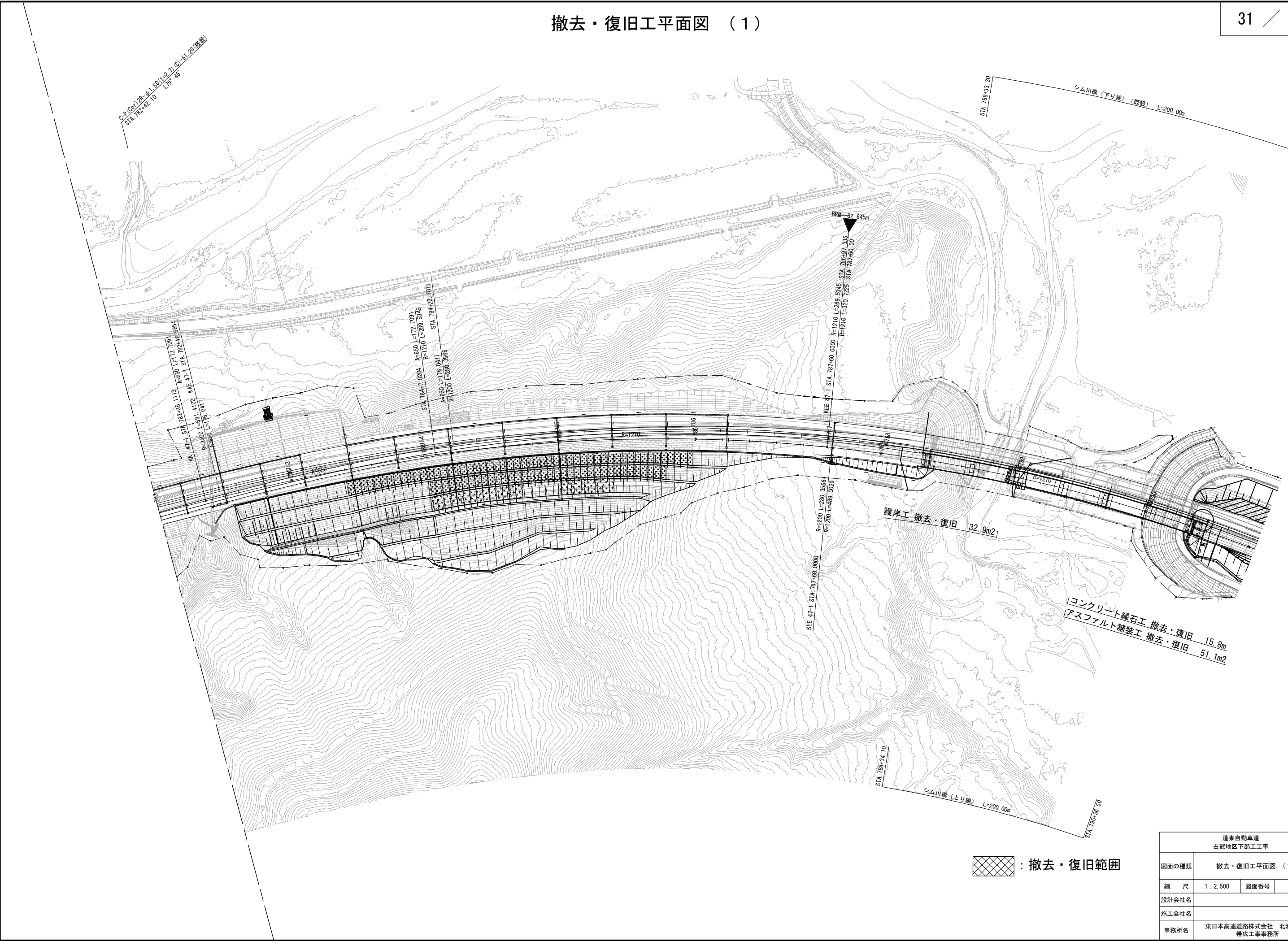
Bタイプ




① 数量表 L 側				
凡 例	項 目	種 別	単位	数 量
	補強土工	斜出面積(1.044)	m ²	90.09
	法面壁面材	H=600mm,(3分)	番	127
	天端壁面材	H=300mm,(3分)	番	3
ジオグリッド (主補強材)		TD= 20kN/m G-35	m ²	366
		TD= 28kN/m G-50	m ²	0
		TD= 35kN/m G-60	m ²	110
		TD= 48kN/m G-80	m ²	110
		TD= 59kN/m G-100	m ²	0
		TD= 70kN/m G-120	m ²	0
補助補強材		TA= 15kN/m 以上 UC-20	m ²	99
		水平排水材 t=7mm,W=300mm	m	72
	ラッセルネット	RN-R-103	m	93
	吸出し防止材	FBO-10(t=10mm)	m ²	178
置換工		盛土部	m ³	180.8
		基礎部	m ²	144.7

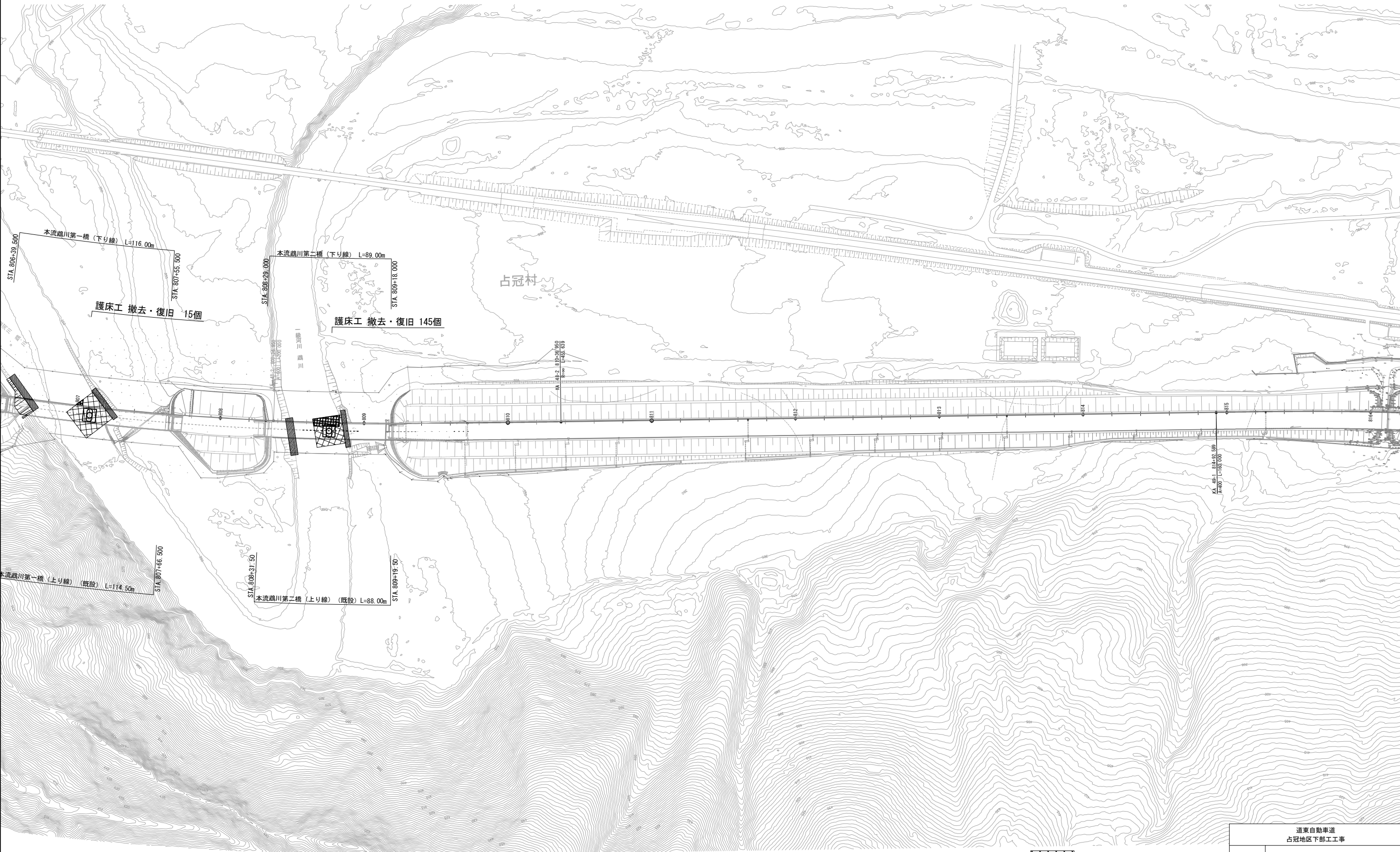
① 置換工盛土材	
凡 例	数 量 (m ³)
Aタイプ	15.12
Bタイプ	7.00
	5.69


道東自動車道 占冠地区下部工工事		
図面の種類	撤去工詳細図 (1 1)	
縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所	



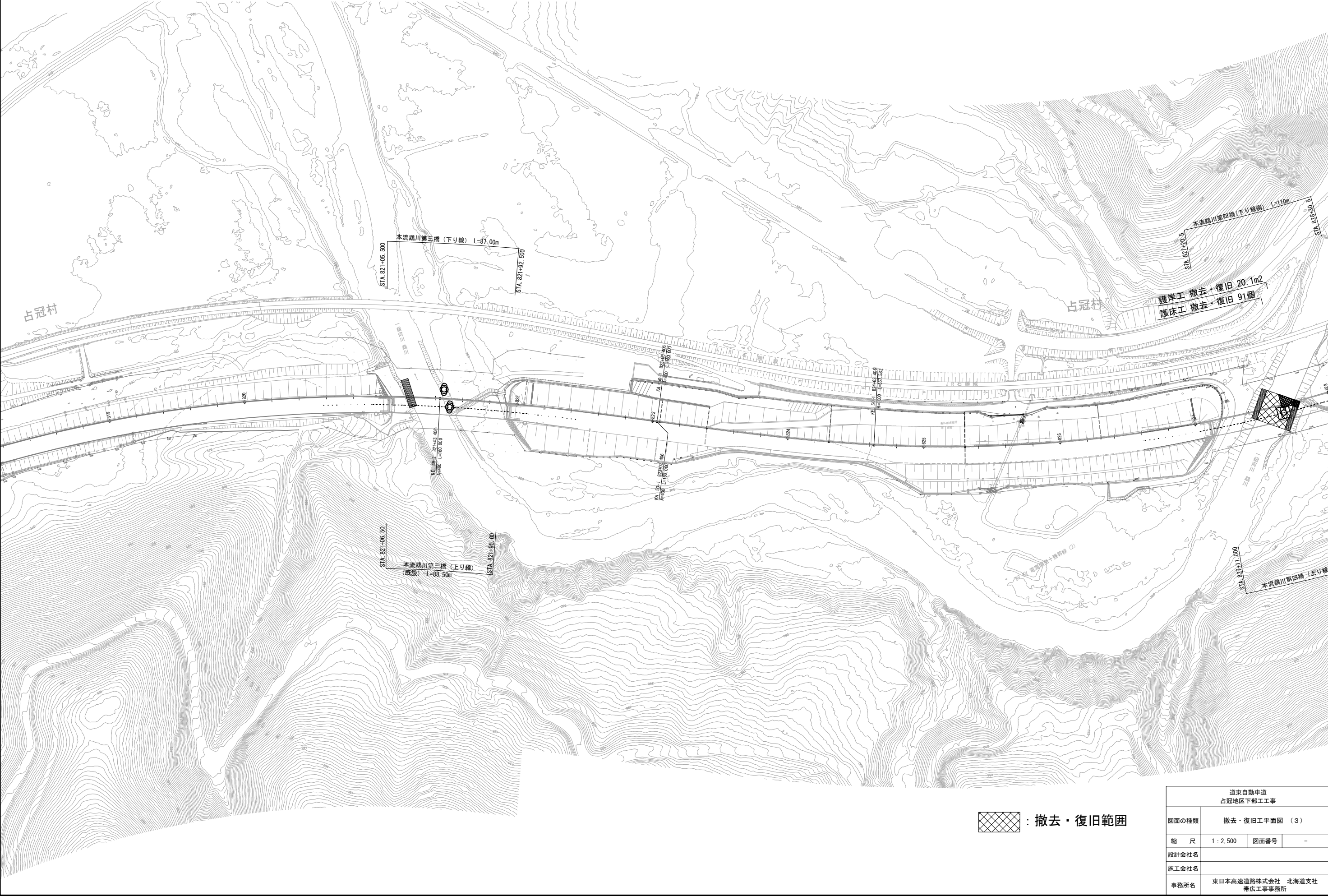
 : 撤去・復旧範囲


道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去・復旧工平面図（１）		
縮 尺	1 : 2,500	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



 : 撤去・復旧範囲

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去・復旧工平面図（2）		
縮 尺	1 : 2,500	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

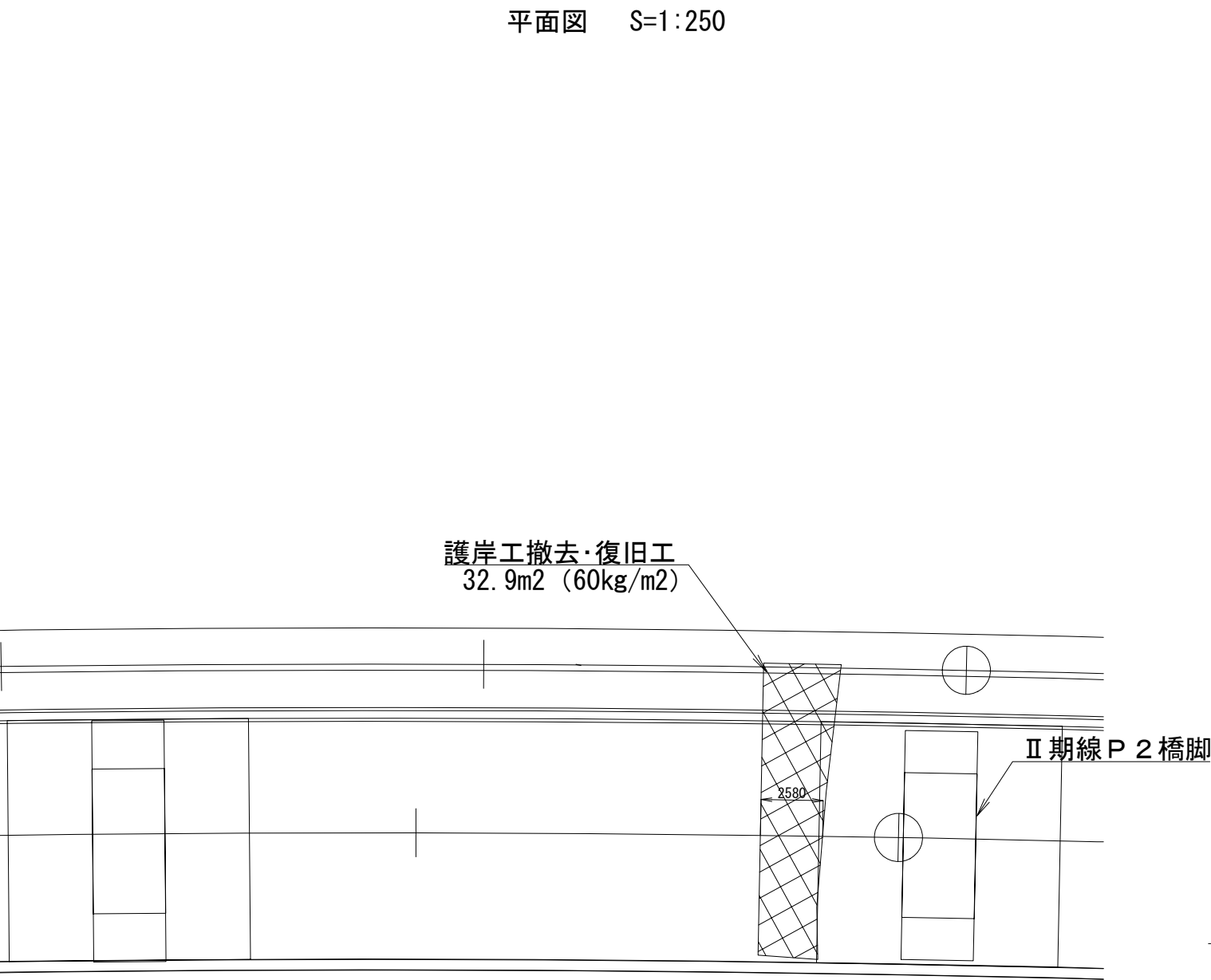


 : 撤去・復旧範囲

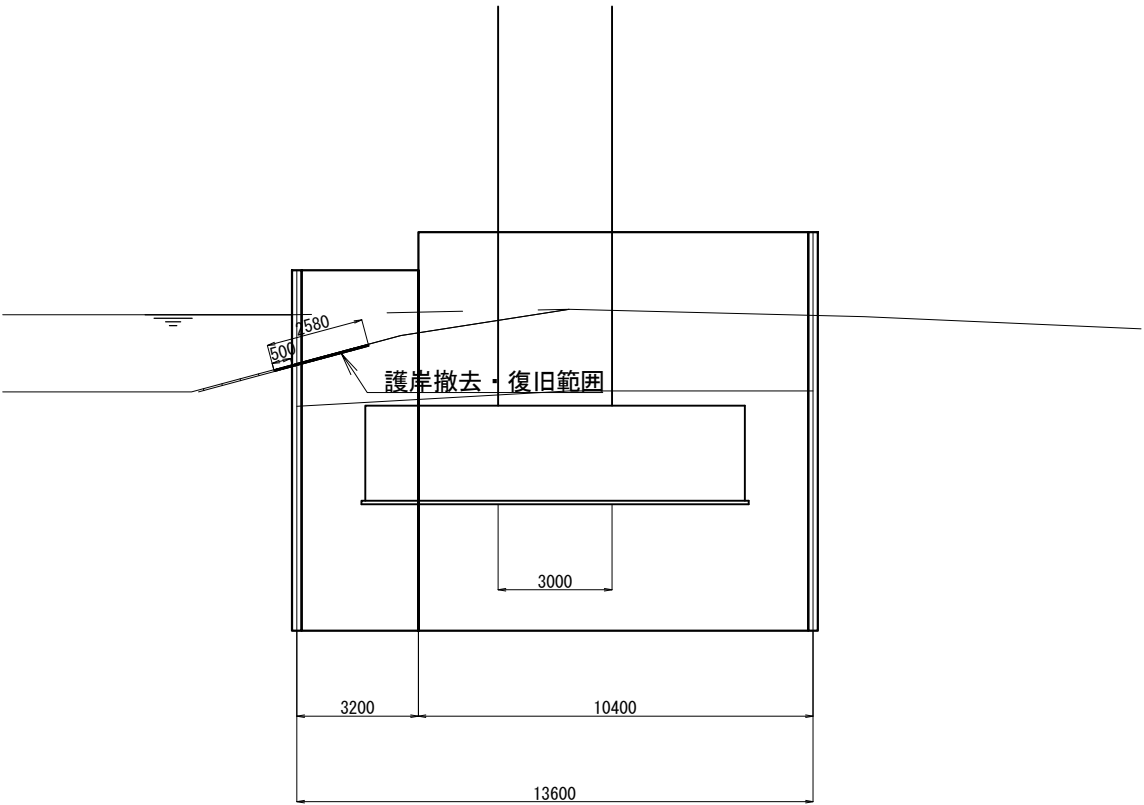
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去・復旧工平面図（3）		
縮 尺	1 : 2,500	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

（Ⅰ期線 シム川橋）

平面図 S=1:250

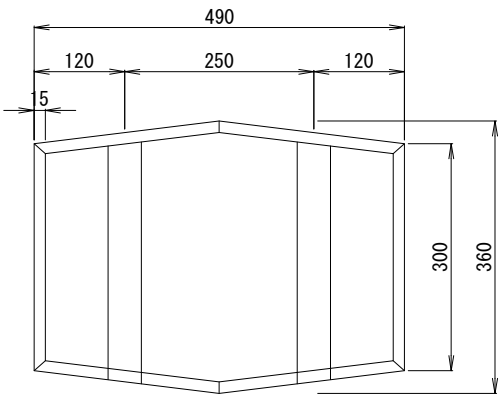


断面図（A-A） S=1:200



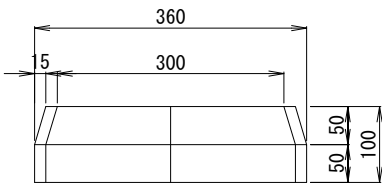
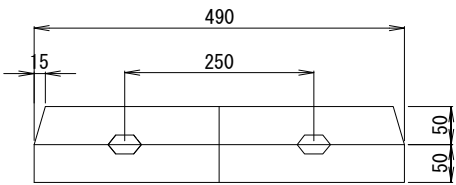
護岸工詳細図

製品規格図 S=1:10



連節ブロック数量表

名 称	亀甲10型ブロック	備 考
型 種	Ⅱ 型 標準	
単位質量	34.5 kg	
数 量	198個	



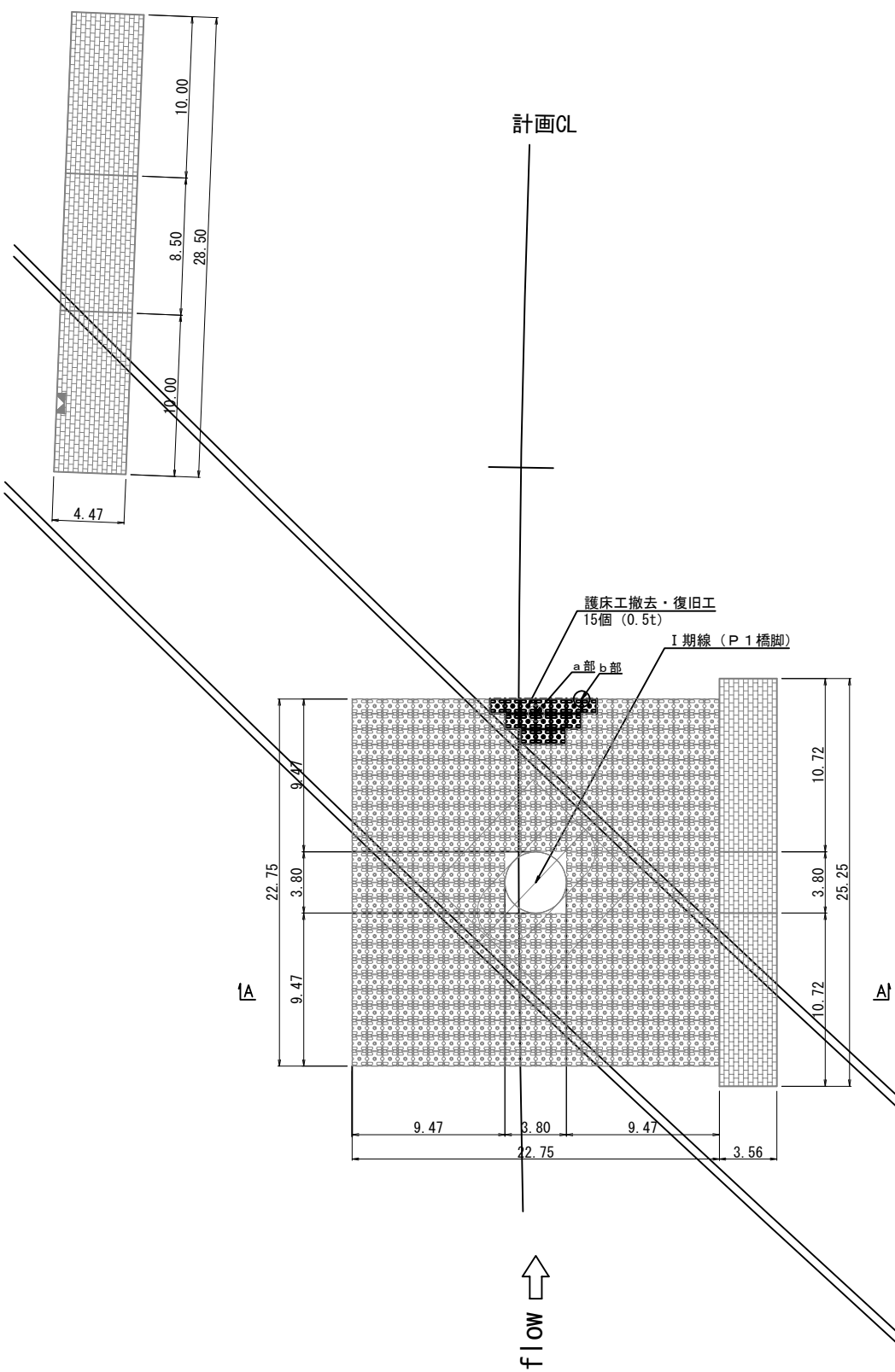
1個当り重量 34.5kg/個 1m2当り重量 34.5kg/個×6個/m2 = 207.0kg/m2

右岸
施工面積 CAD計測より = 32.92m2
吸出し防止材 32.92m2

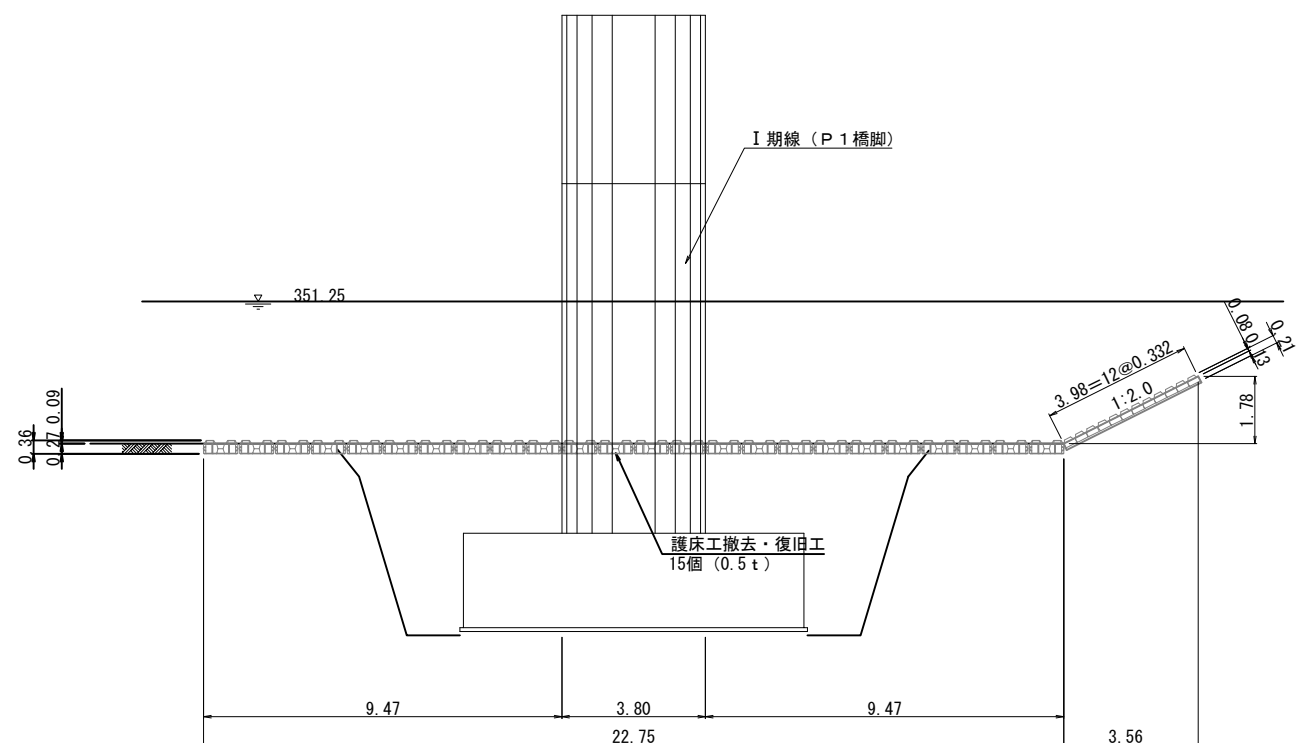
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去・復旧工詳細図（その１） Ⅰ期線シム川橋		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

（I期線 本流鷗川第一橋）

平面図 S=1：200

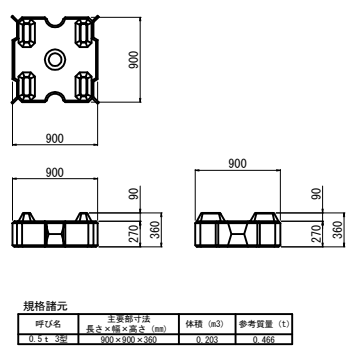


断面図（A-A） S=1：100

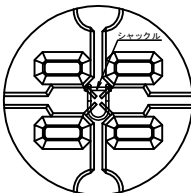


護床工詳細図

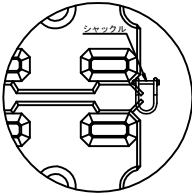
製品規格図 S=1：20



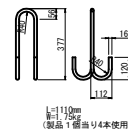
連結部詳細図（a部）



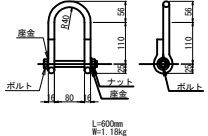
連結部詳細図（b部）



連結鉄筋（フック） S=1：10



連結金具（シャックル） S=1：5



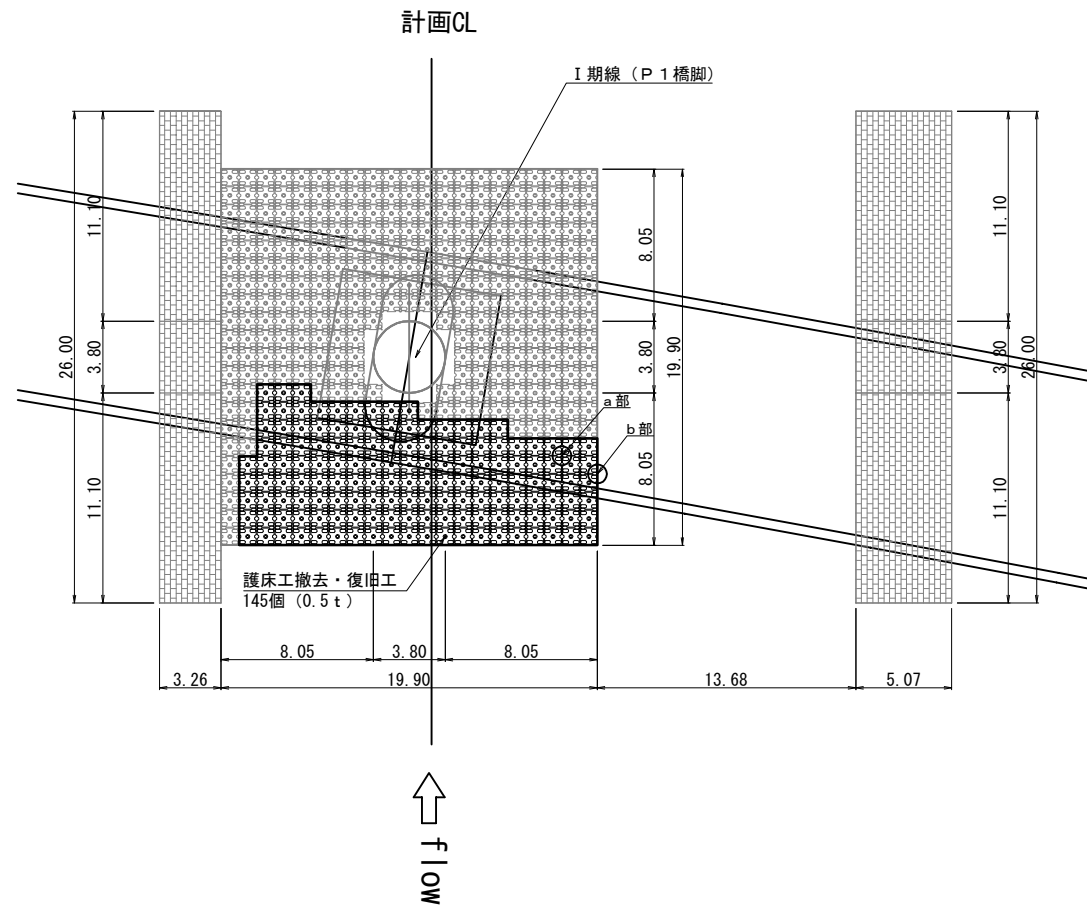
数量表

護床工 根固ブロック数量表	
名称	0.5t 3型
型種	基本
参考質量	0.466 t
数量	15個

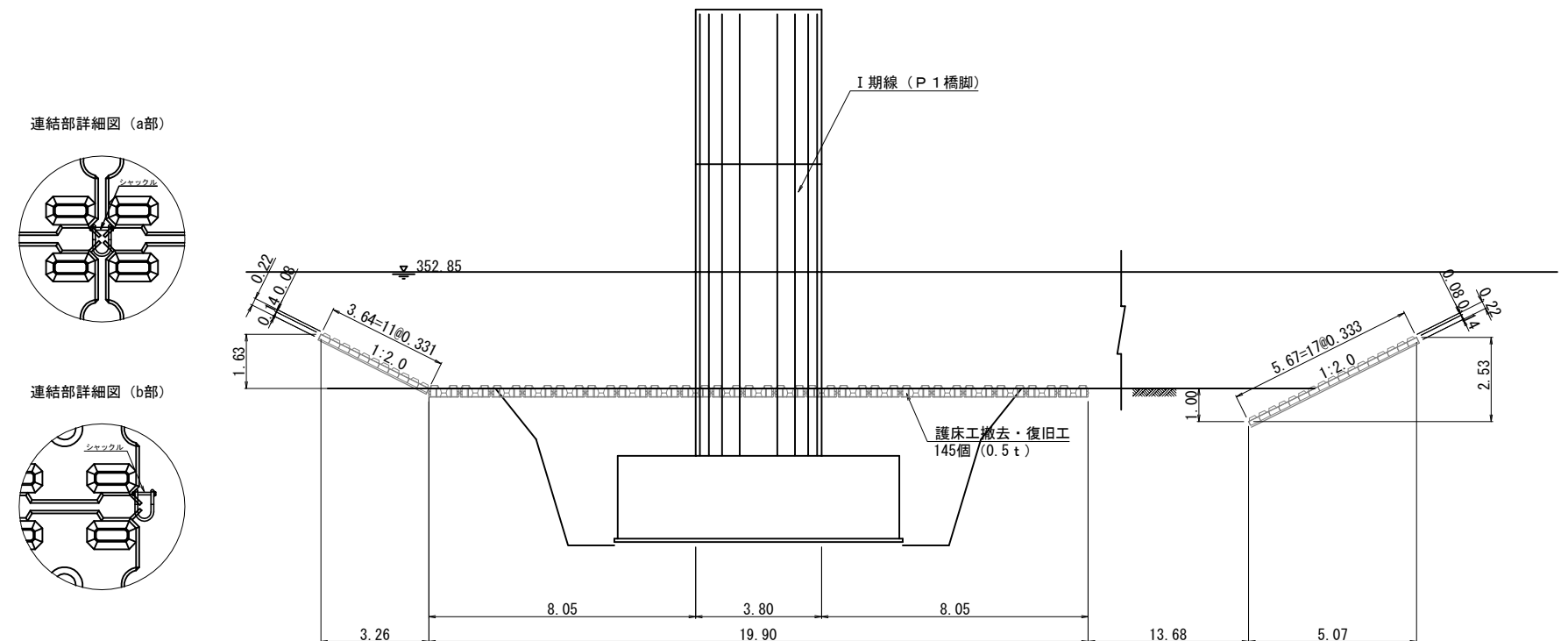
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去・復旧工詳細図（その2） I期線本流鷗川第一橋		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

(I 期線 本流鵠川第二橋)

平面图 S=1 : 200

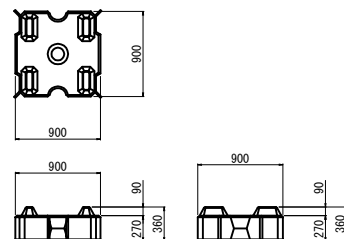


断面图 (A-A) S=1 : 100



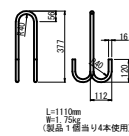
護床工詳細図

製品規格図 S=1:20

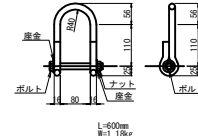


呼び名	主要部寸法 長さ×幅×高さ (mm)	体積 (m3)	参考質量 (t)
0.5 t 3型	900×900×360	0.293	0.466

連結鉄筋（フック） S=1 : 10



連結金具（シャックル） S=1 : 5



数量表

護床工
根固ブロック数量表

名 称	0.5t 3型
型 種	基本
参考質量	0.466 t
数 量	145個

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去・復旧工詳細図（その３） Ⅰ期線本流越川第二橋		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

護床工断面図 (A-A) S=1:100

計画CL



Technical drawing of a 1.5mm thick stainless steel plate. The drawing includes a top view, a side view, and a detail view of the corner. The top view shows a square plate with a central square hole. The side view shows the plate's thickness and the hole's depth. The detail view shows the corner of the plate with a fillet radius.

Dimensions (mm):

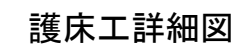
- Top view: 450 (width), 330 (height), 300 (inner width), 220 (inner height), 45 (corner radius), 150 (fillet radius), 250 (fillet radius), 490 (total width), 230 (total height).
- Side view: 1.5 (thickness), 178 (height), 250 (width), 330 (height), 490 (width).
- Detail view: 1.5 (thickness), 178 (height), 250 (width), 330 (height), 490 (width).

1個用引り重量	63.9kg/m ²	1m ²	引り重量	63.9kg/m ² ×6個/m ²	1383.4kg/m ²
---------	-----------------------	-----------------	------	--	-------------------------

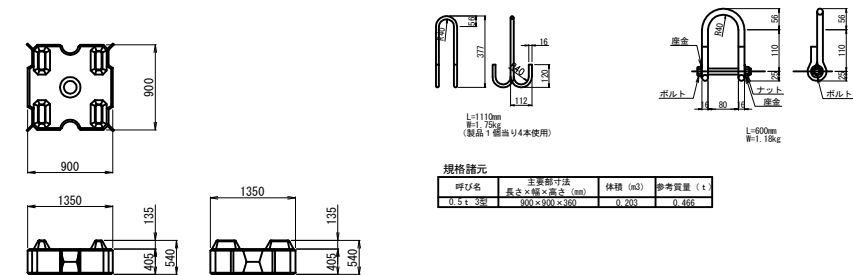
左岸

連節ブロック数量表

名 称		小型連結ブロック380型		備 考
型 種	基 本			
	基本	1/2		
単位質量	63.9 kg		31.9 kg	
数 量	111個		6個	



連結鉄筋（フック） S=1 : 10 連結金具（シャックル） S=1 : 5

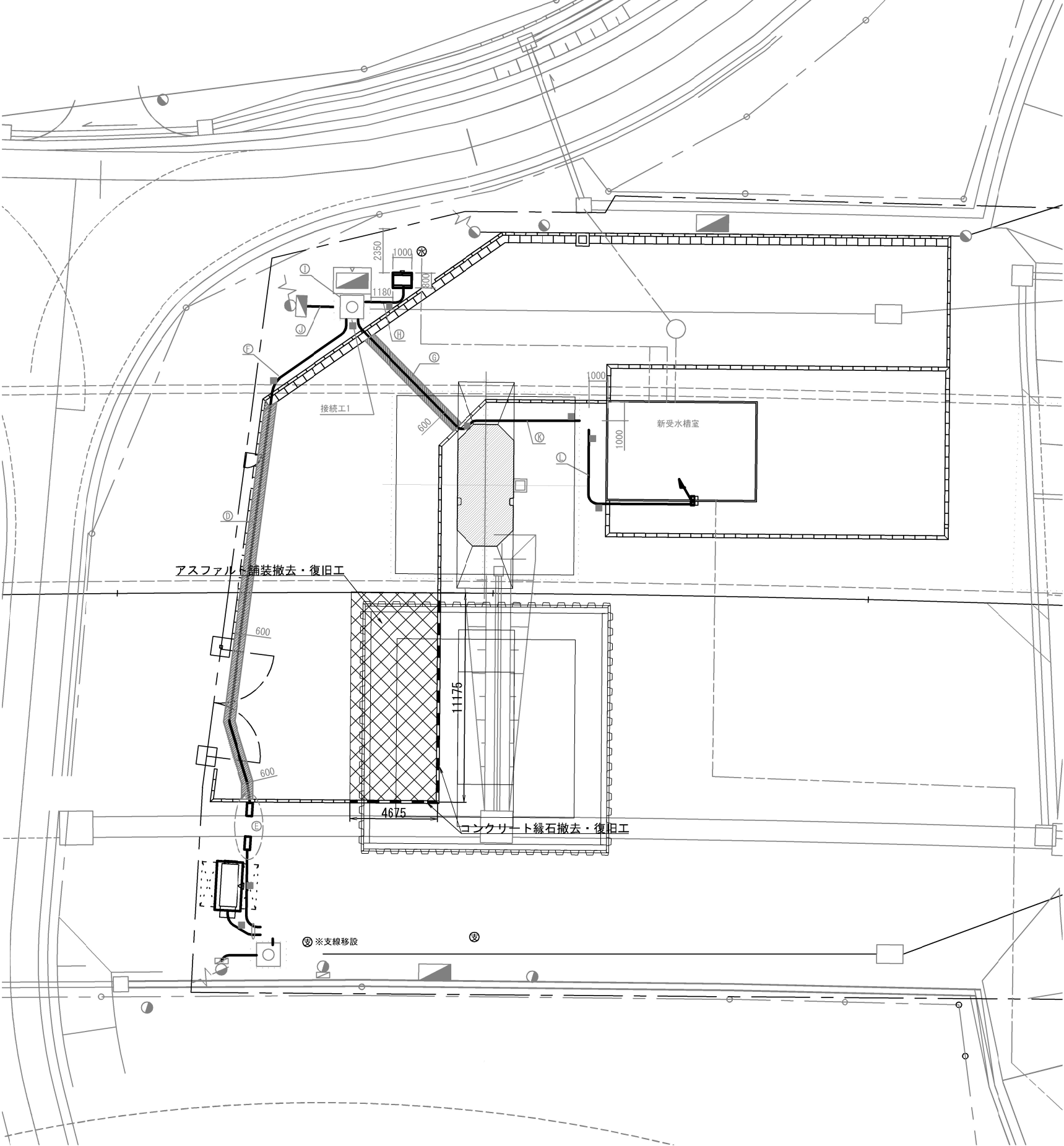




護床工

名 称	0.5t 3型
型 種	基本
参考質量	0.466 t
数 量	91個

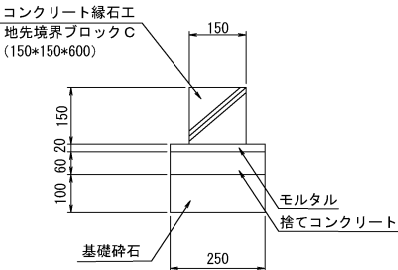
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去・復旧工詳細図（その４） Ⅰ期線北端臨川第四橋		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

（Ⅱ期線 シム川橋P4橋脚）



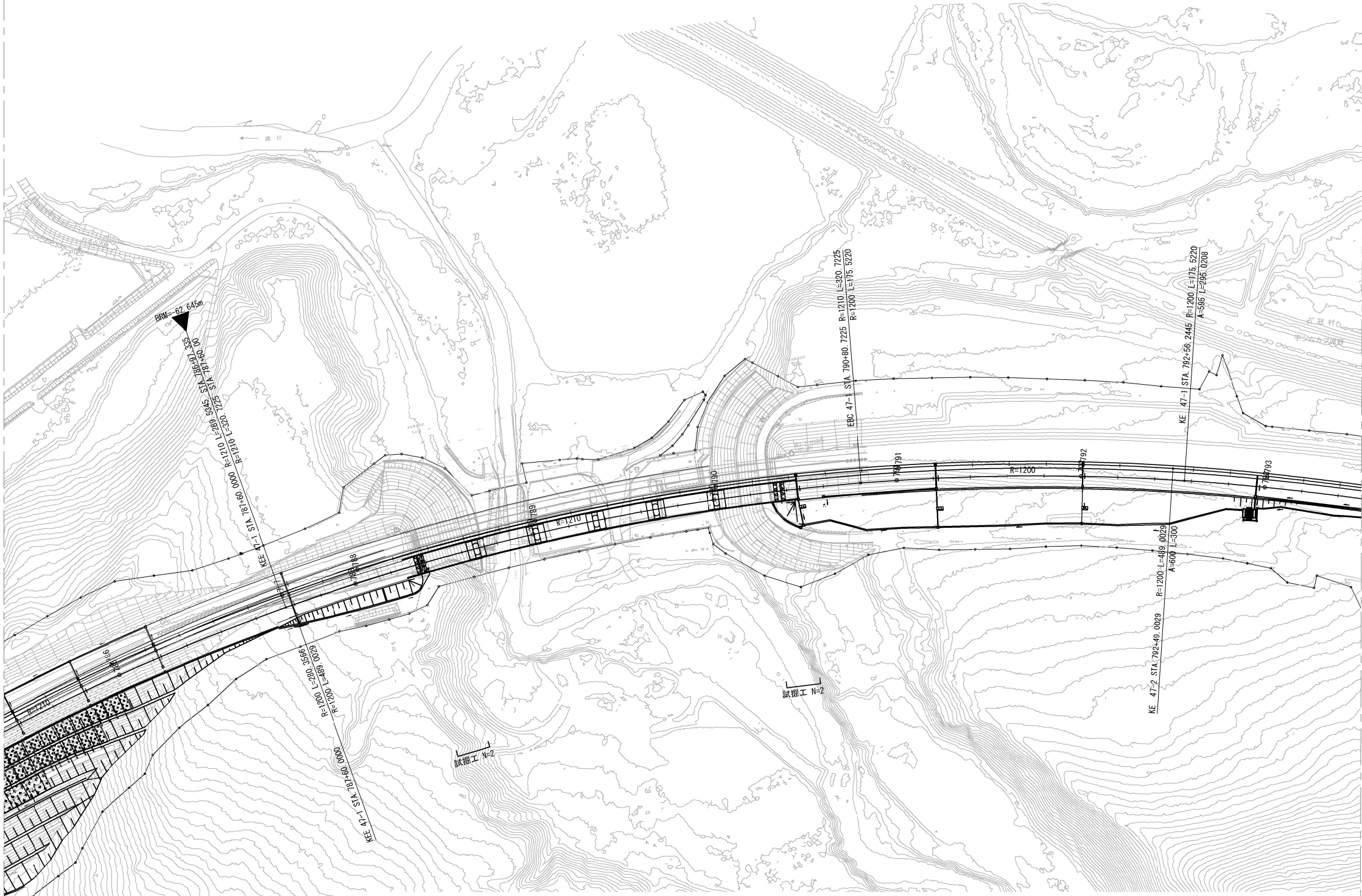
 : アスファルト舗装撤去・復旧範囲
 : コンクリート縁石撤去・復旧範囲

数量表				
項目名	単位	数量	摘 要	
アスファルト表層工 (t=8cm)	n2	51.1	C A D計測	
下層路盤工 (t=25cm)	n2	51.1	C-40 C A D計測	
コンクリート縁石工 撤去・復旧	m	15.8	150*150*600 撤去・復旧	

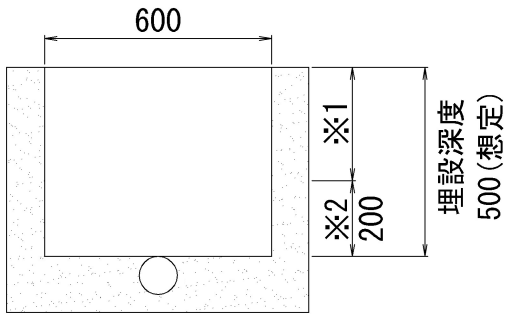


数量表					m当り
項目名	規格・寸法	単位	数量	摘 要	
基礎砕石	C-40	n3	0.025		
コンクリート	D1-1	n3	0.015		
モルタル	1:3	n3	0.005		

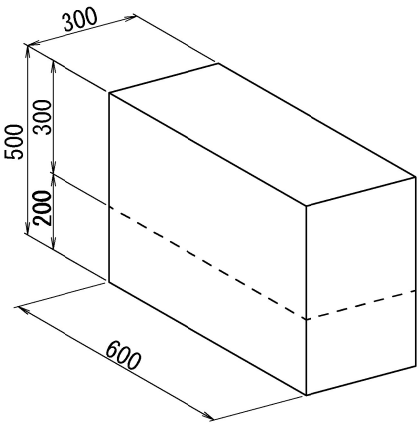
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	撤去・復旧工詳細図（その5） Ⅱ期線 シム川橋P4橋脚		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



試掘工 標準断面図 S=1:20

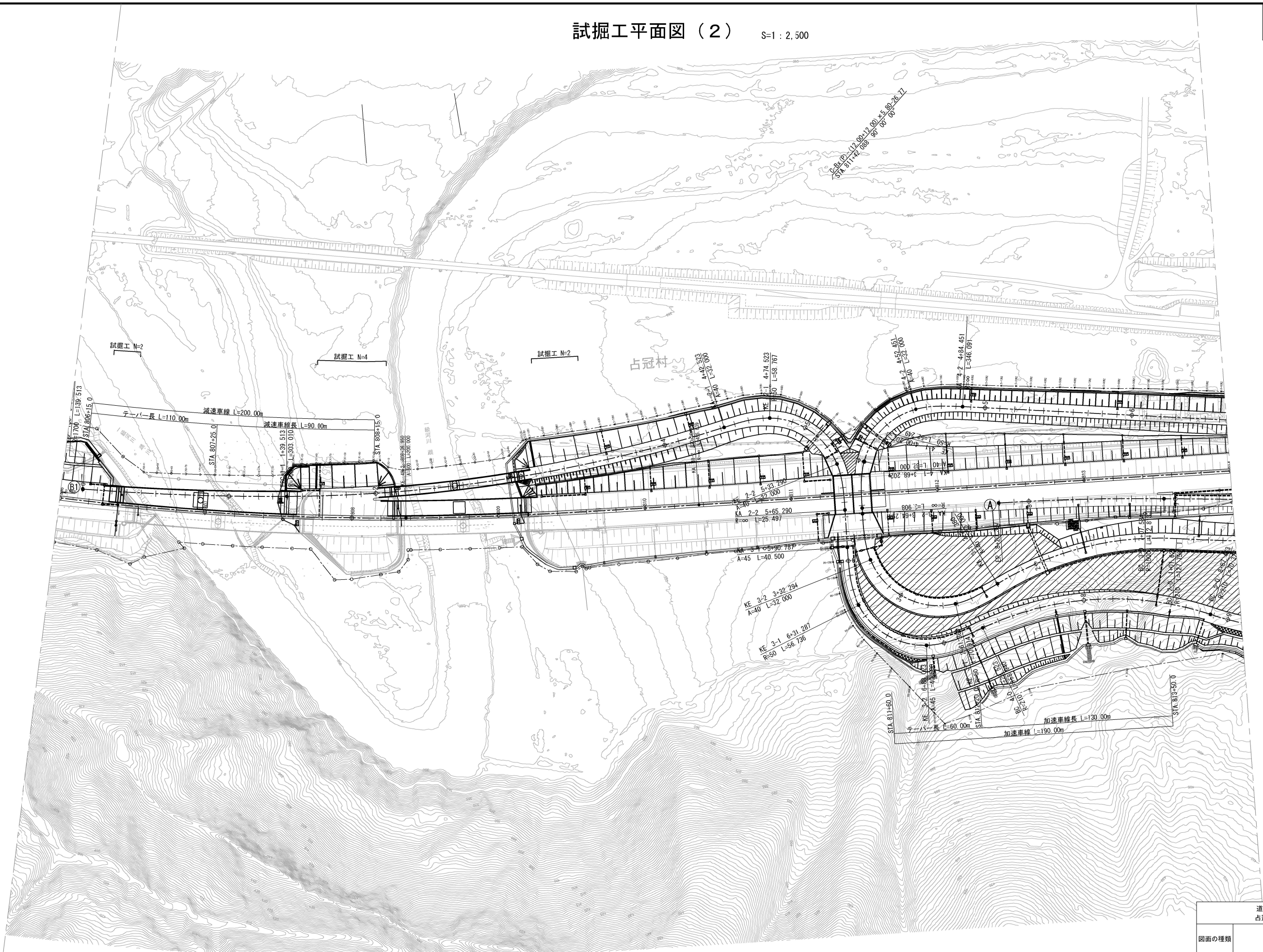


※1 角スコップによる掘削
※2 小型スコップや園芸用シャベルによる掘削とする。

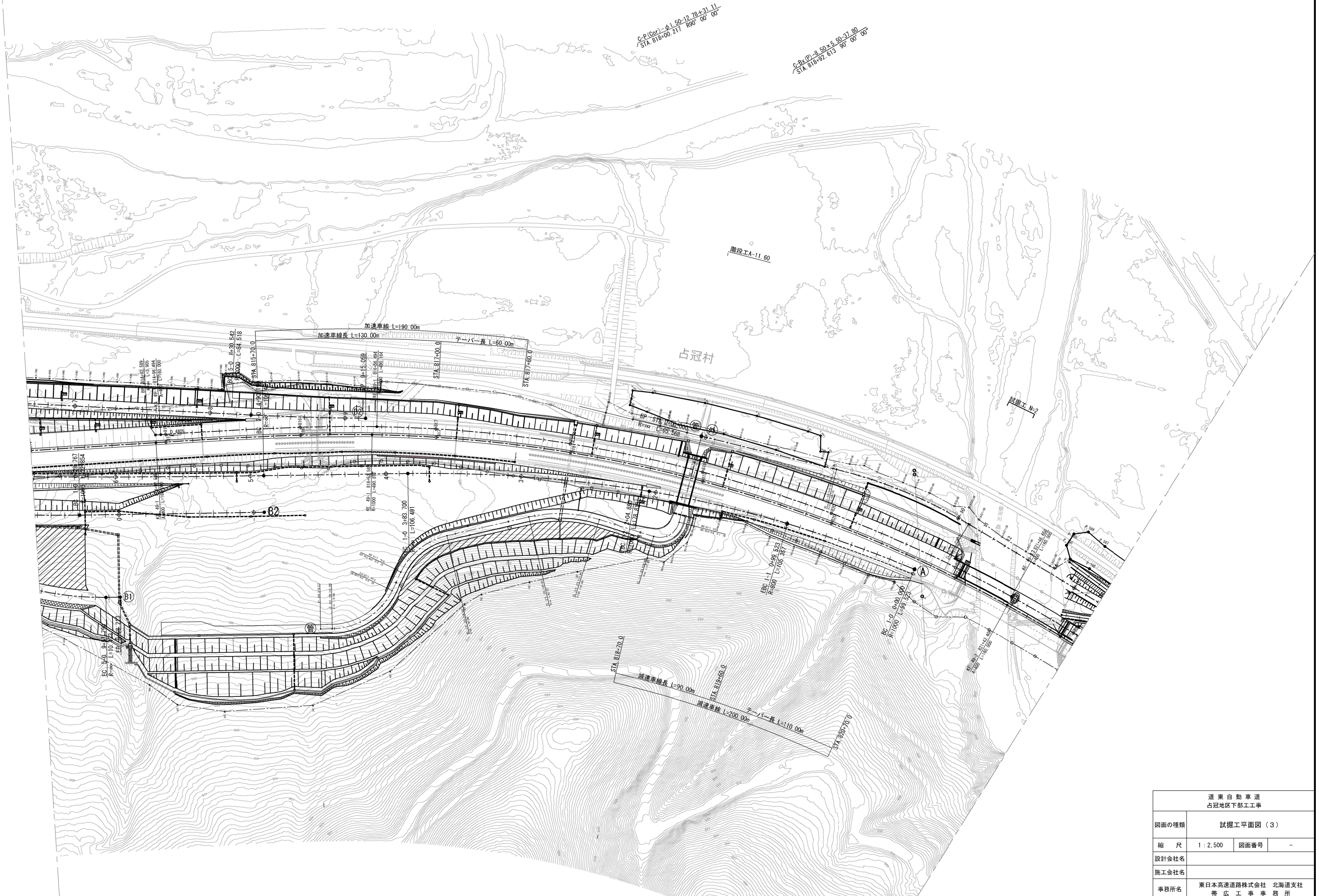


数量表		1箇所当り
項目	単位	数量
試掘工	m3	0.09
土のう	袋	7

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	試掘工平面図（１）		
縮尺	1 : 2,500	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



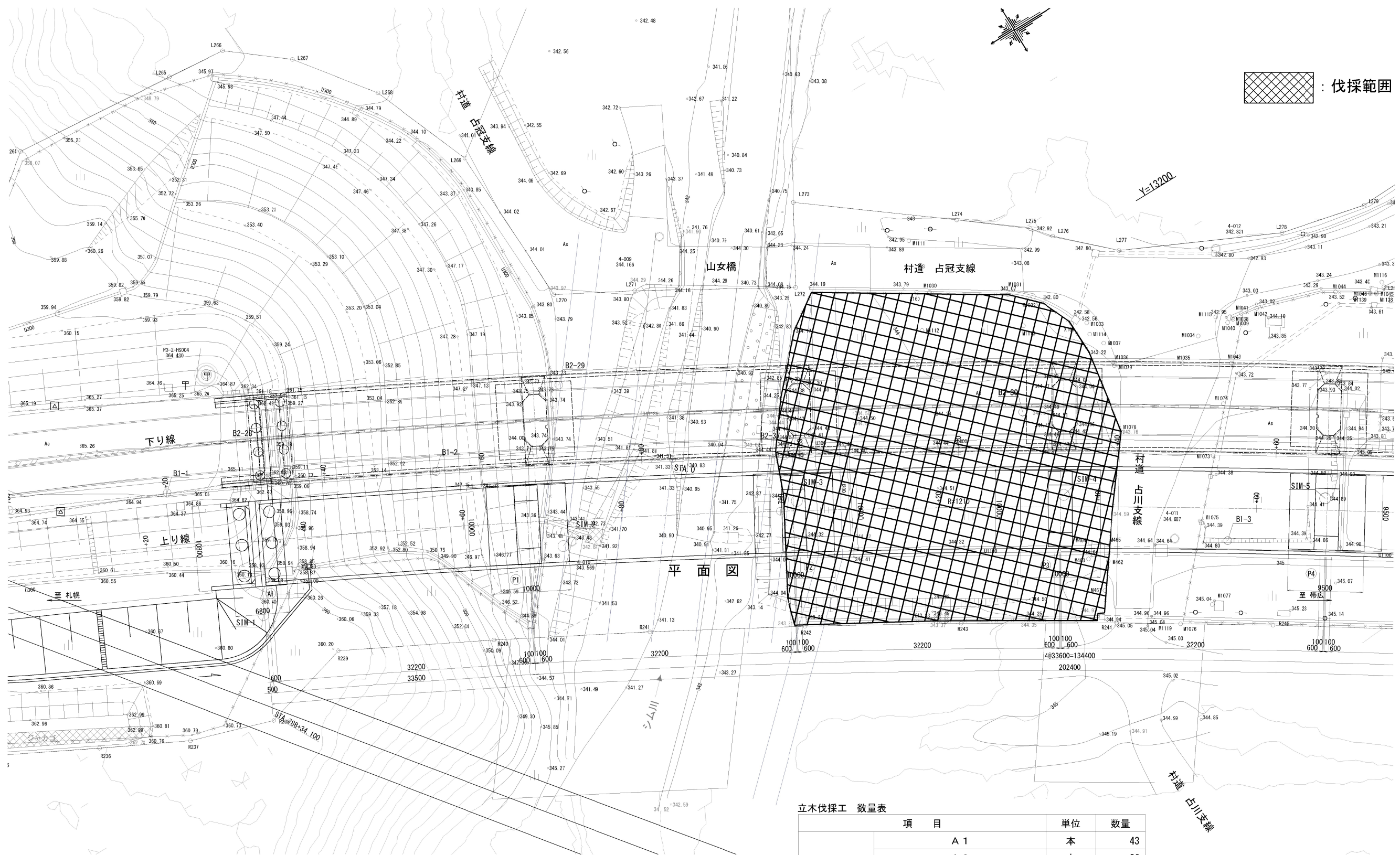
道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	試掘工平面図（２）		
縮尺	1 : 2,500	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



道 東 自 動 車 道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	試掘工平面図 (3)		
縮 尺	1 : 2,500	図面番号	-
設計社社名			
施工社社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 工 事 事 務 所		



道 東 自 動 車 道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	試掘工平面図（４）		
縮 尺	1 : 2,500	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		



立木伐採工 数量表			
項 目		単位	数量
立木伐採工	A 1	本	43
	A 2	本	26
	A 3	本	2
	密度 10本未満/100㎡	㎡	1640
	密度 10本～50本/100㎡	㎡	-
雑木伐採 A	密度 50本以上/100㎡	㎡	-
	計	㎡	1640

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	シム川橋（上り線） 立木伐採工平面図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		